

平成 28 年度

事 業 年 報

公益財団法人 大分県地域保健支援センター

はじめに

大分県地域保健支援センターの事業運営にあたりましては、常日頃から格別のご理解とご支援をいただいていることにつきまして、改めてお礼と感謝を申し上げます。

さて、当センターは、「保健医療に関する知識の普及啓発等、疾病予防のための検診、市町村が実施する健康増進事業に対する支援その他の事業を行うことにより、県民の健康増進を図り、もって県民の保健の向上に寄与する。」ことを目的として、結核、がん、循環器疾患等の各種検診事業を展開しているところであります。

近年、検診事業を取り巻く環境は、高齢化や過疎化の進行、人口の減少が影響し、受診者数の減少傾向が続いており、各種検診の受診率向上のためにも、県、市町村と連携しながら、県民への検診受診に向けての一層の啓発が求められています。

今後とも、受診者本位の検診サービスを心掛け、質の高い検診を提供できるよう、検診精度の向上と安全・安心で受診しやすい環境整備などに努めるとともに、関係機関との密接な連携・協力体制のもと、検診受診率の向上はもとより疾病予防の啓発などを積極的に行い、県民の健康づくりに寄与できますよう努力してまいりますので、なお一層のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

今般、平成28年度の検診事業の実績等を取りまとめた「事業年報」を発刊いたしましたので、ご高覧いただき、ご意見、ご感想を賜れば幸甚に存じます。

平成30年6月

公益財団法人大分県地域保健支援センター
理事長 近藤 稔

目 次

I 各種検診検査事業実績

1 検診検査事業	
特定健康診査（健康診査）	6
事業所生活習慣病予防健診等	20
結核検診	24
肺がん検診（X線撮影・喀痰検査）	28
胃がん検診（X線撮影・血液検査）	35
子宮頸がん検診（細胞診・細胞診＋HPV検査）	41
乳がん検診	47
大腸がん検診	51
前立腺がん検診	55
肝炎ウイルス検査	58
尿細胞診検査	62
骨粗鬆症検診	66
検診におけるがん発見状況	71
2 特定保健指導	
特定保健指導	73

II 普及啓発事業

普及啓発事業	76
--------	----

III 研究・研修事業

IV 業務運営

V センター組織概要

組織機構図	87
-------	----

参考資料

役員・評議員	90
各種委員会委員	92
個人情報保護	97
検診車・機器整備状況	100
全国組織の支部及び外部機関の認定並びに精度管理	103
検診事業評価のためのチェックリスト	105
学会発表・講演	123

I 各種 檢 診 檢 查 事 業 実 績

1 検診検査事業

特 定 健 康 診 査
(健 康 診 査)

特定健康診査（健康診査）の概要

1. 受診者数

平成 20 年度から、健康保険者が実施主体となる特定健康診査の実施が始まり、平成 28 年度は、7 市 3 町の国民健康保険の被保険者(40 歳～74 歳)、40 歳未満の住民、生活保護者及び、大分県内の後期高齢者医療広域連合の被保険者、並びに全国保険協会・共済組合・企業健保組合加入者の被扶養者に対して、県医師会ベースの集合契約 B と全国ベースの集合契約 A を締結し、19,019 人の特定健康診査（健康診査）を実施した。そのうち特定健康診査の評価対象となる 40 歳～74 歳の受診者は、12,643 人であった。

2. 健診項目及び判定結果

- (1) 受診者 19,019 人のうち、詳細な健診並びに追加健診及びオプション検査として、心電図検査 2,180 人(11.46%) うち詳細健診対象 108 人、追加健診 782 人、^{※1}オプション検査 1,290 人)、眼底検査 2,006 人(10.74% うち詳細健診 104 人、追加健診 708 人、^{※1}オプション検査 1194 人)、貧血検査 3,360 人(17.67% うち詳細健診 660 人、追加健診 1,698 人、^{※1}オプション検査 1,002 人)に、追加検査で血清クレアチニン検査 18,853 人(99.13%)に、血清尿酸検査 9,738 人(51.20%)を実施した。
- (2) 総合判定区分は、異常なし 772 人(4.1%)、境界正常 145 人 (0.8%)、要経過観察 4,908 人(25.8%)、要受診 4,418 人(23.2%)、治療継続 8,776 人(46.1%)であった。要受診・治療継続の合計 13,194 人中、紹介状の対象となった方は 6,897 人で、全体の 36.3%であった。

3. メタボリックシンドローム判定及び特定保健指導階層化判定

- (1) 特定健康診査の評価対象者 12,643 人(40 歳～74 歳で必要な検査項目を満たした人)のうちメタボリックシンドロームの該当者が 2,156 人(17.1%)、予備群が 1,501 人(11.9%)であった。
- (2) 特定健康診査の評価対象者 12,643 人のうち、保健指導階層化判定で積極的支援レベルが 502 人(4.0%)、動機付支援レベルが 1,376 人(10.9%)であった。また服薬中により積極的支援除外となった人が 2,359 人(18.7%)、服薬中により動機付支援除外となった人が 167 人(1.3%)あった。

^{※1} 心電図検査、眼底検査、貧血検査の受診希望者に有料で実施した。

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報(保険者別・年齢階級別)

保険者等区分	総受診数	総合判定区分						(別掲) 紹介状対象者	理学的検査		
		異常なし	境界正常	要経過観察	要受診	治療継続	聴・打診				
							要観察		要受診		
大分市	216	11	3	50	91	61	109	216	2	1	
津久見市	532	13	3	129	126	261	183	532	6	3	
竹田市	1,699	37	10	473	417	762	618	1,699	25	3	
杵築市	759	22	6	209	204	318	314	759	10	6	
豊後大野市	2,055	58	7	507	416	1,067	690	2,055	39	13	
由布市	1,022	19	9	263	361	370	514	1,022	15	1	
国東市	1,918	30	7	468	478	935	760	1,918	32	13	
日出町	588	16	1	158	166	247	218	588	8	3	
九重町	875	32	3	262	238	340	317	875	14	3	
玖珠町	1,180	33	3	291	338	515	476	1,180	4	0	
その他国保	16	0	0	6	6	4	5	16	0	0	
40歳未満	1,147	307	64	512	250	14	252	1,147	4	1	
他健康保険(40歳～74歳)	1,655	133	21	514	557	430	699	1,655	9	2	
生活保護	102	0	1	22	28	51	51	102	4	0	
後期高齢者医療広域連合	5,196	56	6	1,028	719	3,387	1,663	5,195	282	36	
その他	59	5	1	16	23	14	28	59	1	1	
合計	19,019	772	145	4,908	4,418	8,776	6,897	19,018	455	86	
実施数に対する判定割合		4.1%	0.8%	25.8%	23.2%	46.1%	36.3%		2.4%	0.5%	

性別	年代	総受診数	総合判定区分						(別掲) 紹介状対象者	理学的検査		
			異常なし	境界正常	要経過観察	要受診	治療継続	聴・打診				
								要観察		要受診		
男性	40歳未満	351	47	7	155	132	10	134	351	2	0	
	40歳～44歳	208	16	3	76	92	21	103	208	1	1	
	45歳～49歳	217	9	1	81	92	34	111	217	1	2	
	50歳～54歳	184	4	1	68	70	41	86	184	1	0	
	55歳～59歳	306	4	2	96	104	100	141	306	2	2	
	60歳～64歳	596	7	4	171	191	223	286	596	10	4	
	65歳～69歳	1,621	14	7	378	407	815	691	1,621	25	8	
	70歳～74歳	1,325	12	1	305	259	748	501	1,325	38	5	
	75歳以上	2,433	33	3	527	345	1,525	793	2,433	131	21	
計	7,241	146	29	1,857	1,692	3,517	2,846	7,241	211	43		
女性	40歳未満	800	260	57	359	120	4	120	800	2	1	
	40歳～44歳	482	118	21	198	125	20	129	482	2	1	
	45歳～49歳	413	66	11	177	124	35	139	413	2	0	
	50歳～54歳	418	36	9	158	140	75	162	418	0	0	
	55歳～59歳	666	26	2	226	262	150	304	666	0	1	
	60歳～64歳	1,282	29	4	351	455	443	563	1,282	3	3	
	65歳～69歳	2,429	38	1	570	652	1,168	934	2,429	26	8	
	70歳～74歳	1,991	27	7	407	390	1,160	653	1,991	37	10	
	75歳以上	3,297	26	4	605	458	2,204	1,047	3,296	172	19	
計	11,778	626	116	3,051	2,726	5,259	4,051	11,777	244	43		
合計	19,019	772	145	4,908	4,418	8,776	6,897	19,018	455	86		
実施数に対する判定割合		4.1%	0.8%	25.8%	23.2%	46.1%	36.3%	2463.5%	313.8%	1.8%		

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報 (保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		計測					血圧			
		腹囲		BMI			保健指導値	受診勧奨値	高血圧服薬中(再掲)	
		保健指導値	男 85.0～ 女 90.0～	保健指導値(高)	保健指導値(低)	25.0～				～18.4
大分市	216	69	216	39	19	216	69	9	38	
津久見市	532	175	532	161	40	532	193	30	173	
竹田市	1,699	579	1,699	385	119	1,699	541	42	557	
杵築市	759	269	759	202	72	759	231	43	229	
豊後大野市	2,055	706	2,055	523	130	2,055	720	72	729	
由布市	1,022	385	1,022	264	60	1,022	343	51	250	
国東市	1,917	773	1,918	606	140	1,918	702	89	651	
日出町	588	209	588	151	42	588	217	20	165	
九重町	875	297	875	200	47	875	294	27	253	
玖珠町	1,180	348	1,180	229	98	1,180	434	45	345	
その他国保	16	5	16	3	2	16	2	0	1	
40歳未満	1,143	225	1,147	243	171	1,147	79	6	2	
他健康保険(40歳～74歳)	1,655	356	1,655	358	158	1,655	397	44	301	
生活保護	79	44	102	39	9	102	28	3	38	
後期高齢者医療広域連合	11	6	5,196	1,190	421	5,196	2,171	226	2,866	
その他	52	18	59	17	6	59	20	4	13	
合計	13,799	4,464	19,019	4,610	1,534	19,019	6,441	711	6,611	
実施数に対する判定割合		32.4%		24.2%	8.1%		33.9%	3.7%	34.8%	

性別	年代	計測					血圧			
		腹囲		BMI			保健指導値	受診勧奨値	高血圧服薬中(再掲)	
		保健指導値	男 85.0～ 女 90.0～	保健指導値(高)	保健指導値(低)	25.0～				～18.4
男性	40歳未満	351	154	351	130	14	351	47	2	2
	40歳～44歳	208	104	208	76	6	208	43	4	12
	45歳～49歳	217	121	217	85	7	217	59	10	20
	50歳～54歳	184	94	184	64	10	184	54	10	18
	55歳～59歳	306	145	306	81	18	306	105	14	67
	60歳～64歳	596	322	596	183	34	596	223	46	173
	65歳～69歳	1,609	898	1,621	496	60	1,621	735	91	625
	70歳～74歳	1,317	695	1,325	362	72	1,325	583	60	588
	75歳以上	229	110	2,433	592	148	2,433	1,098	114	1,302
計	5,017	2,643	7,241	2,069	369	7,241	2,947	351	2,807	
女性	40歳未満	796	71	800	115	158	800	32	4	0
	40歳～44歳	482	59	482	92	63	482	41	5	5
	45歳～49歳	413	61	413	76	56	413	54	6	16
	50歳～54歳	418	80	418	92	42	418	85	9	52
	55歳～59歳	666	132	666	143	63	666	155	17	95
	60歳～64歳	1,282	259	1,282	257	121	1,282	352	34	258
	65歳～69歳	2,424	544	2,429	540	207	2,429	791	96	742
	70歳～74歳	1,989	528	1,991	490	152	1,991	707	60	803
	75歳以上	312	87	3,297	736	303	3,297	1,277	129	1,833
計	8,782	1,821	11,778	2,541	1,165	11,778	3,494	360	3,804	
合計	13,799	4,464	19,019	4,610	1,534	19,019	6,441	711	6,611	
実施数に対する判定割合		32.4%		24.2%	8.1%		33.9%	3.7%	34.8%	

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報(保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		血 中 脂 質										
		LDLコレステロール			HDLコレステロール			中性脂肪			脂 質 異常症 服薬中 (再掲)	
		保健指 導値	受診勧 奨値	保健指 導値	受診勧 奨値 (高)	受診勧 奨値 (低)	保健指 導値	受診勧 奨値 (高)				
120～ 139	140～	35～39	120～	～34	150～ 299	300～						
国民健康 保険	大分市	216	51	82	216	4	2	1	216	24	5	27
	津久見市	532	134	153	532	7	1	6	532	68	5	157
	竹田市	1,699	424	448	1,699	30	4	19	1,699	219	22	321
	杵築市	759	191	219	759	25	1	11	759	115	16	127
	豊後大野市	2,055	506	471	2,055	69	6	24	2,055	307	44	538
	由布市	1,022	251	292	1,022	32	3	17	1,022	246	40	167
	国東市	1,918	446	528	1,918	92	3	34	1,918	355	34	443
	日出町	588	147	190	588	22	0	4	588	87	5	129
	九重町	875	226	243	875	32	3	12	875	130	26	143
	玖珠町	1,180	308	363	1,180	27	5	7	1,180	159	14	237
その他国保	16	8	2	16	0	0	0	16	1	1	3	
40歳未満	1,147	152	143	1,147	24	0	22	1,147	107	24	4	
他健康保険(40歳～74歳)	1,655	368	556	1,655	18	11	5	1,655	183	12	209	
生活保護	102	17	29	102	12	0	3	102	22	4	11	
後期高齢者医療広域連合	5,196	1,210	935	5,196	227	5	78	5,196	654	40	1,142	
その他	59	11	19	59	1	1	2	59	6	2	4	
合 計	19,019	4,450	4,673	19,019	622	45	245	19,019	2,683	294	3,662	
実施数に対する判定割合		23.4%	24.6%		3.3%	0.2%	1.3%		14.1%	1.5%	19.3%	

性 別		血 中 脂 質										
		LDLコレステロール			HDLコレステロール			中性脂肪			脂 質 異常症 服薬中 (再掲)	
		保健指 導値	受診勧 奨値	保健指 導値	受診勧 奨値 (高)	受診勧 奨値 (低)	保健指 導値	受診勧 奨値 (高)				
120～ 139	140～	35～39	120～	～34	150～ 299	300～						
男 性	40歳未満	351	73	73	351	15	0	16	351	69	19	2
	40歳～44歳	208	46	59	208	12	0	5	208	52	17	9
	45歳～49歳	217	51	70	217	17	0	6	217	59	17	14
	50歳～54歳	184	43	54	184	18	0	5	184	48	12	18
	55歳～59歳	306	79	84	306	23	0	8	306	64	8	33
	60歳～64歳	596	128	173	596	38	2	16	596	139	32	71
	65歳～69歳	1,621	408	380	1,621	84	5	38	1,621	323	45	236
	70歳～74歳	1,325	298	238	1,325	65	2	34	1,325	219	23	209
	75歳以上	2,433	509	323	2,433	160	0	63	2,433	313	24	310
計	7,241	1,635	1,454	7,241	432	9	191	7,241	1,286	197	902	
女 性	40歳未満	800	79	71	800	11	0	6	800	39	5	2
	40歳～44歳	482	79	83	482	3	3	0	482	25	6	5
	45歳～49歳	413	70	85	413	6	4	2	413	25	5	15
	50歳～54歳	418	100	132	418	3	1	0	418	50	2	28
	55歳～59歳	666	160	285	666	9	2	1	666	91	7	83
	60歳～64歳	1,282	333	503	1,282	10	9	5	1,282	172	8	255
	65歳～69歳	2,429	653	808	2,429	30	6	7	2,429	323	30	721
	70歳～74歳	1,991	512	526	1,991	29	6	10	1,991	257	12	684
75歳以上	3,297	829	726	3,297	89	5	23	3,297	415	22	967	
計	11,778	2,815	3,219	11,778	190	36	54	11,778	1,397	97	2,760	
合 計	19,019	4,450	4,673	19,019	622	45	245	19,019	2,683	294	3,662	
実施数に対する判定割合		23.4%	24.6%		3.3%	0.2%	1.3%		14.1%	1.5%	19.3%	

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報(保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		肝機能									
		GOT(AST)			GPT(ALT)			γ-GTP(γ-GT)			肝臓病 服薬中 (再掲)
		保健 指導値	受診勸 奨値 (高)		保健 指導値	受診勸 奨値 (高)		保健 指導値	受診勸 奨値 (高)		
31~50	51~		31~50	51~		51~100	101~				
国民健康 保険	大分市	216	20	5	216	16	9	216	22	6	0
	津久見市	532	67	8	532	48	12	532	50	15	2
	竹田市	1699	225	27	1699	165	40	1699	169	53	17
	杵築市	759	100	16	759	73	31	759	76	33	7
	豊後大野市	2055	254	51	2055	194	60	2055	181	86	25
	由布市	1022	117	23	1022	89	34	1022	95	54	10
	国東市	1918	183	37	1918	188	50	1918	186	69	31
	日出町	588	61	7	588	63	12	588	57	12	2
	九重町	875	131	15	875	93	21	875	93	24	10
	玖珠町	1180	150	32	1180	118	49	1180	130	57	14
その他国保	16	2	0	16	0	1	16	2	1	0	
40歳未満		1147	85	18	1147	94	70	1147	75	30	1
他健康保険(40歳~74歳)		1655	125	19	1655	120	37	1655	113	38	10
生活保護		102	11	3	102	12	3	102	13	5	3
後期高齢者医療広域連合		5196	825	62	5196	303	53	5196	298	97	65
その他		59	8	1	59	5	2	59	4	1	0
合 計		19,019	2,364	324	19,019	1,581	484	19,019	1,564	581	197
実施数に対する判定割合			12.4%	1.7%		8.3%	2.5%		8.2%	3.1%	1.0%

性別	年 代	肝機能									
		GOT(AST)			GPT(ALT)			γ-GTP(γ-GT)			肝臓病 服薬中 (再掲)
		保健 指導値	受診勸 奨値 (高)		保健 指導値	受診勸 奨値 (高)		保健 指導値	受診勸 奨値 (高)		
31~50	51~		31~50	51~		51~100	101~				
男 性	40歳未満	351	65	12	351	75	56	351	64	23	0
	40歳~44歳	208	32	10	208	36	34	208	40	22	3
	45歳~49歳	217	39	10	217	41	29	217	47	18	3
	50歳~54歳	184	35	5	184	47	17	184	33	21	0
	55歳~59歳	306	48	9	306	52	17	306	55	36	3
	60歳~64歳	596	101	29	596	105	41	596	106	55	9
	65歳~69歳	1,621	280	42	1,621	218	55	1,621	293	122	29
	70歳~74歳	1,325	198	37	1,325	145	30	1,325	175	67	16
	75歳以上	2,433	455	32	2,433	214	25	2,433	231	82	34
計	7,241	1,253	186	7,241	933	304	7,241	1,044	446	97	
女 性	40歳未満	800	20	6	800	20	14	800	11	7	1
	40歳~44歳	482	9	5	482	18	9	482	17	7	1
	45歳~49歳	413	19	4	413	18	10	413	19	8	0
	50歳~54歳	418	28	9	418	28	14	418	25	11	2
	55歳~59歳	666	48	3	666	53	7	666	53	12	3
	60歳~64歳	1,282	106	12	1,282	90	26	1,282	82	25	12
	65歳~69歳	2,429	222	29	2,429	177	40	2,429	128	24	17
	70歳~74歳	1,991	212	34	1,991	115	28	1,991	89	20	28
	75歳以上	3,297	447	36	3,297	129	32	3,297	96	21	36
計	11,778	1,111	138	11,778	648	180	11,778	520	135	100	
合 計		19,019	2,364	324	19,019	1,581	484	19,019	1,564	581	197
実施数に対する判定割合			12.4%	1.7%		8.3%	2.5%		8.2%	3.1%	1.0%

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報(保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		代謝系(糖)								
		尿糖受診		空腹時血糖			ヘモグロビンA1c(NGSP)		糖尿病服薬中(再掲)	
		受診勧奨値(高)		保健指導値	受診勧奨値(高)	保健指導値	受診勧奨値(高)			
(+)～		100～125	126～	5.6～6.4	6.5～					
国民健康保険	大分市	216	0	1	0	0	216	99	10	10
	津久見市	532	9	0	0	0	532	269	42	48
	竹田市	1,697	39	0	0	0	1,699	1,082	120	116
	杵築市	759	11	0	0	0	759	401	73	65
	豊後大野市	2,053	39	0	0	0	2,055	1,165	188	196
	由布市	1,020	35	0	0	0	1,022	564	83	79
	国東市	1,917	58	0	0	0	1,918	1,260	226	203
	日出町	588	4	0	0	0	588	342	35	29
	九重町	875	13	0	0	0	875	508	68	51
	玖珠町	1,180	23	0	0	0	1,180	690	122	86
その他国保	16	0	0	0	0	16	10	0	0	
40歳未満		1,147	2	0	0	0	1,147	271	4	0
他健康保険(40歳～74歳)		1,655	8	39	9	0	1,655	885	66	49
生活保護		101	6	0	0	0	102	47	14	14
後期高齢者医療広域連合		5,165	90	0	0	0	5,196	3,239	498	456
その他		59	0	1	0	0	59	26	0	0
合 計		18,980	337	41	9	0	19,019	10,858	1,549	1,402
実施数に対する判定割合			1.8%		22.0%	0.0%		57.1%	8.1%	7.4%

性別 年代		代謝系(糖)								
		尿糖受診		空腹時血糖			ヘモグロビンA1c(NGSP)		糖尿病服薬中(再掲)	
		受診勧奨値(高)		保健指導値	受診勧奨値(高)	保健指導値	受診勧奨値(高)			
(+)～		100～125	126～	5.6～6.4	6.5～					
男性	40歳未満	351	2	0	0	0	351	106	1	0
	40歳～44歳	207	7	0	0	0	208	77	11	5
	45歳～49歳	217	3	1	1	0	217	100	4	5
	50歳～54歳	184	2	0	0	0	184	90	10	6
	55歳～59歳	306	14	0	0	0	306	148	29	26
	60歳～64歳	596	25	1	0	0	596	328	57	46
	65歳～69歳	1,619	74	0	0	0	1,621	890	210	194
	70歳～74歳	1,324	47	0	0	0	1,325	780	186	198
	75歳以上	2,420	73	0	0	0	2,433	1,398	298	296
計	7,224	247	2	1	0	7,241	3,917	806	776	
女性	40歳未満	800	0	0	0	0	800	165	3	0
	40歳～44歳	482	5	7	1	0	482	122	10	7
	45歳～49歳	413	2	7	1	0	413	161	9	7
	50歳～54歳	418	3	10	2	0	418	202	15	8
	55歳～59歳	666	3	10	3	0	666	412	20	18
	60歳～64歳	1,281	9	3	0	0	1,282	814	71	57
	65歳～69歳	2,429	23	2	1	0	2,429	1,609	196	157
	70歳～74歳	1,989	14	0	0	0	1,991	1,292	168	160
	75歳以上	3,278	31	0	0	0	3,297	2,164	251	212
計	11,756	90	39	8	0	11,778	6,941	743	626	
合 計		18,980	337	41	9	0	19,019	10,858	1,549	1,402
実施数に対する判定割合			1.8%		22.0%	0.0%		57.1%	8.1%	7.4%

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報(保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		赤血球												
		赤血球数			血色素数			ヘマトクリット			貧血 服薬中 (再掲)			
		保健指 導値	受診勧 奨値 (高)	受診勧 奨値 (低)	保健指 導値	受診勧 奨値 (高)	受診勧 奨値 (低)	保健指 導値	受診勧 奨値 (高)	受診勧 奨値 (低)				
		男性 360～ 399 女性 330～ 359	男性 580～ 女性 520～	男性 ～359 女性 ～329	男性 12.1～ 13.0 女性 11.1～ 12.0	男性 18.0～ 女性 16.0～	男性 ～12.0 女性 ～11.0	男性 36.0～ 37.9 女性 30.0～ 32.9	男性 55.0～ 女性 52.0～	男性 ～35.9 女性 ～29.9				
国民健康 保険	大分市	15	0	0	0	15	0	0	1	15		0	0	0
	津久見市	61	1	1	1	61	7	1	2	61	1	0	0	0
	竹田市	246	8	1	0	246	19	0	10	246	5	0	0	1
	杵築市	51	3	0	0	51	10	0	5	51	1	0	0	0
	豊後大野市	249	8	3	2	249	33	0	9	249	2	0	3	2
	由布市	1,022	25	8	6	1,022	88	4	27	1,022	6	2	9	4
	国東市	201	7	0	3	201	23	0	25	201	15	0	6	1
	日出町	74	2	0	0	74	9	0	4	74	0	0	1	0
	九重町	45	1	2	1	45	4	2	8	45	3	0	2	0
	玖珠町	128	1	0	1	128	12	0	5	128	0	0	1	1
その他国保	9	0	0	0	9	0	0	0	9	0	0	0	0	
40歳未満	321	1	5	1	321	33	1	18	321	3	0	4	0	
他健康保険(40歳～74歳)	438	1	12	0	438	53	3	56	438	11	0	7	5	
生活保護	13	1	1	0	13	0	0	3	13	1	0	0	0	
後期高齢者医療広域連合	469	44	2	15	469	89	1	53	469	19	0	23	7	
その他	18	1	0	0	18	0	0	3	18	1	0	0	0	
合計	3,360	104	35	30	3,360	380	12	229	3,360	68	2	56	21	
実施数に対する判定割合		3.1%	1.0%	0.9%		3.2%	0.4%	6.8%		2.0%	0.1%	1.7%	0.1%	

性別 年代		赤血球												
		赤血球数			血色素数			ヘマトクリット			貧血 服薬中 (再掲)			
		保健指 導値	受診勧 奨値 (高)	受診勧 奨値 (低)	保健指 導値	受診勧 奨値 (高)	受診勧 奨値 (低)	保健指 導値	受診勧 奨値 (高)	受診勧 奨値 (低)				
		男性 360～ 399 女性 330～ 359	男性 580～ 女性 520～	男性 ～359 女性 ～329	男性 12.1～ 13.0 女性 11.1～ 12.0	男性 18.0～ 女性 16.0～	男性 ～12.0 女性 ～11.0	男性 36.0～ 37.9 女性 30.0～ 32.9	男性 55.0～ 女性 52.0～	男性 ～35.9 女性 ～29.9				
男性	40歳未満	79	0	2	0	79	1	1	0	79		0	0	0
	40歳～44歳	31	1	1	0	31	1	0	1	31	0	0	1	0
	45歳～49歳	40	0	0	0	40	0	0	0	40	0	0	0	0
	50歳～54歳	35	2	1	1	35	1	1	1	35	0	0	1	0
	55歳～59歳	56	1	2	0	56	3	1	0	56	1	0	0	1
	60歳～64歳	77	5	1	1	77	5	1	2	77	2	1	1	0
	65歳～69歳	268	8	1	3	268	14	1	6	268	3	1	4	1
	70歳～74歳	219	11	0	5	219	21	1	11	219	2	0	8	2
	75歳以上	230	29	0	13	230	38	1	29	230	15	0	20	2
計	1,035	57	8	23	1,035	84	7	50	1,035	23	2	35	6	
女性	40歳未満	243	1	3	1	243	32	0	19	243	3	0	4	0
	40歳～44歳	139	2	1	0	139	16	0	31	139	6	0	3	1
	45歳～49歳	143	1	1	0	143	23	0	41	143	11	0	5	4
	50歳～54歳	124	2	5	0	124	9	0	15	124	3	0	3	1
	55歳～59歳	181	0	5	1	181	12	2	4	181	3	0	1	1
	60歳～64歳	305	3	7	0	305	32	3	6	305	0	0	0	0
	65歳～69歳	505	5	3	1	505	56	0	15	505	3	0	1	1
	70歳～74歳	379	15	0	1	379	59	0	17	379	10	0	1	2
	75歳以上	306	18	2	3	306	57	0	31	306	6	0	3	5
計	2,325	47	27	7	2,325	296	5	179	2,325	45	0	21	15	
合計	3,360	104	35	30	3,360	380	12	229	3,360	68	2	56	21	
実施数に対する判定割合		3.1%	1.0%	0.9%		3.2%	0.4%	6.8%		2.0%	0.1%	1.7%	0.1%	

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報(保険者別・年齢階級別)

保険者等区分	白血球				腎機能							
	保健指導値 9100～9900 2500～3400	受診勧奨値(高) 10000～	受診勧奨値(低) ～2400	尿蛋白				クレアチニン				腎臓病 服薬中 (再掲)
				保健指導値 (±) (+)	受診勧奨値 (+2) ～	保健指導値 男性 1.20～1.30 女性 0.09～1.00	受診勧奨値(高) 男性 1.40～ 女性 1.10～					
								尿蛋白	尿蛋白	クレアチニン	クレアチニン	
大分市	6	1	0	0	216	0	2	216	15	6	1	
津久見市	61	3	3	0	532	1	3	532	39	11	4	
竹田市	246	10	1	1	1,697	8	26	1,699	87	24	7	
杵築市	51	2	1	0	759	1	13	759	52	14	6	
豊後大野市	249	8	4	0	2,053	7	15	2,055	145	46	17	
由布市	1,022	38	17	1	1,020	16	21	1,022	67	15	5	
国東市	201	18	1	0	1,917	24	33	1,918	193	46	12	
日出町	74	3	0	0	588	1	8	588	37	0	3	
九重町	45	1	0	0	875	8	7	875	49	15	4	
玖珠町	128	7	0	0	1,180	5	14	1,180	69	21	3	
その他国保	9	1	0	0	16	0	0	15	1	0	0	
40歳未満	321	10	7	0	1,147	1	8	1,146	30	0	1	
他健康保険(40歳～74歳)	416	17	5	1	1,655	1	16	1,502	92	13	6	
生活保護	13	1	0	0	101	2	6	102	11	12	1	
後期高齢者医療広域連合	469	18	5	0	5,165	33	112	5,196	762	334	45	
その他	16	1	0	0	59	0	1	48	6	1	1	
合計	3,327	139	44	3	18,980	108	285	18,853	1,655	558	116	
実施数に対する判定割合		4.2%	1.3%	0.1%		263.9%	1.5%		8.8%	3.0%	0.6%	

性別	年代	白血球				腎機能							
		保健指導値 9100～9900 2500～3400	受診勧奨値(高) 10000～	受診勧奨値(低) ～2400	尿蛋白				クレアチニン				腎臓病 服薬中 (再掲)
					保健指導値 (±) (+)	受診勧奨値 (+2) ～	保健指導値 男性 1.20～1.30 女性 0.09～1.00	受診勧奨値(高) 男性 1.40～ 女性 1.10～					
									尿蛋白	尿蛋白	クレアチニン	クレアチニン	
男性	40歳未満	79	2	2	0	351	1	2	351	4	0	1	
	40歳～44歳	31	1	2	0	207	0	2	208	2	0	1	
	45歳～49歳	40	0	2	1	217	0	1	217	8	1	0	
	50歳～54歳	35	0	1	0	184	0	4	184	5	3	0	
	55歳～59歳	56	2	0	0	306	1	9	304	10	2	0	
	60歳～64歳	75	4	3	0	596	8	18	595	29	12	2	
	65歳～69歳	267	7	6	0	1,619	28	35	1,619	99	40	12	
	70歳～74歳	219	10	2	0	1,324	20	30	1,325	103	45	10	
	75歳以上	230	8	4	0	2,420	30	72	2,433	248	171	35	
計	1,032	34	22	1	7,224	88	173	7,236	508	274	61		
女性	40歳未満	243	9	5	0	800	0	6	799	26	0	0	
	40歳～44歳	133	5	2	0	482	0	3	445	10	1	0	
	45歳～49歳	139	8	2	0	413	1	3	381	20	1	0	
	50歳～54歳	119	7	2	0	418	0	2	395	28	0	1	
	55歳～59歳	176	9	1	1	666	0	3	630	48	6	3	
	60歳～64歳	298	20	1	0	1,281	1	7	1,258	78	13	9	
	65歳～69歳	504	18	5	0	2,429	5	22	2,422	164	29	15	
	70歳～74歳	377	18	2	1	1,989	3	16	1,990	195	47	11	
	75歳以上	306	11	2	0	3,278	10	50	3,297	578	187	16	
計	2,295	105	22	2	11,756	20	112	11,617	1,147	284	55		
合計	3,327	139	44	3	18,980	108	285	18,853	1,655	558	116		
実施数に対する判定割合		4.2%	1.3%	0.1%		263.9%	1.5%		8.8%	3.0%	0.6%		

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報 (保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		代謝系(尿酸)				心電図検査				眼底検査			
		尿酸		痛風服薬中(再掲)		保健指導値	受診勧奨値	心臓病服薬中(再掲)		保健指導値	受診勧奨値	眼底出血服薬中(再掲)	
		保健指導値 7.0~7.9	受診勧奨値(高) 8.0~										
国民健康保険	大分市	4	0	0	0	16	0	0	0	13	5	7	0
	津久見市	532	32	2	18	54	10	1	1	49	36	11	0
	竹田市	1,698	137	8	63	213	50	3	6	229	173	46	0
	杵築市	759	61	9	22	80	23	0	1	76	39	30	0
	豊後大野市	2,054	170	11	76	255	55	7	13	253	180	59	1
	由布市	1,022	100	10	24	666	122	16	19	604	450	119	0
	国東市	1,917	140	18	67	152	38	8	6	137	92	36	0
	日出町	588	52	2	23	52	13	0	3	54	36	10	0
	九重町	0	0	0	0	5	3	0	0	5	4	1	0
	玖珠町	114	21	2	6	123	25	4	5	150	103	35	0
その他国保	1	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	
40歳未満		817	67	8	6	59	10	0	0	38	1	1	0
他健康保険(40歳~74歳)		61	3	1	0	201	29	2	2	183	98	23	0
生活保護		59	6	0	1	5	1	0	0	4	4	0	0
後期高齢者医療広域連合		86	13	1	12	283	112	10	27	198	115	94	0
その他		26	3	0	1	14	3	0	0	12	8	2	0
合 計		9,738	806	72	319	2,180	495	51	83	2,006	1,344	474	1
実施数に対する判定割合			8.3%	0.7%	1.7%		22.7%	2.3%	0.4%		67.0%	23.6%	0.0%

性別	年代	代謝系(尿酸)				心電図検査				眼底検査			
		尿酸		痛風服薬中(再掲)		保健指導値	受診勧奨値	心臓病服薬中(再掲)		保健指導値	受診勧奨値	眼底出血服薬中(再掲)	
		保健指導値 7.0~7.9	受診勧奨値(高) 8.0~										
男性	40歳未満	261	60	8	5	20	5	0	0	12	0	1	0
	40歳~44歳	152	35	4	5	31	4	2	1	20	6	1	0
	45歳~49歳	174	39	6	10	40	5	1	0	42	22	5	0
	50歳~54歳	143	28	2	12	35	6	1	0	35	22	2	0
	55歳~59歳	241	47	6	8	55	9	0	0	49	36	7	0
	60歳~64歳	440	88	7	41	102	20	5	3	92	67	17	0
	65歳~69歳	1,253	203	22	100	303	76	9	11	289	219	73	1
	70歳~74歳	1,065	156	10	87	198	54	8	18	193	123	73	0
	75歳以上	229	35	5	24	139	64	6	17	96	62	36	0
計	3,958	691	70	292	923	243	32	50	828	557	215	1	
女性	40歳未満	560	7	0	1	39	5	0	0	26	1	0	0
	40歳~44歳	176	3	0	1	50	4	0	0	47	13	2	0
	45歳~49歳	172	0	0	0	42	2	1	0	39	10	5	0
	50歳~54歳	186	6	0	1	49	2	0	2	59	30	6	0
	55歳~59歳	327	9	0	2	77	15	1	0	88	54	11	0
	60歳~64歳	795	13	1	0	199	27	5	3	184	141	25	0
	65歳~69歳	1,789	41	1	7	349	67	3	4	350	279	73	0
	70歳~74歳	1,511	28	0	14	247	52	4	9	238	173	67	0
	75歳以上	264	8	0	1	205	78	5	15	147	86	70	0
計	5,780	115	2	27	1,257	252	19	33	1,178	787	259	0	
合 計		9,738	806	72	319	2,180	495	51	83	2,006	1,344	474	1
実施数に対する判定割合			8.3%	0.7%	1.7%		22.7%	2.3%	0.4%		67.0%	23.6%	0.0%

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報 (保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		生活習慣								
		120kg以上の増加分を加えてから	3週間以上汗をかく年運動	日常生活で1日又は1時間以上の歩行	同年代の同性と比較して	この31年以上であつた増減	睡眠で十分休養がとれて	人と比較して食べる速度が		
								速い	ふつう	遅い
国民健康保険	大分市	59	99	119	78	46	132	59	136	19
	津久見市	144	256	372	154	79	350	138	337	57
	竹田市	381	577	1,431	436	233	1,163	460	1,033	200
	杵築市	216	296	631	200	146	508	194	475	88
	豊後大野市	495	911	1,522	568	299	1,375	536	1,298	217
	由布市	248	410	828	272	150	691	332	584	106
	国東市	578	570	1,516	522	328	1,192	561	1,098	247
	日出町	191	259	441	169	108	386	142	393	53
	九重町	187	228	659	225	116	578	250	523	102
	玖珠町	312	430	865	345	173	713	331	735	113
その他国保	3	8	12	5	5	8	3	12	1	
40歳未満		233	227	875	223	375	662	400	611	135
他健康保険(40歳～74歳)		373	469	1,259	380	258	985	417	1,071	164
生活保護		35	28	62	14	23	58	31	48	23
後期高齢者医療広域連合		680	1,801	3,162	1,047	372	3,072	955	3,150	1,077
その他		15	13	37	14	14	35	13	35	10
合計		4,150	6,582	13,791	4,652	2,725	11,908	4,822	11,539	2,612
実施数に対する判定割合		21.8%	34.6%	72.5%	24.5%	14.3%	62.6%	25.4%	60.7%	13.7%
性別		生活習慣								
		kg20以上の増加分を加えてから	3週間以上汗をかく年運動	日常生活で1日又は1時間以上の歩行	同年代の同性と比較して	この31年以上であつた増減	睡眠で十分休養がとれて	人と比較して食べる速度が		
								速い	ふつう	遅い
男性	40歳未満	118	104	271	84	123	228	170	152	29
	40歳～44歳	84	66	140	60	63	135	81	113	13
	45歳～49歳	83	67	159	52	54	136	86	116	15
	50歳～54歳	72	42	133	53	36	117	69	97	18
	55歳～59歳	104	73	227	89	58	200	108	176	20
	60歳～64歳	223	196	438	167	113	406	173	353	66
	65歳～69歳	538	601	1,224	450	248	1,113	510	938	166
	70歳～74歳	346	589	1,052	343	175	956	381	785	157
	75歳以上	408	920	1,486	540	207	1,553	522	1,437	467
計	1,976	2,658	5,130	1,838	1,077	4,844	2,100	4,167	951	
女性	40歳未満	117	124	606	139	255	434	231	461	107
	40歳～44歳	104	92	362	96	118	274	141	280	59
	45歳～49歳	87	87	311	103	84	248	116	256	40
	50歳～54歳	114	95	326	79	91	239	109	257	49
	55歳～59歳	150	191	515	166	117	372	171	423	71
	60歳～64歳	269	402	1,008	329	178	746	355	797	129
	65歳～69歳	538	952	1,902	673	320	1,539	606	1,568	252
	70歳～74歳	409	864	1,547	579	257	1,323	436	1,279	273
	75歳以上	386	1,117	2,084	650	228	1,889	557	2,051	681
計	2,174	3,924	8,661	2,814	1,648	7,064	2,722	7,372	1,661	
合計		4,150	6,582	13,791	4,652	2,725	11,908	4,822	11,539	2,612
実施数に対する判定割合		21.8%	34.6%	72.5%	24.5%	14.3%	62.6%	25.4%	60.7%	13.7%

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報 (保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		生活習慣								
		が夕 週食 3回 に 以 上 あ る こ と	回朝 以食 上を あ 抜 く こ と が 週 に 3 回	以食 上を あ 抜 く こ と が 週 に 3 回	あを 就 る と 寝 る 前 の こ と が 時 間 週 に 以 上 3 回 に 回 る	ば健 利指 用導 すを 慣 る 受 の け 改 善 る に 機 つ 会 つ て あ て れ 保	運動や食生活の生活習慣を 改善してみようと思いませんか			
		改善 しない	改善 予定 (6月以 内)	改善 予定 (1月以 内)	改善中 (6月未 満)	改善中 (6月以 上)				
国民健康 保険	大分市	35	23	21	57	53	58	24	23	57
	津久見市	77	25	35	104	194	96	31	37	174
	竹田市	196	58	136	370	618	361	86	73	558
	杵築市	94	51	81	146	252	157	54	62	234
	豊後大野市	224	87	154	427	671	411	123	104	746
	由布市	126	70	82	195	379	183	40	43	377
	国東市	246	137	214	316	583	330	94	103	801
	日出町	72	44	59	107	155	136	47	53	196
	九重町	118	50	62	188	323	201	49	34	268
	玖珠町	131	60	73	257	362	255	79	102	382
その他国保	3	0	1	3	12	3	0	1	0	
40歳未満		258	205	163	248	378	410	118	69	171
他健康保険(40歳～74歳)		285	105	119	421	435	540	140	125	411
生活保護		13	14	9	20	44	11	6	7	34
後期高齢者医療広域連合		287	70	271	642	2,330	472	161	152	2,059
その他		7	12	8	11	20	16	6	2	15
合 計		2,172	1,011	1,488	3,512	6,809	3,640	1,058	990	6,483
実施数に対する判定割合		11.4%	5.3%	7.8%	18.5%	35.8%	19.1%	5.6%	5.2%	34.1%

性別 年 代		生活習慣								
		週夕 3食 回後 に 以 上 あ る こ と が	以朝 上食 を あ 抜 く こ と が 週 に 3 回	あを 就 る と 寝 る 前 の こ と が 時 間 週 に 以 上 3 回 に 回 る	ば健 利指 用導 すを 慣 る 受 の け 改 善 る に 機 つ 会 つ て あ て れ 保	運動や食生活の生活習慣を 改善してみようと思いませんか				
		改善 しない	改善 予定 (6月以 内)	改善 予定 (1月以 内)	改善中 (6月未 満)	改善中 (6月以 上)				
男 性	40歳未満	73	89	60	86	127	115	38	18	52
	40歳～44歳	46	42	35	53	62	63	22	10	51
	45歳～49歳	37	49	37	54	79	60	17	14	47
	50歳～54歳	35	30	23	43	74	47	8	14	41
	55歳～59歳	45	29	33	57	136	60	16	15	78
	60歳～64歳	69	51	81	98	244	129	26	28	167
	65歳～69歳	163	89	190	309	639	296	74	85	522
	70歳～74歳	116	45	149	235	533	191	45	53	502
	75歳以上	147	28	182	327	1,152	222	65	74	908
計		731	452	790	1,262	3,046	1,183	311	311	2,368
女 性	40歳未満	186	119	103	163	252	297	80	52	119
	40歳～44歳	87	68	60	119	121	204	44	43	68
	45歳～49歳	67	45	43	106	121	147	45	32	68
	50歳～54歳	87	47	40	103	99	139	39	45	96
	55歳～59歳	130	53	44	172	186	209	60	40	171
	60歳～64歳	198	52	61	281	361	331	88	95	403
	65歳～69歳	294	80	117	515	662	530	159	161	916
	70歳～74歳	194	43	94	369	601	267	111	111	901
75歳以上	198	52	136	422	1,360	333	121	100	1,373	
計		1,441	559	698	2,250	3,763	2,457	747	679	4,115
合 計		2,172	1,011	1,488	3,512	6,809	3,640	1,058	990	6,483
実施数に対する判定割合		11.4%	5.3%	7.8%	18.5%	35.8%	19.1%	5.6%	5.2%	34.1%

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報(保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		嗜好品					
		喫煙			飲酒		
		吸わない	やめた	吸っている	飲ほ ま た な ん ど	時 々 飲 む	毎 日 飲 む
国民健康保険	大分市	130	63	23	104	61	51
	津久見市	369	114	49	354	97	81
	竹田市	1,111	389	199	941	351	407
	杵築市	474	174	111	426	158	175
	豊後大野市	1,326	500	229	1,159	419	477
	由布市	621	245	156	559	206	257
	国東市	1,209	440	269	1,131	364	423
	日出町	370	150	68	358	129	101
	九重町	524	215	136	417	230	228
	玖珠町	734	301	145	596	312	272
その他国保	13	3	0	8	3	5	
40歳未満		769	189	189	673	346	128
他健康保険(40歳～74歳)		1,383	175	97	1,075	394	186
生活保護		41	28	33	66	22	14
後期高齢者医療広域連合		3,696	1,312	188	3,365	904	927
その他		37	13	9	34	14	11
合 計		12,807	4,311	1,901	11,266	4,010	3,743
実施数に対する判定割合		67.3%	22.7%	10.0%	59.2%	21.1%	19.7%

性別	年 代	嗜好品					
		喫煙			飲酒		
		吸わない	やめた	吸っている	飲ほ ま た な ん ど	時 々 飲 む	毎 日 飲 む
男 性	40歳未満	154	79	118	154	114	83
	40歳～44歳	65	50	93	78	61	69
	45歳～49歳	73	63	81	88	58	71
	50歳～54歳	51	73	60	69	54	61
	55歳～59歳	93	103	110	113	69	124
	60歳～64歳	120	297	179	179	129	288
	65歳～69歳	354	878	389	470	382	769
	70歳～74歳	341	737	247	432	293	600
	75歳以上	856	1,377	200	914	567	952
計	2,107	3,657	1,477	2,497	1,727	3,017	
女 性	40歳未満	616	111	73	520	235	45
	40歳～44歳	375	56	51	281	149	52
	45歳～49歳	327	51	35	251	111	51
	50歳～54歳	347	31	40	268	99	51
	55歳～59歳	575	51	40	440	152	74
	60歳～64歳	1,156	82	44	900	285	97
	65歳～69歳	2,224	124	81	1,772	498	159
	70歳～74歳	1,875	78	38	1,539	343	109
	75歳以上	3,205	70	22	2,798	411	88
計	10,700	654	424	8,769	2,283	726	
合 計		12,807	4,311	1,901	11,266	4,010	3,743
実施数に対する判定割合		67.3%	22.7%	10.0%	59.2%	21.1%	19.7%

平成28年度 特定健康診査(健康診査)項目別判定区分別結果情報(保険者別・年齢階級別)

保険者等区分		特定健診評価対象者数(40歳～74歳)									
		メタボリック シンドローム		服薬中			保健指導階層化レベル				
		該 当	予 備 群	高 血 圧	脂 質 異 常 症	糖 尿 病	積 極 的 支 援 レ ベ ル	動 機 付 支 援 レ ベ ル	積 服 薬 的 で 支 援 除 外	動 服 薬 付 で 支 援 除 外	
国民健康保険	大分市	216	30	28	38	27	10	16	22	21	4
	津久見市	532	85	69	173	157	48	13	62	109	10
	竹田市	1,699	272	220	557	321	116	63	174	334	16
	杵築市	759	129	101	229	127	65	31	82	148	13
	豊後大野市	2,055	387	234	729	538	196	44	222	446	33
	由布市	1,022	191	135	250	167	79	46	149	181	8
	国東市	1,918	448	243	651	443	203	101	234	450	28
	日出町	588	95	88	165	129	29	25	71	109	6
	九重町	875	140	113	253	143	51	43	102	149	9
	玖珠町	1,180	184	118	345	237	86	42	108	203	18
その他国保	16	0	3	1	3	0	0	2	2	0	
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他健康保険(40歳～74歳)	1,655	172	121	301	209	49	68	134	182	18	
生活保護	75	18	18	23	8	12	6	8	19	4	
後期高齢者医療広域連合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	53	5	10	9	2	0	4	6	6	0	
合 計	12,643	2,156	1,501	3,724	2,511	944	502	1,376	2,359	167	
実施数に対する判定割合		17.1%	11.9%	29.5%	19.9%	7.5%	4.0%	10.9%	18.7%	1.3%	

性別 年代		特定健診評価対象者数(40歳～74歳)									
		メタボリック シンドローム		服薬中			保健指導階層化レベル				
		該 当	予 備 群	高 血 圧	脂 質 異 常 症	糖 尿 病	積 極 的 支 援 レ ベ ル	動 機 付 支 援 レ ベ ル	積 服 薬 的 で 支 援 除 外	動 服 薬 付 で 支 援 除 外	
男 性	40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40歳～44歳	208	29	45	12	9	5	60	14	13	0
	45歳～49歳	217	42	48	20	14	5	59	27	22	1
	50歳～54歳	184	40	38	18	18	6	41	16	29	1
	55歳～59歳	306	58	55	67	33	26	58	13	53	3
	60歳～64歳	596	162	120	173	71	46	109	51	144	4
	65歳～69歳	1,609	487	327	622	234	192	0	369	504	12
	70歳～74歳	1,315	372	251	583	208	193	0	240	424	16
	75歳以上	225	60	35	109	31	33	0	25	71	6
計	4,660	1,250	919	1,604	618	506	327	755	1,260	43	
女 性	40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40歳～44歳	482	12	19	5	5	7	21	35	7	3
	45歳～49歳	413	11	29	16	15	7	18	29	17	4
	50歳～54歳	418	30	31	52	28	8	26	25	32	4
	55歳～59歳	666	60	44	95	83	18	42	44	58	7
	60歳～64歳	1,282	116	99	258	255	57	68	80	136	15
	65歳～69歳	2,423	295	184	742	720	157	0	227	368	44
	70歳～74歳	1,990	328	151	803	684	160	0	158	413	38
75歳以上	309	54	25	149	103	24	0	23	68	9	
計	7,983	906	582	2,120	1,893	438	175	621	1,099	124	
合 計	12,643	2,156	1,501	3,724	2,511	944	502	1,376	2,359	167	
実施数に対する判定割合		17.1%	11.9%	29.5%	19.9%	7.5%	4.0%	10.9%	18.7%	1.3%	

事業所生活習慣病予防健診等

事業所生活習慣病予防健診等の概要

1. 受診者数

- (1) 労働安全衛生法に基づく検診及び、全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診等を、337 事業所から受託し 16,149 人(うち 3,111 人は業務委託等によるもの)に対して実施した。

2. 判定結果

- (1) 総合判定の区分では、集計区分が可能な 13,038 人のうち、異常なし 3,540 人(27.2.5%)、境界正常 1,032 人 7.9%)、要経過観察 4,060 人(31.1%)、要受診 3,872 人(29.7%)、治療継続 481 人(4.1%)であった。

平成28年度 労働安全衛生法健診等(性別・年齢階級別)

性別	年代	総受診数	総合判定						理学検査(聴・打診)			血圧測定			聴力検査				
			異常なし	境界正常	要経過観察	要受診	治療継続	判定なし(※)	要経過観察	要受診	治療継続	要経過観察	要受診	治療継続	要経過観察	要受診			
男性	19歳以下	1,099	406	209	370	47	0	67	903	2	0	0	913	93	0	0	69	1	0
	20～24歳	1,272	365	134	361	66	0	346	782	1	1	0	733	117	3	0	218	0	0
	25～29歳	859	147	27	143	71	5	466	296	0	1	0	269	42	2	3	289	1	2
	30～34歳	786	136	16	171	129	3	331	306	1	1	0	267	46	7	4	320	5	1
	35～39歳	898	165	16	228	272	11	206	305	2	0	0	269	54	9	4	328	5	9
	40～44歳	1,066	152	11	249	314	20	320	284	2	0	0	221	63	12	21	313	16	7
	45～49歳	846	78	3	184	302	26	253	244	1	0	0	141	69	16	30	238	17	11
	50～54歳	725	60	4	146	274	30	211	205	0	1	0	120	60	11	29	193	10	24
	55～59歳	734	48	3	153	268	45	217	213	0	2	0	98	57	13	70	185	31	35
	60～64歳	723	41	3	142	272	44	221	194	1	0	0	81	33	11	87	129	38	51
	65～69歳	234	12	5	38	106	26	47	100	2	1	0	27	33	3	42	68	13	25
	70～74歳	74	8	0	8	36	16	6	26	3	0	0	9	5	1	15	7	8	13
	75～79歳	51	12	4	7	12	14	2	9	0	0	0	4	2	0	4	4	0	7
80歳以上	215	20	11	29	115	40		2	0	0	0	9	3	1	14	0	0	3	
計	9,582	1,650	446	2,229	2,284	280	2,693	3,869	15	7	0	3,161	677	89	323	2,361	145	188	
女性	19歳以下	1,240	431	287	398	118	0	6	433	3	1	0	1,174	28	0	0	205	1	0
	20～24歳	933	339	121	278	103	1	91	483	3	2	1	683	14	1	0	502	2	2
	25～29歳	563	216	40	133	71	1	102	284	1	1	0	306	10	0	0	382	0	3
	30～34歳	482	164	16	120	87	3	92	241	1	2	0	246	9	0	0	315	0	2
	35～39歳	388	138	15	106	91	3	35	191	1	1	0	196	5	2	0	217	1	4
	40～44歳	510	172	13	131	159	9	26	201	1	0	0	190	16	2	3	241	1	2
	45～49歳	452	123	10	150	138	4	27	158	0	2	0	138	20	6	3	191	5	0
	50～54歳	434	107	7	121	170	14	15	184	1	1	0	138	38	8	9	208	6	5
	55～59歳	399	72	5	118	166	30	8	168	1	1	0	119	31	6	23	181	10	6
	60～64歳	285	40	4	75	133	25	8	110	0	1	0	70	23	0	27	110	10	9
	65～69歳	97	17	1	21	39	14	5	46	0	0	0	23	18	0	8	41	5	5
	70～74歳	46	5	1	9	15	14	2	7	1	0	0	3	5	0	2	6	1	3
	75～79歳	65	5	5	24	14	16	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0
80歳以上	673	61	61	147	284	120		0	0	0	0	17	9	1	28	0	0	0	
計	6,567	1,890	586	1,831	1,588	254	418	2,506	13	12	1	3,305	226	26	105	2,599	43	41	
合計	16,149	3,540	1,032	4,060	3,872	534	3,111	6,375	28	19	1	6,466	903	115	428	4,960	188	229	

性別	年代	BMI	貧血検査				糖代謝検査			脂質代謝検査			肝機能検査						
		要経過観察	要経過観察	要受診	治療継続	要経過観察	要受診	治療継続	要経過観察	要受診	治療継続	要経過観察	要受診	治療継続					
男性	19歳以下	732	265	62	0	5	0	1,009	5	6	0	49	8	9	0	64	23	8	0
	20～24歳	581	256	150	0	6	0	881	11	4	0	110	29	18	0	149	33	20	0
	25～29歳	181	123	175	2	5	0	337	9	1	1	111	34	29	1	147	29	23	1
	30～34歳	180	141	302	3	4	0	372	40	3	2	145	83	79	1	195	69	50	0
	35～39歳	172	160	561	8	10	0	498	139	14	5	247	163	160	4	311	153	115	2
	40～44歳	149	164	631	9	21	0	509	177	15	11	290	158	205	5	353	187	123	2
	45～49歳	104	150	504	13	12	2	365	169	31	7	163	149	207	9	277	153	102	1
	50～54歳	89	127	421	12	17	1	247	181	39	19	126	143	166	11	230	136	79	9
	55～59歳	93	142	410	20	19	2	245	194	38	17	155	116	152	27	243	133	76	2
	60～64歳	89	122	409	24	15	1	215	211	42	16	154	130	141	25	246	129	77	3
	65～69歳	42	61	138	7	9	2	68	68	13	25	45	42	41	19	103	44	18	6
	70～74歳	12	17	36	11	4	0	25	23	7	7	27	10	9	7	37	13	6	5
	75～79歳	3	6	20	4	1	2	19	7	0	8	13	10	1	4	23	5	2	4
80歳以上	0	2	41	30	70	5	113	48	6	17	78	27	22	19	82	60	33	8	
計	2,427	1,736	3,860	143	198	15	4,903	1,282	219	135	1,713	1,102	1,239	132	2,460	1,167	732	43	
女性	19歳以下	896	278	169	12	11	0	1,161	3	5	0	136	38	18	0	227	7	2	0
	20～24歳	510	181	304	26	15	0	702	8	2	0	252	47	34	0	345	9	3	0
	25～29歳	199	109	179	17	16	1	317	8	2	0	149	17	11	0	186	7	6	0
	30～34歳	162	92	201	21	19	0	275	16	0	0	186	27	14	0	210	14	6	0
	35～39歳	137	64	211	33	17	1	259	28	3	0	206	31	23	1	227	26	9	2
	40～44歳	135	76	285	49	56	5	354	53	6	4	299	46	43	4	351	30	11	4
	45～49歳	105	59	251	45	45	3	274	79	4	2	228	71	46	1	311	26	10	0
	50～54歳	132	61	282	26	32	3	248	104	5	6	169	72	95	7	275	55	14	1
	55～59歳	108	71	290	14	11	0	209	114	10	5	84	87	123	17	248	54	15	3
	60～64歳	80	39	203	13	9	0	116	106	8	5	47	51	99	26	168	48	9	3
	65～69歳	26	21	60	4	2	5	38	26	4	10	21	20	18	9	47	16	8	3
	70～74歳	6	2	30	3	1	0	21	13	1	2	8	9	3	12	23	10	4	0
	75～79歳	0	0	28	9	6	2	31	14	1	7	13	10	11	7	28	16	4	5
80歳以上	0	0	212	89	101	14	338	132	10	44	216	97	55	60	268	167	82	7	
計	2,496	1,053	2,705	361	341	34	4,343	704	61	85	2,014	623	593	144	2,914	485	183	28	
合計	4,923	2,789	6,565	504	539	49	9,246	1,986	280	220	3,727	1,725	1,832	276	5,374	1,652	915	71	

平成28年度 労働安全衛生法健診等(性別・年齢階級別)

	年代	尿酸検査			腎機能検査				心電図検査						
		要経過観察	要受診	治療継続	境界正常	要経過観察	要受診	治療継続	境界正常	要経過観察	要受診	治療継続			
男性	19歳以下	32	5	0	0	620	336	49	15	0	46	1	1	0	0
	20～24歳	57	15	0	0	617	246	26	9	1	79	4	2	0	0
	25～29歳	63	18	0	0	268	71	8	4	1	80	6	0	0	0
	30～34歳	127	52	6	0	327	75	15	5	0	127	6	2	1	0
	35～39歳	384	115	15	3	545	81	19	11	1	218	17	2	0	0
	40～44歳	439	131	14	0	577	81	34	13	1	241	8	4	2	2
	45～49歳	344	108	8	10	459	74	29	5	1	191	18	5	0	2
	50～54歳	297	78	9	9	382	52	34	11	2	167	11	7	2	4
	55～59歳	305	76	1	14	375	61	38	14	1	151	21	16	2	7
	60～64歳	293	73	8	9	380	42	36	23	3	143	25	7	3	9
	65～69歳	86	11	0	2	120	17	15	12	0	76	14	10	3	11
	70～74歳	23	1	0	4	30	5	8	5	0	22	6	5	2	11
	75～79歳	9	2	0	0	18	3	5	0	1	15	9	3	1	4
80歳以上	17	4	0	1	53	9	17	21	2	21	39	16	7	34	
計	2,476	689	61	52	4,771	1,153	333	148	14	1,577	185	80	23	84	
女性	19歳以下	22	0	0	0	580	429	110	50	0	36	0	0	0	0
	20～24歳	64	0	0	0	413	231	51	17	0	110	2	3	0	0
	25～29歳	64	1	1	0	217	75	20	15	0	102	5	1	1	0
	30～34歳	120	1	1	0	208	48	23	12	1	122	7	1	0	0
	35～39歳	205	5	0	0	186	53	23	23	1	157	7	1	0	0
	40～44歳	329	4	1	0	317	43	22	30	1	165	13	0	1	3
	45～49歳	283	4	3	0	282	26	30	22	0	121	8	3	0	0
	50～54歳	271	3	1	0	273	46	34	10	1	154	9	8	0	0
	55～59歳	216	5	0	0	248	33	34	13	1	141	12	6	4	2
	60～64歳	156	3	0	0	188	19	19	5	0	86	9	3	2	0
	65～69歳	41	3	1	0	51	9	10	3	1	37	12	2	0	2
	70～74歳	11	1	0	0	16	6	2	1	2	12	3	1	1	6
	75～79歳	5	0	0	0	21	4	6	0	0	14	11	6	0	11
80歳以上	93	4	2	0	161	27	62	64	15	95	122	65	21	112	
計	1,880	34	10	0	3,161	1,049	446	265	23	1,352	220	100	30	136	
合計	4,356	723	71	52	7,932	2,202	779	413	37	2,929	405	180	53	220	

※ 総合判定「判定なし」は一部業務委託等で、集計ができない受診登録だけの検診

結核検診

結核検診の概要

一般住民、学校生徒、事業所、施設入所者に対して、胸部 X 線検査(間接撮影、直接撮影)を行った。

1. 受診者数 (間接撮影+直接撮影)

(1) 全体の受診者数は、65,164 人(間接撮影 56,152 人 直接撮影 9,012 人)であった。

(2) 一般住民受診者数は、9 市 4 町村から受託し、24,887 人(間接撮影 24,831 人 直接撮影 56 人)であった。

(3) 学校生徒 17,403 人(間接撮影 17,388 人 直接撮影 15 人)、事業所 18,348 人(間接撮影 13,756 人 直接撮影 4,592 人)、施設 4,266 人(間接撮影 57 人 直接撮影 4,209 人)、外来受診者は 260 人(間接撮影 120 人 直接撮影 140 人)であった。

2. 判定結果(要精検者数・要精検率)

(1) 全体の要精検者数(要精検率)は、747 人(1.15%)であった。

(2) 一般住民受診者の要精検者数(要精検率)は、454 人(1.82%)であった。

(3) 学校生徒受診者の要精検者数(要精検率)は、29 人(0.17%)であった。

(4) 事業所受診者の要精検者数(要精検率)は、156 人(0.85%)であった。

(5) 施設入所受診者の要精検者数(要精検率)は、104 人(2.44%)であった。

(6) 外来受診者の要精検者数(要精検率)は、4 人(1.54%)であった。

3. 結核発見数・状況

(1) 全体の結核発見数は 2 人であった。(結核発見率 0.003%、陽性反応適中度 0.27%)

(2) 一般住民では、結核の発見はなかった。

(3) 学校生徒では、2 人(0.011%、陽性反応適中度 6.90%)であった。

(4) 事業所では、結核の発見はなかった。

(5) 施設・外来受診者では、結核の発見はなかった。

平成28年度 結核集団検診(胸部X線撮影)結果状況(所属別)

所属名	検診数		要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核発見率	陽性反応的中度	精密検査結果の疾患状況										未把握	
	間接撮影	直接撮影							肺がん	肺がん疑い	他悪性腫瘍	肺結核			呼吸器疾患	循環器疾患	他疾患	異常なし		不明
												要医療	要観察	治癒						
大分市	362		27	7.46%	24	88.89%									5		2	17		3
佐伯市	4,638	52	63	1.34%	59	93.65%			3		1		1	1	21	2	6	24		4
津久見市	759		10	1.32%	10	100.00%									8		1	1		0
竹田市	2,985		51	1.71%	43	84.31%			3						10	1	18	11		8
杵築市	1,118		28	2.50%	22	78.57%				1					9		6	6		6
宇佐市	1,626		39	2.40%	33	84.62%				1	1				11	1	3	16		6
豊後大野市	3,481	4	59	1.69%	52	88.14%			2	1	1			2	13	2	11	20		7
由布市	1,459		37	2.54%	31	83.78%			1					1	7		11	11		6
国東市	3,357		59	1.76%	51	86.44%			2		1				14	3	15	16		8
姫島村	736		8	1.09%	8	100.00%									2		4	2		0
日出町	758		17	2.24%	16	94.12%				1					5		5	5		1
九重町	1,622		20	1.23%	20	100.00%			1						5		9	5		0
玖珠町	1,930		36	1.87%	33	91.67%			3	1					16	2	9	2		3
市町村計	24,831	56	454	1.82%	402	88.55%	0.000%	0.00%	15	5	4	0	1	4	126	11	100	136	0	52
学校生徒	17,388	15	29	0.17%	27	93.10%	0.011%	6.90%				2		1	5	2	3	14	0	2
事業所	13,756	4,592	156	0.85%	88	56.41%	0.000%	0.00%	1	2					23		14	48		68
施設	57	4,209	104	2.44%	84	80.77%	0.000%	0.00%	2	4	1			1	39	13	18	6		20
外来	120	140	4	1.54%	4	100.00%	0.000%	0.00%							1		1	2		0
合計	56,152	9,012	747	1.15%	605	80.99%	0.003%	0.27%	18	11	5	2	1	6	194	26	136	206	0	142

平成28年度 結核集団検診(胸部X線撮影)結果状況(性別・年齢階級)

性別	年代	検診数		要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核発見率	陽性反応の集中度	精密検査結果の疾患状況										未把握	
		間接撮影	直接撮影							肺がん	肺がん疑い	他悪性腫瘍	肺結核			呼吸器疾患	循環器疾患	他疾患	異常なし		不明
													要医療	要観察	治癒						
男	39歳以下	318	1	3	0.94%	2	66.67%							1		1				1	
	40歳～44歳	280	2	2	0.71%	2	100.00%									1	1			0	
	45歳～49歳	260	1	1	0.38%		0.00%													1	
	50歳～54歳	257		2	0.78%	2	100.00%							1						0	
	55歳～59歳	457	2	4	0.87%	3	75.00%									2	1			1	
	60歳～64歳	944	1	11	1.16%	9	81.82%			1				4		5				2	
	65歳～69歳	2,275	5	60	2.63%	51	85.00%		1	2	1			2	15	3	11	16		9	
	70歳～74歳	1,730	2	35	2.02%	28	80.00%		1	1					8	1	6	11		7	
	75歳～79歳	1,397	7	34	2.42%	31	91.18%		2						8		6	15		3	
	80歳以上	1,445	4	43	2.97%	37	86.05%		2		1			1	13	1	9	10		6	
	小計	9,363	25	195	2.08%	165	84.62%	0.000%	0.00%	6	4	2	0	0	3	50	5	41	54	0	30
女	39歳以下	593		5	0.84%	4	80.00%									2	2			1	
	40歳～44歳	525		3	0.57%	3	100.00%											3		0	
	45歳～49歳	474		3	0.63%	3	100.00%							2				1		0	
	50歳～54歳	577	1	5	0.87%	5	100.00%							1				4		0	
	55歳～59歳	948		13	1.37%	11	84.62%							6		1	4		2		
	60歳～64歳	1,899	2	38	2.00%	34	89.47%		2				1	9	1	5	16		4		
	65歳～69歳	3,430	3	51	1.49%	50	98.04%		1		1			17	2	13	16		1		
	70歳～74歳	2,800	7	50	1.78%	46	92.00%						1	18		16	10		4		
	75歳～79歳	2,250	11	56	2.48%	51	91.07%		2		1			15	3	13	18		5		
	80歳以上	1,972	7	35	1.77%	30	85.71%		4	1				8		9	8		5		
	小計	15,468	31	259	1.67%	237	91.51%	0.000%	0.00%	9	1	2	0	1	1	76	6	59	82	0	22
市町村計	24,831	56	454	1.82%	402	88.55%	0.000%	0.00%	15	5	4	0	1	4	126	11	100	136	0	52	
学校生徒計	17,388	15	29	0.17%	27	93.10%	0.000%	0.00%	0	0	0	2	0	1	5	2	3	14	0	2	
事業所計	13,756	4,592	156	0.85%	88	56.41%	0.000%	0.00%	1	2	0	0	0	0	23	0	14	48	0	68	
施設計	57	4,209	104	2.44%	84	80.77%	0.000%	0.00%	2	4	1	0	0	1	39	13	18	6	0	20	
外来計	120	140	4	1.54%	4	100.00%	0.000%	0.00%	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0		
合計	56,152	9,012	747	1.15%	605	80.99%	0.003%	0.27%	18	11	5	2	1	6	194	26	136	206	0	142	

【再掲】平成28年度 結核集団検診(胸部X線撮影)結果状況(学校生徒)

性別	年代	検診数		要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核発見率	陽性反応の集中度	精密検査結果の疾患状況										未把握	
		間接撮影	直接撮影							肺がん	肺がん疑い	他悪性腫瘍	肺結核			呼吸器疾患	循環器疾患	他疾患	異常なし		不明
													要医療	要観察	治癒						
男	高校1学年	5,034		13	0.26%	13	100.00%								5	2	1	5			
	高校その他	1			0.00%																
	大学生	2,386	2	5	0.21%	5	100.00%	0.042%	20.00%			1		1					3		
	その他学校	954	5	1	0.10%	1	100.00%	0.105%	100.00%			1									
	小計	8,375	7	19	0.23%	19	100.00%	0.024%	10.53%	0	0	0	2	0	1	5	2	1	8	0	0
女	高校1学年	4,718		6	0.13%	5	83.33%											5		1	
	高校その他	2			0.00%																
	大学生	2,913		3	0.10%	2	66.67%											1	1	1	
	その他学校	1,380	8	1	0.07%	1	100.00%											1			
	小計	9,013	8	10	0.11%	8	80.00%	0.000%	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	2
合計	17,388	15	29	0.17%	27	93.10%	0.012%	6.90%	0	0	0	2	0	1	5	2	3	14	0	2	

肺がん検診

肺がん検診(胸部X線撮影)の概要

40歳以上の胸部X線検査受診者で二重読影を実施した人を肺がん検診受診者とした。

また、がん検診指針の改正に伴い、一般住民の40歳以上で6ヶ月以内に血痰がある者55人に対しては、肺がんの有症状者である疑いがあることから、医療機関への受診勧奨を行った。

1. 受診者数(間接撮影+直接撮影)

(1)全体の受診者数は、27,323人(間接撮影27,083人 直接撮影240人)であった。

その他集計に掲載しない二重読影が2,146人あった。

(2)一般住民受診者数は、9市4町村から受託し、24,052人(間接撮影23,997人 直接撮影55人)であった。

(4)事業所受診者数は3,271人(間接撮影3,086人 直接撮影185人)であった。

2. 判定結果

(1)受診者全体の要精検者数(要精検率)は、487人(1.78%)であった。

(2)一般住民受診者の要精検者数は、449人(1.87%)であった。

(3)事業所受診者の要精検者数は、38人(1.16%)であった。

3. 発見がんの状況

(1)肺がんは15例発見された。(肺がん発見率0.05%、陽性反応適中度3.08%)

その他、肺がん検診以外の胸部X線検査で肺がんが3例発見された。

(2)年齢階級別では、男性65～69歳以上1人、70～74歳1人、75～79歳2人、80歳以上2人と、女性60～64歳代2人、65～69歳1人、75～79歳2人、80歳以上4人であった。

(5)早期がんは8人(早期がん率53.33%)であった。

(4)がん組織分類は、扁平上皮がん1人、腺がん7人、その他1人、不明9人であった。

平成28年度 肺がん集団検診(胸部X線撮影)結果状況(所属別)

所属名	検診数		要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	肺がん発見率	陽性反応的中度	精密検査結果の疾患状況										未把握	
	間接撮影	直接撮影							肺がん	肺がん疑い	他悪性腫瘍	肺結核			呼吸器疾患	循環器疾患	他疾患	異常なし		不明
												要医療	要観察	治癒						
大分市	362		27	7.46%	24	88.89%								5		2	17		3	
佐伯市	4,623	52	63	1.35%	59	93.65%			3		1		1	1	21	2	6	24	4	
津久見市	753		10	1.33%	10	100.00%								8		1	1		0	
竹田市	2,873		50	1.74%	42	84.00%	0.10%	6.00%	3					10	1	17	11		8	
杵築市	1,100		28	2.55%	22	78.57%				1				9		6	6		6	
宇佐市	1,626		39	2.40%	33	84.62%				1	1			11	1	3	16		6	
豊後大野市	3,346	3	59	1.76%	52	88.14%	0.06%	3.39%	2	1	1		2	13	2	11	20		7	
由布市	1,367		36	2.63%	30	83.33%	0.07%	2.78%	1				1	7		10	11		6	
国東市	3,102		57	1.84%	49	85.96%	0.06%	3.51%	2		1			14	3	14	15		8	
姫島村	710		8	1.13%	8	100.00%								2		4	2		0	
日出町	754		17	2.25%	16	94.12%				1				5		5	5		1	
九重町	1,546		20	1.29%	20	100.00%	0.06%	5.00%	1					5		9	5		0	
玖珠町	1,835		35	1.91%	32	91.43%	0.16%	8.57%	3	1				16	2	9	1		3	
住民計	23,997	55	449	1.87%	397	88.42%	0.06%	3.34%	15	5	4	0	1	4	126	11	97	134	0	52
事業所	3,086	185	38	1.16%	5	13.16%	0.00%	0.00%						1		2	2		33	
合計	27,083	240	487	1.78%	402	82.55%	0.05%	3.08%	15	5	4	0	1	4	127	11	99	136	0	85

※ 上記以外、事業所・施設の胸部X線撮影で、肺がんが3例発見された

発見がん詳細分類

Stage分類		
IA期	5	早期
IB期	3	
IIA期		進行
IIIB期	2	
IIIV期	2	
不明	6	

組織分類	
扁平上皮癌	1
腺癌	7
その他	1
不明	9

早期	進行	不明	早期癌率
8	4	6	53.33%

※ stage Iを早期と代用して表示

平成28年度 肺がん集団検診(胸部X線撮影)結果状況(性別・年齢階級)

性別	年齢階級	検診数		要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	肺がん発見率	陽性反応の集中度	精密検査結果の疾患状況										未把握	
		間接撮影	直接撮影							肺がん	肺がん疑い	他悪性腫瘍	肺結核			呼吸器疾患	循環器疾患	他疾患	異常なし		不明
													要医療	要観察	治癒						
男	40歳～44歳	870	38	9	0.99%	4	44.44%								1		1	2		5	
	45歳～49歳	681	36	6	0.84%	1	16.67%										1			5	
	50歳～54歳	694	33	10	1.38%	3	30.00%								2		1			7	
	55歳～59歳	935	38	6	0.62%	4	66.67%										2	2		2	
	60歳～64歳	1,240	42	21	1.64%	10	47.62%				1				4		5			11	
	65歳～69歳	2,298	7	61	2.65%	51	83.61%	0.04%	1.64%	1	2	1			2	15	3	11	16		10
	70歳～74歳	1,732	3	36	2.07%	28	77.78%	0.06%	2.78%	1	1				8	1	6	11		8	
	75歳～79歳	1,398	7	34	2.42%	31	91.18%	0.14%	5.88%	2					8		6	15		3	
	80歳以上	1,446	4	43	2.97%	37	86.05%	0.14%	4.65%	2		1			1	13	1	9	10		6
	小計	11,294	208	226	1.96%	169	74.78%	0.05%	2.65%	6	4	2	0	0	3	51	5	42	56	0	57
女	40歳～44歳	802		5	0.62%	3	60.00%											3		2	
	45歳～49歳	678	1	3	0.44%	3	100.00%								2			1			
	50歳～54歳	758	1	8	1.05%	5	62.50%								1			4		3	
	55歳～59歳	1,083		14	1.29%	11	78.57%								6		1	4		3	
	60歳～64歳	1,998	2	39	1.95%	34	87.18%	0.10%	5.13%	2			1		9	1	5	16		5	
	65歳～69歳	3,443	3	51	1.48%	50	98.04%	0.03%	1.96%	1		1			17	2	13	16		1	
	70歳～74歳	2,803	7	50	1.78%	46	92.00%							1	18		16	10		4	
	75歳～79歳	2,251	11	56	2.48%	51	91.07%	0.09%	3.57%	2		1			15	3	13	18		5	
	80歳以上	1,973	7	35	1.77%	30	85.71%	0.20%	11.43%	4	1				8		9	8		5	
	小計	15,789	32	261	1.65%	233	89.27%	0.06%	3.45%	9	1	2	0	1	1	76	6	57	80	0	28
合計	27,083	240	487	1.78%	402	82.55%	0.05%	3.08%	15	5	4	0	1	4	127	11	99	136	0	85	

肺がん検診(喀痰細胞診)の概要

40歳以上の胸部X線検査受診者のうち、ハイリスク者(50歳以上喫煙指数600以上、60歳以上喫煙歴あり)に対して、喀痰細胞診検査の受診勧奨を行った。

また、がん検診指針の改正に伴い、一般住民の40歳以上で6ヶ月以内に血痰がある者に対しては、肺がんの有症状者である疑いがあることから、喀痰検査の対象とせず、医療機関への受診勧奨を行った。

1. 受診者数

(1) 全体の受診者数は、1,178人(有効検体数1,103人)であった。

(2) 一般住民受診者数は、9市3町から受託し、1,153人(有効検体数1,079人)であった。

(3) 事業所受診者数は25人(有効検体数24人)であった。

2. 判定結果

(1) 一般住民受診者の要精検者はいなかった。

(2) 事業所受診者の要精検者はいなかった。

3. 発見がんの状況

(1) 肺がんの発見はなかった。

胃がん検診

胃がん検診の概要

一般住民と事業所に対して日本消化器がん検診学会新・胃X線撮影法ガイドライン(改訂版2011年)による胃部X線検査(対策型検診・任意型検診)により実施した。

1. 受診者数

- (1) 全体の受診者数は、16,701人であった。
その他委託業務など集計に掲載しない検査が33件あった。
- (2) 一般住民受診者数は11市4町村より受託し、14,494人であった。
- (3) 事業所受診者数は、2,207人であった。

2. 判定結果

- (1) 一般住民の要精検者数(要精検率)は、1,451人(10.01%)であった。
- (2) 事業所検診の要精検者数(要精検率)は、168人(7.61%)であった。

3. 発見がん数の状況

- (1) 胃がんは16人発見された。(胃がん発見率0.10%、陽性反応適中度0.99%)
- (2) 年齢階級別では男性65～69歳3人、70～74歳5人、75～79歳2人、80歳以上2人と女性50～54歳1人、70～74歳1人、75～79歳代1人、80歳以上1人であった。
- (3) 早期がんは12人(早期がん率75.00%)であった。
- (4) がん壁深達度は、mが8人、smが4人、mpが1人、seが1人、siが1人、不明が1人であった。

平成28年度 胃がん検診結果状況（所属別）

所属名	検診受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	胃がん発見率	陽性反応適中率	精密検査結果の疾患状況										未受診
								胃がん	胃がん疑	胃腺腫	胃ポリープ	胃潰瘍(癒痕含)	十二指腸潰瘍(癒痕含)	胃十二指腸潰瘍(癒痕含)	胃炎	その他の疾患	異常なし	
大分市	2,303	182	7.90%	172	94.51%	0.22%	2.75%	5			42	9	2		83	10	21	10
別府市	558	64	11.47%	60	93.75%	0.18%	1.56%	1			19	2	1	1	27	6	3	4
佐伯市	1,730	183	10.58%	166	90.71%	0.00%	0.00%		1	1	33	10			78	9	34	17
津久見市	237	24	10.13%	23	95.83%	0.84%	8.33%	2			8				10	2	1	1
竹田市	1,472	150	10.19%	126	84.00%	0.20%	2.00%	3			24	9	5	1	58	13	13	24
豊後高田市	822	81	9.85%	76	93.83%	0.00%	0.00%		1		22	3		1	36	2	11	5
杵築市	558	58	10.39%	57	98.28%	0.18%	1.72%	1	1	1	10	3	1		30	4	6	1
宇佐市	1,470	154	10.48%	144	93.51%	0.14%	1.30%	2			27	8	4	3	62	10	28	10
豊後大野市	1,306	104	7.96%	99	95.19%	0.00%	0.00%				11	8			50	16	14	5
由布市	435	47	10.80%	44	93.62%	0.00%	0.00%		1		8	3	1		19	2	10	3
国東市	641	64	9.98%	56	87.50%	0.00%	0.00%		1		15		1	1	21	5	12	8
姫島村	136	20	14.71%	19	95.00%	0.00%	0.00%				3		1		8	5	2	1
日出町	484	48	9.92%	47	97.92%	0.21%	2.08%	1			16	4			19	1	6	1
九重町	907	111	12.24%	101	90.99%	0.00%	0.00%				23	6	5		45	6	16	10
玖珠町	1,435	161	11.22%	156	96.89%	0.07%	0.62%	1	1		37	9	4		89	11	4	5
事業所	2,207	168	7.61%	118	70.24%	0.00%	0.00%				41	3	1		41	8	24	50
合計	16,701	1,619	9.69%	1,464	90.43%	0.10%	0.99%	16	6	2	339	77	26	7	676	110	205	155

※日本たばこ、ネットワーク事業の判定不要のデータ33件を除く

発見がん詳細分類

深達度	
m	8
s m	4
m p	1
s e	1
s i	1
不明	1
未把握	

早期	進行	不明	未把握	早期がん率
12	3	1		75.00%

平成28年度 胃がん検診結果状況（性別・年齢階級）

一般住民

性別	年齢階級	検診受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	胃がん発見率	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患状況										
									胃がん	胃がん疑	胃腺腫	胃ポリープ	胃潰瘍(癒痕含)	十二指腸潰瘍(癒痕含)	胃十二指腸潰瘍(癒痕含)	胃炎	その他の疾患	異常なし	未受診
男性	29歳以下	4		0.00%															
	30～34歳	27	4	14.81%	4	100.00%	0.00%	0.00%				1				2		1	
	35～39歳	56	3	5.36%	3	100.00%	0.00%	0.00%					1			1		1	
	40～44歳	190	9	4.74%	9	100.00%	0.00%	0.00%				1			1	4	1	2	
	45～49歳	199	10	5.03%	8	80.00%	0.00%	0.00%					1			7			2
	50～54歳	158	9	5.70%	8	88.89%	0.00%	0.00%				2		1		3	1	1	1
	55～59歳	272	30	11.03%	26	86.67%	0.00%	0.00%				2	2	2		15	2	3	4
	60～64歳	609	55	9.03%	45	81.82%	0.00%	0.00%				6	7	1	1	23	3	4	10
	65～69歳	1,399	150	10.72%	136	90.67%	0.21%	2.00%	3			24	10	7	1	69	8	14	14
	70～74歳	1,140	145	12.72%	135	93.10%	0.44%	3.45%	5	2	1	18	10	2	1	70	12	14	10
	75～79歳	921	119	12.92%	111	93.28%	0.22%	1.68%	2	1	1	15	6	1		62	13	10	8
80歳以上	749	69	9.21%	65	94.20%	0.27%	2.90%	2			6	6	1		36	4	10	4	
計	5,724	603	10.53%	550	91.21%	0.21%	1.99%	12	3	2	75	43	15	4	292	44	60	53	
女性	29歳以下	13		0.00%															
	30～34歳	42	3	7.14%	3	100.00%	0.00%	0.00%								2		1	
	35～39歳	94	8	8.51%	7	87.50%	0.00%	0.00%				4				3			1
	40～44歳	447	37	8.28%	32	86.49%	0.00%	0.00%				17				8	2	5	5
	45～49歳	412	32	7.77%	32	100.00%	0.00%	0.00%				19	1			7	1	4	
	50～54歳	444	38	8.56%	37	97.37%	0.23%	2.63%	1			13	1	1		14	2	5	1
	55～59歳	661	49	7.41%	47	95.92%	0.00%	0.00%				17		3	1	17	4	5	2
	60～64歳	1,204	110	9.14%	103	93.64%	0.00%	0.00%		1		26	6	2	1	46	5	16	7
	65～69歳	1,957	218	11.14%	209	95.87%	0.00%	0.00%	0	1		51	8	2		91	19	37	9
	70～74歳	1,593	172	10.80%	161	93.60%	0.06%	0.58%	1	1		38	5		1	72	14	29	11
	75～79歳	1,188	101	8.50%	93	92.08%	0.08%	0.99%	1			23	7			47	5	10	8
80歳以上	715	80	11.19%	72	90.00%	0.14%	1.25%	1			15	3	2		36	6	9	8	
計	8,770	848	9.67%	796	93.87%	0.05%	0.47%	4	3	0	223	31	10	3	343	58	121	52	
合計	14,494	1,451	10.01%	1,346	92.76%	0.11%	1.10%	16	6	2	298	74	25	7	635	102	181	105	

事業所

性別	年齢階級	検診受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	胃がん発見率	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患状況										
									胃がん	胃がん疑	胃腺腫	胃ポリープ	胃潰瘍(癒痕含)	十二指腸潰瘍(癒痕含)	胃十二指腸潰瘍(癒痕含)	胃炎	その他の疾患	異常なし	未受診
男性	29歳以下	15		0.00%															
	30～34歳	55	1	1.82%	1	100.00%	0.00%	0.00%				1							
	35～39歳	220	11	5.00%	7	63.64%	0.00%	0.00%				2				3		2	4
	40～44歳	367	13	3.54%	9	69.23%	0.00%	0.00%				1				2	2	4	4
	45～49歳	261	13	4.98%	7	53.85%	0.00%	0.00%				4				1		2	6
	50～54歳	244	21	8.61%	13	61.90%	0.00%	0.00%				3	1	1		5		3	8
	55～59歳	228	28	12.28%	18	64.29%	0.00%	0.00%				7				8	2	1	10
	60～64歳	178	24	13.48%	14	58.33%	0.00%	0.00%				3	1			6	1	3	10
	65～69歳	55	7	12.73%	5	71.43%	0.00%	0.00%				1				4			2
	70～74歳	18	3	16.67%	3	100.00%	0.00%	0.00%								1	1	1	
	75～79歳	6		0.00%															
80歳以上	1		0.00%																
計	1,648	121	7.34%	77	63.64%	0.00%	0.00%	0	0	0	22	2	1	0	30	6	16	44	
女性	29歳以下			0.00%															
	30～34歳	19		0.00%															1
	35～39歳	28	1	3.57%	1	100.00%	0.00%	0.00%											
	40～44歳	81	2	2.47%	2	100.00%	0.00%	0.00%				2							
	45～49歳	104	6	5.77%	6	100.00%	0.00%	0.00%				4							2
	50～54歳	98	10	10.20%	9	90.00%	0.00%	0.00%				3	1			4		1	1
	55～59歳	91	11	12.09%	7	63.64%	0.00%	0.00%				5				1		1	4
	60～64歳	71	7	9.86%	6	85.71%	0.00%	0.00%				1				2	1	2	1
	65～69歳	42	6	14.29%	6							3				1	1	1	
	70～74歳	19	2	10.53%	2	100.00%	0.00%	0.00%								2			
	75～79歳	5	2	40.00%	2	100.00%	0.00%	0.00%				1				1			
80歳以上	1		0.00%																
計	559	47	8.41%	41	87.23%	0.00%	0.00%	0	0	0	19	1	0	0	11	2	8	6	
合計	2,207	168	7.61%	118	70.24%	0.00%	0.00%	0	0	0	41	3	1	0	41	8	24	50	

胃血液検査の概要

一般住民検診において、希望者に対して血液のペプシノーゲン検査とヘリコバクターピロリ抗体検査を行った。

1. 受診者数

一般住民受診者数は、4市1町から受託し527人であった。
ペプシノーゲン検査は138人もヘリコバクターピロリ抗体検査187人、ペプシノーゲン検査とヘリコバクターピロリ抗体検査の両方受診が202人あった。
その他集計に掲載しない事業所等の検診が112件あった。

2. 判定結果

ペプシノーゲンIが70以下かつ、ペプシノーゲンIとIIの比が3.0以下、又はヘリコバクターピロリ抗体10.0u/ml以上を要精検とし、125人(23.72%)が要精検となった。

3. 発見がんの状況

(1)胃がんは発見されなかった。

平成28年度 胃血液検査実施状況(所属別)

所属名	受診者数	要精検者数				要精検率	精検受診者数	精検受診率	胃がん発見率	陽性反応適中度	精 検 結 果 内 訳													未受診				
		ペプシノーゲン	ヘリコバクターピロリ抗体	ペプシノーゲン+ヘリコバクターピロリ抗体	要精検者数						胃がん	早期胃がん	進行胃がん	胃がん計	胃がん疑い	胃腺腫	胃ポリープ	(胃潰瘍(瘢痕含む))	(十二指腸潰瘍(瘢痕含む))	(胃・十二指腸潰瘍(瘢痕含む))	胃炎	その他疾患	異常なし					
大分市	22			22	5	22.73%	5	#####	0.00%	0.00%														4		1		
津久見市	23	23			5	21.74%	4	80.00%	0.00%	0.00%														3	1		1	
杵築市	43	43			13	30.23%	12	92.31%	2.33%	7.69%			1		1									9	1	1	1	
国東市	367		187	180	91	24.80%	66	72.53%	0.00%	0.00%						4		3	1	44	12	2	25					
玖珠町	72	72			11	15.28%	11	#####	0.00%	0.00%						4				5	2							
合 計	527	138	187	202	125	23.72%	98	78.40%	0.19%	0.80%	0	1	0	1	0	0	8	0	3	1	65	16	4	27				

平成28年度 胃血液検査実施状況(性別・年齢階級別)

性別	年代	受診者数	要精検者数				要精検率	精検受診者数	精検受診率	胃がん発見率	陽性反応適中度	精 検 結 果 内 訳													未受診				
			ペプシノーゲン	ヘリコバクターピロリ抗体	ペプシノーゲン+ヘリコバクターピロリ抗体	要精検者数						胃がん	早期胃がん	進行胃がん	胃がん計	胃がん疑い	胃腺腫	胃ポリープ	(胃潰瘍(瘢痕含む))	(十二指腸潰瘍(瘢痕含む))	(胃・十二指腸潰瘍(瘢痕含む))	胃炎	その他疾患	異常なし					
男性	39歳以下	10	2	7	1	1	10.00%		0.00%	0.00%	0.00%																		
	40～44歳	6	1	1	4	1	16.67%	1	100.00%	0.00%	0.00%														1				
	45～49歳	4	1	1	2		0.00%																						
	50～54歳	5	2	1	2	1	20.00%	1	100.00%	0.00%	0.00%														1				
	55～59歳	9	4	3	2	2	22.22%	1	50.00%	0.00%	0.00%					1												1	
	60～64歳	23	4	12	7	5	21.74%	5	100.00%	0.00%	0.00%					1									3	1			
	65～69歳	37	15	10	12	11	29.73%	6	54.55%	0.00%	0.00%					1									3	2		5	
	70～74歳	21	9	8	4	8	38.10%	6	75.00%	0.00%	0.00%					1									4	1		2	
	75～79歳	15	5	2	8	6	40.00%	4	66.67%	0.00%	0.00%														4				2
	80歳以上	9	1	4	4	1	11.11%	1	100.00%	0.00%	0.00%														1				
計	139	44	49	46	36	25.90%	25	69.44%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	17	4	0	11					
女性	39歳以下	31	5	17	9	5	16.13%	2	40.00%	0.00%	0.00%														2			3	
	40～44歳	26	7	7	12	5	19.23%	5	100.00%	0.00%	0.00%														4	1			
	45～49歳	24	2	5	17	1	4.17%	1	100.00%	0.00%	0.00%														1				
	50～54歳	24	2	5	17	4	16.67%	4	100.00%	0.00%	0.00%							1							2	1			
	55～59歳	41	11	10	20	7	17.07%	6	85.71%	0.00%	0.00%														6			1	
	60～64歳	53	9	24	20	11	20.75%	9	81.82%	1.89%	9.09%		1		1				1	1	4	1	1	2					
	65～69歳	84	29	30	25	24	28.57%	19	79.17%	0.00%	0.00%					1					14	3	1	5					
	70～74歳	54	16	21	17	18	33.33%	14	77.78%	0.00%	0.00%					1			1		7	5		4					
	75～79歳	26	10	8	8	8	30.77%	8	100.00%	0.00%	0.00%					1					5	1	1						
	80歳以上	25	3	11	11	6	24.00%	5	83.33%	0.00%	0.00%					1					3			1	1				
計	388	94	138	156	89	22.94%	73	82.02%	0.26%	1.12%	0	1	0	1	0	0	4	0	3	1	48	12	4	16					
合 計	527	138	187	202	125	23.72%	98	78.40%	0.19%	0.80%	0	1	0	1	0	0	8	0	3	1	65	16	4	27					

子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の概要

子宮頸がん検診は、13市4町村から委託を受けた一般住民検診及び事業所検診を実施した。原則ブラシ採取し、作製した液状化検体細胞診標本をベセスダシステムで判定した。

1. 受診者数

- (1) 全体の受診者数は、20,886人であった。
※細胞診+HPV検査9人は別途集計表に表示した。
- (2) 一般住民の受診者数は、20,116人であった。
- (3) 事業所受診者数は、770人であった。

2. 判定不能数

- (1) 一般住民の判定不能数は8人であった。
- (2) 事業所受診者の判定不能数はいなかった。

3. 判定結果

- (1) 一般住民の要精検者数(要精検率)は、305人(1.52%)であった。
- (2) 事業所受診者の要精検者数(要精検率)は、33人(4.29%)であった。

4. 発見がんの状況

- (1) 子宮頸がんは12例発見された。(子宮頸がん発見率0.06%、陽性反応適中度3.55%)
その他子宮体がんが2例発見された。
- (2) 年齢階級別では、30～34歳代3人、35～39歳代3人、40～44歳代2人、55歳～59歳代1人、60～64歳代1人、65～69歳代1人、75～79歳代1人であった。
- (3) 早期がんは9人(早期がん率75.00%)であった。
- (4) がん組織分類は、CIN3(上皮内がん)9例、扁平上皮がん1例、頸部腺がん2例であった。

平成28年度 子宮頸がん検診結果状況（所属別）

所属名	検診受診者数	要精検者数	判定不能	要精率	精検受診者数	精検受診率	子宮頸がん発見率※	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患状況													未受診	未把握	
									子宮頸部病変										子宮体癌	その他の疾患	異常なし			
									CIN1	CIN2	CIN3 (再掲) 上皮内癌	微小浸潤扁平上皮癌	扁平上皮癌	腺異形成	上皮内腺癌	微小浸潤腺癌	頸部腺癌	その他の癌						
大分市	3,051	75	3	2.46%	67	89.33%	0.07%	2.67%	20	7	7	1		1					1	13	18	2	6	
別府市	953	15		1.57%	14	93.33%	0.00%	0.00%	2	2	2									5	3		1	
中津市	1,566	28	1	1.79%	26	92.86%	0.00%	0.00%	8	3	1				1					5	8	1	1	
佐伯市	2,702	27	1	1.00%	22	81.48%	0.00%	0.00%	6	1	3									5	7	2	3	
臼杵市	635	11		1.73%	11	100.00%	0.31%	18.18%	2	1	4	2										4		
津久見市	493	8		1.62%	7	87.50%	0.00%	0.00%	1										1	1	4	1		
竹田市	1,316	18		1.37%	15	83.33%	0.00%	0.00%	4	3	3									3	2	1	2	
豊後高田市	984	7		0.71%	6	85.71%	0.00%	0.00%	1	1	1										3	1		
杵築市	662	9		1.36%	9	100.00%	0.15%	11.11%	2	1	2	1								1	3			
宇佐市	1,719	31		1.80%	30	96.77%	0.06%	3.23%	10	4	2	1			1					10	3		1	
豊後大野市	1,763	24		1.36%	21	87.50%	0.06%	4.17%	6		2	1								8	5	3		
由布市	939	12	1	1.28%	11	91.67%	0.11%	8.33%	5		2	1								2	2		1	
国東市	1,133	12	1	1.06%	11	91.67%	0.00%	0.00%	4		2									1	4	1		
姫島村	150	1		0.67%	1	100.00%	0.00%	0.00%	1															
日出町	337	2		0.59%	2	100.00%	0.00%	0.00%	1												1			
九重町	752	10		1.33%	10	100.00%	0.00%	0.00%	1	1	3				1					2	2			
玖珠町	961	15	1	1.56%	14	93.33%	0.21%	13.33%	5	1	2	1						1		2	3		1	
事業所	770	33		4.29%	27	81.82%	0.26%	6.06%	7	2	5	1						1		4	8		6	
合計	20,886	338	8	1.62%	304	89.94%	0.06%	3.55%	86	27	41	9	0	1	3	0	0	2	0	2	62	80	12	22

※ 上皮内がん、上皮内腺がん以上の病変数で算出

発見がん(頸がんのみ)詳細分類

期別分類	
I A1期	1
I B1期	2

※子宮頸癌取扱い規約(第3版)の改定に伴い、期別分類0期は削除。

早期 ※ ¹		進行	早期がん率
上皮内がん	微小浸潤がん		
9 ※ ²		3	75.00%

※¹ 上皮内がん、上皮内腺がん、微小浸潤扁平上皮がん、微小浸潤腺がんを早期がんとして表示。

※² 上皮内がん及び上皮内腺がんの数。

組織分類	
CIN3(上皮内がん)	9
扁平上皮がん	1
頸部腺がん	2

平成28年度 子宮頸がん検診結果集計表 (年齢階級別)

一般住民

年齢階級	検診受診者数	要精検者数	判定不能	要検率	精検受診者数	精検受診率	子宮頸がん発見率※	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患状況													未受診	未把握		
									子宮頸部病変										子宮体癌	その他の疾患	異常なし				
									CIN1	CIN2	CIN3 (再掲) 上皮内癌	微小浸潤 扁平上皮癌	扁平上皮癌	腺異形成	上皮内腺癌	微小浸潤腺癌	頸部腺癌	その他の癌							
29歳以下	314	17		5.41%	15	88.24%	0.00%	0.00%	6	2	3											2	2	1	1
30～34歳	831	37		4.45%	35	94.59%	0.36%	8.11%	12	2	9	3		1								3	8	1	1
35～39歳	1,047	39		3.72%	38	97.44%	0.29%	7.69%	10	1	6	1		1	1			1				5	13	1	
40～44歳	1,462	41		2.80%	33	80.49%	0.07%	2.44%	8	4	6	1										6	9	1	7
45～49歳	1,130	27		2.39%	24	88.89%	0.00%	0.00%	11	2												7	4		3
50～54歳	1,131	14	2	1.24%	14	100.00%	0.00%	0.00%	4	2												2	6		
55～59歳	1,445	21	2	1.45%	20	95.24%	0.00%	0.00%	6	4									1			3	6		1
60～64歳	2,430	30	2	1.23%	25	83.33%	0.04%	3.33%	5	6	3	1			1							5	5	4	1
65～69歳	6,951	34	2	0.49%	33	97.06%	0.01%	2.94%	8	1	4	1										13	7	1	
70～74歳	3,168	13		0.41%	10	76.92%	0.00%	0.00%	2		1								1			1	5	2	1
75～79歳	2,079	18		0.87%	18	100.00%	0.05%	5.56%	4	1	1	1										6	6		
80歳以上	1,128	14		1.24%	12	85.71%	0.00%	0.00%	3		3											5	1	1	1
合計	23,116	305	8	1.32%	277	90.82%	0.04%	3.28%	79	25	36	8	0	1	3	0	0	1	0	2	58	72	12	16	

事業所

※ 上皮内がん、上皮内腺がん以上の病変数で算出

年齢階級	検診受診者数	要精検者数	判定不能	要検率	精検受診者数	精検受診率	子宮頸がん発見率※	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患状況													未受診	未把握		
									子宮頸部病変										子宮体癌	その他の疾患	異常なし				
									CIN1	CIN2	CIN3 (再掲) 上皮内癌	微小浸潤 扁平上皮癌	扁平上皮癌	腺異形成	上皮内腺癌	微小浸潤腺癌	頸部腺癌	その他の癌							
29歳以下	107	4		3.74%	3	75.00%	0.00%	0.00%	2		1														1
30～34歳	75	6		8.00%	5	83.33%	0.00%	0.00%	1	1	2											1			1
35～39歳	94	7		7.45%	5	71.43%	0.00%	0.00%	1	1	1												2		2
40～44歳	129	7		5.43%	6	85.71%	0.78%	14.29%	1		1	1										2	2		1
45～49歳	97	5		5.15%	4	80.00%	0.00%	0.00%	2														2		1
50～54歳	89	2		2.25%	2	100.00%	0.00%	0.00%														1	1		
55～59歳	89	2		2.25%	2	100.00%	1.12%	50.00%										1					1		
60～64歳	43	0		0.00%																					
65～69歳	27	0		0.00%																					
70～74歳	10	0		0.00%																					
75～79歳	7	0		0.00%																					
80歳以上	3	0		0.00%																					
合計	770	33	0	4.29%	27	81.82%	0.26%	6.06%	7	2	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4	8	0	6	

※ 上皮内がん、上皮内腺がん以上の病変数で算出

子宮頸がん検診(細胞診+HPV 検査)の概要

子宮頸がん検診(細胞診+HPV 検査)は、当センター診療所において事業所検診として実施した。細胞診検査は原則ブラシ採取し、作製した液状化検体細胞診標本をベセスダシステムで判定した。HPV 検査は、細胞診検査で採取した検体を用いて同時に実施した。

1. 受診者数

受診者数は 9 人であった。

2. 検診結果

検診結果は細胞診検査と HPV 検査結果の組合せにより区別し、次回検診(3 年後)が 7 人、次回検診(1 年後)が 2 人であった。

平成28年度 子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)結果集計表 (年齢階級別)

事業所

年齢階級	検診受診者数	検診結果と指導区分							
		細胞診 (判定不能)	細胞診(-) HPV(-)	細胞診(-) HPV(判定不能)	細胞診(-) HPV(+)	細胞診(ASC-US) HPV(-)	細胞診(ASC-US) HPV(判定不能)	細胞診(ASC-US) HPV(+)	細胞診 (+)
		ただちに 再検査	次回検診 (3年後)	次回検診 (1年後)		精密検査			
29歳以下									
30～34歳	3		3						
35～39歳	2		1		1				
40～44歳									
45～49歳	3		2		1				
50～54歳	1		1						
55～59歳									
60～64歳									
65～69歳									
70～74歳									
75～79歳									
80歳以上									
合計	9	0	7	0	2	0	0	0	0

乳 がん 検 診

乳がん検診の概要

乳がん検診は、7市3町から委託を受けた一般住民検診及び、事業所検診を実施した。
また、平成25年度より超音波による乳房エコー検査を実施している。

1. 受診者数

- (1) 全体の受診者数は17,147人(実人員)であった。
- (2) 一般住民受診者数は14,900人
- (3) 事業所受診者数は2,247人であった。
- (4) 実施した検査の種類は、マンモグラフィのみ15,130人(一般住民14,285人、事業所845人)、マンモグラフィ・視触診併用374人(事業所374人)、エコーのみ1,406人(一般住民592人、事業所814人)、視触診・エコー併用62人(事業所62人)、マンモグラフィ・エコー併用35人(一般住民23人、事業所12人)、マンモグラフィ・エコー・視触診併用140人(事業所140人)であった。

2. 判定結果

- (1) 一般住民受診者の要精検者数(要精検率)は955人(6.41%)であった。
- (2) 事業所受診者の要精検者数(要精検率)は185人(8.23%)であった。

3. 発見がん発見状況

- (1) 乳がんは53例発見された。(乳がん発見率0.31%、陽性反応的中度4.65%)
- (2) 年齢階級別では35～39歳2人、40～44歳2人、45～49歳代5人、50～54歳2人、55～59歳7人、60～64歳代6人、65～69歳8人、70～74歳9人、75～79歳6人、80歳以上6人であった。
- (3) 早期がんは37例(早期がん率69.81%)であった。
- (4) 組織分類は、非浸潤性乳管がん8例、乳頭腺管がん11例、充実腺管がん7例、硬がん15例、粘液がん2例、浸潤性小葉がん3例、その他特殊型1例、組織分類未把握6例であった。

平成28年度 乳がん検診結果状況（所属別）

所属名	検診受診者数							要精検者数	要精率	精検受診者数	精検受診率	乳がん発見率	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患別状況										未受診
	総数	X線の み	視触診+ X線	エコーの み	視触診+ エコー	X線+ エコー	視触診+ X線+ エコー							乳がん	がん疑 線維腫	乳腺症	乳腺炎	乳頭腫	のう胞	その他	異常なし			
大分市	3,698	3,698	0	0	0	0	0	293	7.92%	282	96.25%	0.30%	3.75%	11	1	21	25	0	2	36	21	165	11	
別府市	1,038	1,038	0	0	0	0	0	68	6.55%	62	91.18%	0.48%	7.35%	5	0	3	7	0	0	4	5	38	6	
佐伯市	2,590	2,590	0	0	0	0	0	148	5.71%	146	98.65%	0.39%	6.76%	10	2	18	7	0	1	23	3	82	2	
杵築市	656	374	0	282	0	0	0	36	5.49%	36	100.00%	0.46%	8.33%	3	0	4	3	0	1	5	5	15	0	
宇佐市	1,729	1,729	0	0	0	0	0	112	6.48%	107	95.54%	0.29%	4.46%	5	1	7	7	0	1	16	7	63	5	
豊後大野市	1,834	1,779	0	52	0	3	0	93	5.07%	86	92.47%	0.05%	1.08%	1	0	13	6	0	0	12	7	47	7	
由布市	1,178	1,178	0	0	0	0	0	74	6.28%	74	100.00%	0.25%	4.05%	3	0	8	7	0	0	8	1	47	0	
日出町	386	338	0	32	0	16	0	29	7.51%	27	93.10%	0.26%	3.45%	1	0	2	1	0	0	0	3	20	2	
九重町	883	784	0	98	0	1	0	54	6.12%	52	96.30%	0.34%	5.56%	3	0	4	6	1	0	8	5	25	2	
玖珠町	908	777	0	128	0	3	0	48	5.29%	46	95.83%	0.66%	12.50%	6	0	4	0	0	0	7	5	24	2	
事業所	2,247	845	374	814	62	12	140	185	8.23%	174	94.05%	0.22%	2.70%	5	0	43	16	0	2	42	11	55	11	
合計	17,147	15,130	374	1,406	62	35	140	1,140	6.65%	1,092	95.79%	0.31%	4.65%	53	4	127	85	1	7	161	73	581	48	

X線の み	15,130	996	6.58%	282	28.31%	0.30%	4.52%	45	4	89	71	1	4	129	61	553	39
----------	--------	-----	-------	-----	--------	-------	-------	----	---	----	----	---	---	-----	----	-----	----

視触診+ X線	374	29	7.75%	146	503.45%	0.27%	3.45%	1	0	5	3	0	0	7	4	7	2
------------	-----	----	-------	-----	---------	-------	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

エコーの み	1,406	83	5.90%	107	128.92%	0.36%	6.02%	5	0	24	10	0	3	17	7	11	6
-----------	-------	----	-------	-----	---------	-------	-------	---	---	----	----	---	---	----	---	----	---

視触診+ エコー	62	7	11.29%	74	1057.14%	0.00%	0.00%	0	0	4	0	0	0	2	0	1	0
-------------	----	---	--------	----	----------	-------	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

X線+ エコー	35	3	8.57%	52	1733.33%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
------------	----	---	-------	----	----------	-------	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

視触診+X 線+ エコー	140	22	15.71%	174	790.91%	1.43%	9.09%	2	0	5	1	0	0	5	1	8	0
--------------------	-----	----	--------	-----	---------	-------	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

発見がん詳細分類

Stage分類	
Tis	8
T1	32
T2	6
T3	
T4	1
不明	
未把握	6

組織分類

非浸潤性乳管がん	8
乳頭腺管がん	11
充実線管がん	7
硬がん	15
粘液がん	2
浸潤性小葉がん	3
その他特殊型	1
不明	
未把握	6

早期がん	進行	不明	未把握	早期がん率
37	10		6	69.81%

平成28年度 乳がん検診結果状況（年齢階級別）

一般住民

年齢階級	検診受診者数							要精検者数	要検	精率	精検受診者数	精検受診率	乳がん発見率	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患別状況									未受診
	総数	X線のみ	視触診+X線	エコーのみ	視触診+エコー	X線+エコー	視触診+X線+エコー								乳がん	がん疑	線維腺腫	乳腺症	乳腺炎	乳頭腫	のう胞	その他	異常なし	
29歳以下	110	48		62				8	7.27%	8	100.00%	0.00%	0.00%			2	2			1	1	2		
30～34歳	522	400		122				50	9.58%	49	98.00%	0.00%	0.00%			5	4		1	9	5	25	1	
35～39歳	653	491		162				61	9.34%	59	96.72%	0.31%	3.28%	2		7	6			9	2	33	2	
40～44歳	1,246	1,207		36			3	116	9.31%	111	95.69%	0.16%	1.72%	2		14	15		1	17	9	53	5	
45～49歳	994	967		25			2	79	7.95%	77	97.47%	0.30%	3.80%	3		13	8		1	15	4	33	2	
50～54歳	1,051	1,027		22			2	78	7.42%	74	94.87%	0.19%	2.56%	2	1	4	3			18	5	41	4	
55～59歳	1,218	1,197		19			2	80	6.57%	75	93.75%	0.49%	7.50%	6		7	5			7	6	44	5	
60～64歳	1,957	1,915		38			4	125	6.39%	119	95.20%	0.20%	3.20%	4		8	9			14	7	77	6	
65～69歳	2,928	2,886		35			7	150	5.12%	145	96.67%	0.27%	5.33%	8	2	8	8		1	18	7	93	5	
70～74歳	2,231	2,194		35			2	115	5.15%	112	97.39%	0.40%	7.83%	9		10	5	1		7	8	72	3	
75～79歳	1,390	1,362		27			1	61	4.39%	59	96.72%	0.43%	9.84%	6	1	5	3		1	2	6	35	2	
80歳以上	600	591		9				32	5.33%	30	93.75%	1.00%	18.75%	6		1	1			2	2	18	2	
合計	14,900	14,285	0	592	0	23	0	955	6.41%	918	96.13%	0.32%	5.03%	48	4	84	69	1	5	119	62	526	37	

事業所

年齢階級	検診受診者数							要精検者数	要検	精率	精検受診者数	精検受診率	乳がん発見率	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患別状況									未受診
	総数	X線のみ	視触診+X線	エコーのみ	視触診+エコー	X線+エコー	視触診+X線+エコー								乳がん	がん疑	線維腺腫	乳腺症	乳腺炎	乳頭腫	のう胞	その他	異常なし	
29歳以下	111	20	31	26	7	1	26	7	6.31%	7	100.00%	0.00%	0.00%			5				1	1			
30～34歳	195	59	32	83	7	2	12	28	14.36%	27	96.43%	0.00%	0.00%			8	2			7	3	7	1	
35～39歳	202	42	42	82	17	1	18	14	6.93%	13	92.86%	0.00%	0.00%			1	3			3	2	4	1	
40～44歳	406	202	71	93	18	4	18	38	9.36%	35	92.11%	0.00%	0.00%			9	5			7	1	13	3	
45～49歳	371	215	57	67	6		26	41	11.05%	37	90.24%	0.54%	4.88%	2		7	1		1	7	1	18	4	
50～54歳	272	136	58	56		1	21	27	9.93%	26	96.30%	0.00%	0.00%			9				11		6	1	
55～59歳	254	109	45	77	5	2	16	9	3.54%	9	100.00%	0.39%	11.11%	1			1			2	1	4		
60～64歳	168	34	26	103	1	1	3	10	5.95%	9	90.00%	1.19%	20.00%	2			1			3		3	1	
65～69歳	152	17	9	125	1			7	4.61%	7	100.00%	0.00%	0.00%			3	2		1		1			
70～74歳	67	6	3	58				2	2.99%	2	1.00	0.00%	0.00%							1	1			
75～79歳	36	3		33				2	5.56%	2						1	1							
80歳以上	13	2		11					0.00%															
合計	2,247	845	374	814	62	12	140	185	8.23%	174	94.05%	0.22%	2.70%	5	0	43	16	0	2	42	11	55	11	

大腸がん検診

大腸がん検診の概要

大腸がん検診は、8市3町から委託を受けた一般住民検診及び、事業所検診に対して免疫便潜血検査2日法を行った。

1. 受診者数

- (1) 全体の受診者数は、23,777人であった。
その他集計に掲載しない事業所等の検診が475件あった。
- (2) 一般住民の受診者数は、21,966人であった。
- (3) 事業所受診者数は、1,811人であった。

2. 判定結果

- (1) 一般住民受診者の要精検者数(要精検率)は、1,486人(6.77%)であった。
- (2) 事業所受診者の要精検者数(要精検率)は、87人(4.80%)であった。

3. 発見がんの状況

- (1) 大腸がんは52例発見された。(大腸がん発見率0.22%、陽性反応適中度3.31%)
- (2) 性別・年齢階級別では、男性40～44歳1人、55～59歳2人、60～64歳2人、65～69歳5人、70～74歳3人、75～79歳3人、80歳以上4人と、女性40～44歳1人、50～54歳1人、60～64歳1人、65～69歳5人、70～74歳7人、75～79歳10人、80歳以上7人であった。
- (3) 早期がん27例で早期がん率は51.92%であった。
- (4) がん壁深達度はTisが14人、T1が13人、T2が10人、T3が8人、T4aが1人、不明が2人、未把握が4人であった。

平成28年度 大腸がん検診結果状況（所属別）

所属名	検診受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	大腸がん発見率	陽性反応適中度	精密検査結果の疾患状況											未受診	未把握	
								大腸がん	がん疑	大腸ポリープ腺腫	大腸ポリープ非腺腫	大腸ポリープ類不能	腸リ分不能	粘膜下腫瘍	大腸憩室	痔疾患	炎症性疾患	その他の疾患			異常なし
大分市	8,046	551	6.85%	477	86.57%	0.24%	3.45%	19	1	166	43	5	3	60	50	10	8	112	42	32	
別府市	744	45	6.05%	41	91.11%	0.27%	4.44%	2		15	3	1		4	6	2		8	3	1	
佐伯市	3,693	276	7.47%	223	80.80%	0.22%	2.90%	8		69	13	2	1	28	18	7	3	74	49	4	
津久見市	539	46	8.53%	40	86.96%	0.00%	0.00%			16	1			3	1	3		16	5	1	
杵築市	820	54	6.59%	44	81.48%	0.24%	3.70%	2		16		3		7	6	2	1	7			
豊後大野市	2,401	142	5.91%	121	85.21%	0.04%	0.70%	1		45	14	4		13	6	4	3	31	14	7	
由布市	566	31	5.48%	26	83.87%	0.18%	3.23%	1		10	2	1		1	2	2	1	6			
国東市	1,476	112	7.59%	98	87.50%	0.47%	6.25%	7		27	6	4		10	21	1	1	21	12	2	
日出町	630	50	7.94%	37	74.00%	0.63%	8.00%	4		13				2	8			10	12	1	
九重町	1,220	82	6.72%	69	84.15%	0.41%	6.10%	5		20	5			8	14	2		15	11	2	
玖珠町	1,831	97	5.30%	82	84.54%	0.11%	2.06%	2	1	38	6	1		9	9	3		13	6	9	
事業所	1,811	87	4.80%	51	58.62%	0.06%	1.15%	1		11	8			5	5	2	1	18	4	32	
合計	23,777	1,573	6.62%	1,309	83.22%	0.22%	3.31%	52	2	446	101	21	4	150	146	38	18	331	158	91	

発見がん詳細分類

壁深達度		
M		
Tis	14	
T1	13	
T2	10	進行
T3	8	
T4a	1	
不明	2	
未把握	4	

早期	進行	不明	未把握	早期がん率
27	19	2	4	51.92%

前立腺がん検診

前立腺がん検診の概要

前立腺がん検診は 7 市 3 町から受託し、希望者に対して血液中の前立腺特異抗原（P S A）検査を行った。

1. 受診者数

一般住民受診者数は 3,627 人であった。

その他集計に掲載しない事業所等の検診が 164 件あった。

2. 判定結果

P S A 値 4.1ng/ml 以上を要精検とし、265 人(7.31%)が要精検となった。

3. 発見がんの状況

(1) 前立腺がんは 16 人発見された。(前立腺がん発見率 0.44%、陽性反応適中度 6.04%)

(2) 年齢階級別では、60～64 歳 1 人、65～69 歳 4 人、70～74 歳 4 人、75～79 歳 5 人、80 歳以上 2 人であった。

平成28年度 前立腺がん集団検診実施状況(所属別)

市町村名	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	陽性反応適中度	前立腺がん発見率	精検結果内訳								未把握
								前立腺がん	前立腺がん疑い	前立腺肥大症	前立腺炎	その他癌	その他疾患	異常なし	不明	
大分市	58	9	15.52%	6	66.67%	0.00%	0.00%		2	3				1		3
津久見市	57	4	7.02%	3	75.00%	0.00%	0.00%		1					2		1
竹田市	836	70	8.37%	58	82.86%	7.41%	0.66%	2	9	41			1	5		12
杵築市	54	3	5.56%	2	66.67%	7.41%	0.66%			1				1		1
豊後大野市	990	79	7.98%	62	78.48%	7.41%	0.66%	2	13	38	1			8		17
由布市	120	12	10.00%	11	91.67%	8.33%	0.83%	1	4	3			2	1		1
国東市	475	26	5.47%	21	80.77%	0.00%	0.00%		13	6			2			5
日出町	155	16	10.32%	13	81.25%	25.00%	2.58%	4		7			1	1		3
九重町	412	21	5.10%	18	85.71%	9.52%	0.49%	2	5	6	1		3	1		3
玖珠町	470	25	5.32%	22	88.00%	20.00%	1.06%	5	2	11			1	3		3
合計	3,627	265	7.31%	216	81.51%	6.04%	0.44%	16	49	116	2	0	10	23	0	49

平成28年度 前立腺がん集団検診実施状況(年齢階級別)

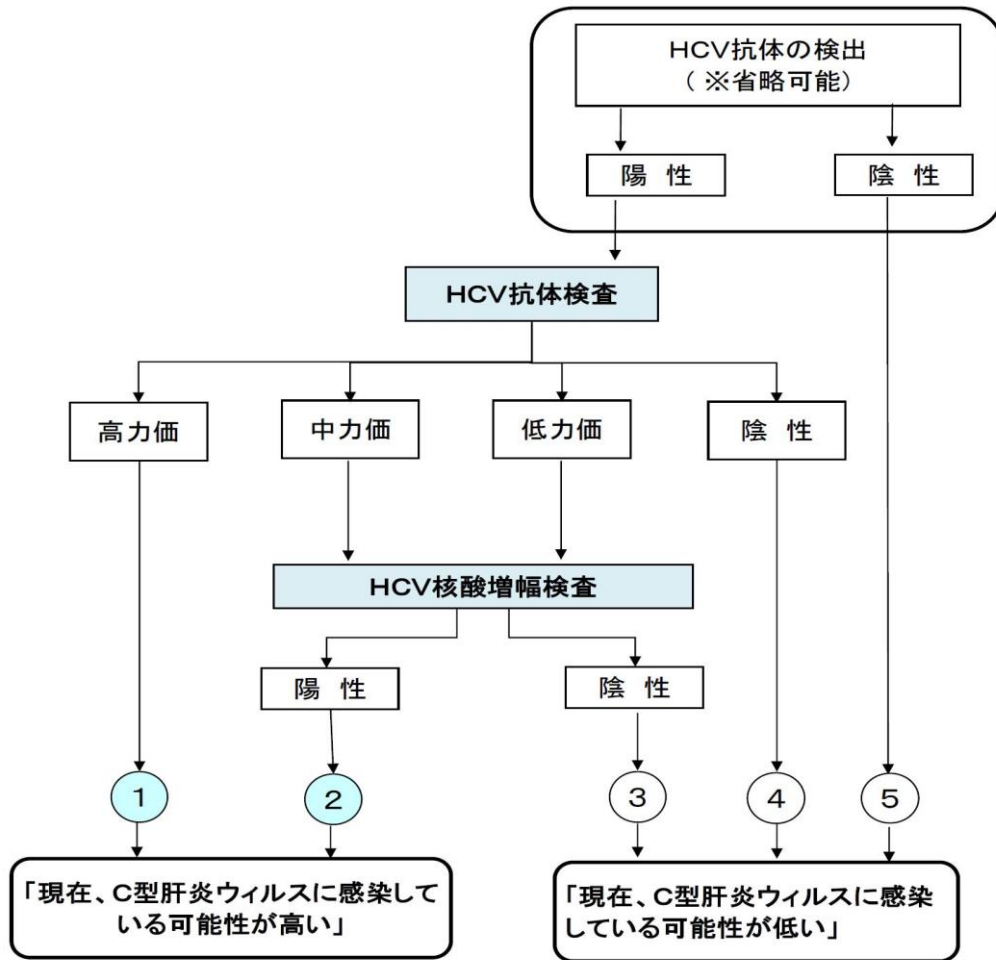
一般住民

年代	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	陽性反応適中度	前立腺がん発見率	精検結果内訳								未把握
								前立腺がん	前立腺がん疑い	前立腺肥大症	前立腺炎	その他癌	その他疾患	異常なし	不明	
39歳以下	32		0.00%	0												
40～44歳	38		0.00%	0												
45～49歳	48	1	2.08%	1	100.00%	0.00%	0.00%		1							
50～54歳	98	2	2.04%	2	100.00%	0.00%	0.00%		1					1		
55～59歳	185	11	5.95%	9	81.82%	0.00%	0.00%		2	4			2	1		2
60～64歳	460	22	4.78%	21	95.45%	4.55%	0.22%	1	8	5	2		3	2		1
65～69歳	997	50	5.02%	38	76.00%	8.00%	0.40%	4	11	22				1		12
70～74歳	696	52	7.47%	37	71.15%	7.69%	0.57%	4	9	15			2	7		15
75～79歳	594	54	9.09%	48	88.89%	9.26%	0.84%	5	8	29			1	5		6
80歳以上	479	73	15.24%	60	82.19%	2.74%	0.42%	2	9	41			2	6		13
合計	3,627	265	7.31%	216	81.51%	6.04%	0.44%	16	49	116	2	0	10	23	0	49

肝 炎 ウ イ ル ス 検 査

肝炎ウイルス検査判定区分

【C型肝炎ウイルス検査判定区分】→平成25年度から変更



【B型肝炎ウイルス検査判定区分】



肝炎ウイルス検査の概要

肝炎ウイルス検査は6市3町から受託し、40歳以上の過去の未受診者を対象としてC型肝炎ウイルス検査(HCV抗体検査、HCV核酸増幅検査)とB型肝炎ウイルス検査(HBs抗原検査)を行った。

1. 受診者数

一般住民受診者数は1,282人であった。

その他集計に掲載しない事業所等が263件あった。

2. 判定結果

(1) C型肝炎ウイルス検査は判定①②を要精検として、要精検者は7人(要精検率0.55%)であった。

(2) B型肝炎ウイルス検査はHBs抗原陽性を要精検とした。要精検者は12人(要精検率0.94%)であった。

3. 発見がん等の状況

(1) 精検結果の内訳は、慢性肝炎8例、無症候性キャリア8例、未把握3例であった。がんは発見されなかった。

平成28年度 肝炎ウイルス検査実施状況(所属別、性別・年齢階級別)

所属名	肝炎検査受診者数	要精検者数	要精検率	C 型						B 型			精検受診数	精検受診率	精検結果内訳						未把握				
				実施数	判定区分					要精検率	実施数	判定区分			要精検率	急性肝炎	慢性肝炎	肝硬変	肝がん併発	無症候性キャリア		その他			
					⑤	④	③	②	①			陰性											陽性		
津久見市	67	2	2.99%	67		66	1			0.00%	67	65	2	2.99%	1	50.00%		1							1
竹田市	134	2	1.49%	134		134				0.00%	134	132	2	1.49%	2	0.00%							2		
杵築市	125	3	2.40%	125		123	1		1	0.80%	125	123	2	1.60%	3	100.00%		2				1			
豊後大野市	91	2	2.20%	91		89	1	1		1.10%	91	90	1	1.10%	2	0.00%						2			
由布市	91	1	1.10%	91		90			1	1.10%	91	91	0	0.00%	1	100.00%		1							
国東市	97	1	1.03%	97		96	1			0.00%	97	96	1	1.03%	1	100.00%						1			
日出町	95	2	2.11%	95		95				0.00%	95	93	2	2.11%	2	100.00%						2			
九重町	72	1	1.39%	72		72				0.00%	72	71	1	1.39%	1	100.00%		1							
玖珠町	510	5	0.98%	510		500	6	4		0.78%	510	509	1	0.20%	3	0.00%		3						2	
合計	1,282	19	1.48%	1,282	0	1,265	10	1	6	0.55%	1,282	1,270	12	0.94%	16	84.21%	0	8	0	0	0	8	0	3	

性別	年代	肝炎検査受診者数	要精検者数	要精検率	C 型						B 型			精検受診数	精検受診率	精検結果内訳						未把握				
					実施数	判定区分					要精検率	実施数	判定区分			要精検率	急性肝炎	慢性肝炎	肝硬変	肝がん併発	無症候性キャリア		その他			
						⑤	④	③	②	①			陰性											陽性		
男性	39歳以下	22		0.00%	22		22				0.00%	22	22		0.00%											
	40～44歳	54		0.00%	54		54				0.00%	54	54		0.00%											
	45～49歳	28	1	3.57%	28		28				0.00%	28	27	1	3.57%	1	100.00%		1							
	50～54歳	22		0.00%	22		22				0.00%	22	22		0.00%											
	55～59歳	34	1	2.94%	34		33		1		2.94%	34	34		0.00%	1	0.00%		1							
	60～64歳	92	1	1.09%	92		92				0.00%	92	91	1	1.09%		0.00%								1	
	65～69歳	165		0.00%	165		163	2			0.00%	165	165		0.00%		0.00%									
	70～74歳	65		0.00%	65		65				0.00%	65	65		0.00%		0.00%								0	
	75～79歳	47	2	4.26%	47		44	1	2		4.26%	47	47		0.00%	1	50.00%		1						1	
	80歳以上	34		0.00%	34		32	2			0.00%	34	34		0.00%		0.00%									
計	563	5	0.89%	563	0	555	5	0	3	0.53%	563	561	2	0.36%	3	60.00%	0	3	0	0	0	0	0	2		
女性	39歳以下	43		0.00%	43		43			0.00%	43	43		0.00%												
	40～44歳	111	1	0.90%	111		111				0.00%	111	110	1	0.90%	1	0.00%						1			
	45～49歳	45	1	2.22%	45		45				0.00%	45	44	1	2.22%	1	100.00%						1			
	50～54歳	36	1	2.78%	36		35		1		2.78%	36	36		0.00%	1	100.00%		1							
	55～59歳	53	2	3.77%	53		52	1			0.00%	53	51	2	3.77%	2	100.00%		1				1			
	60～64歳	113	4	3.54%	113		113				0.00%	113	109	4	3.54%	4	100.00%		2				2			
	65～69歳	138	1	0.72%	138		138				0.00%	138	137	1	0.72%	1	100.00%						1			
	70～74歳	79	1	1.27%	79		74	4	1		1.27%	79	79		0.00%	1	0.00%		1							
	75～79歳	57	2	3.51%	57		56		1		1.75%	57	56	1	1.75%	1	50.00%						1		1	
	80歳以上	44	1	2.27%	44		43		1		2.27%	44	44		0.00%	1	100.00%						1			
計	719	14	1.95%	719	0	710	5	1	3	0.56%	719	709	10	1.39%	13	92.86%	0	5	0	0	0	8	0	1		
合計	1,282	19	1.48%	1,282	0	1,265	10	1	6	0.55%	1,282	1,270	12	0.94%	16	84.21%	0	8	0	0	0	8	0	3		

尿細胞診検査

尿細胞診検査の概要

尿細胞診検査は、6市3町及び事業所から受託し、原則 尿潜血陽性者(女性で生理中及び生理前後2日間の方は除く)のうち希望者を対象として実施した。

1. 受診者数

- (1) 全体の受診者数は、1,184人であった。
- (2) 一般住民受診者数は、1,141人であった。
- (3) 事業所受診者数は、43人であった。

2. 判定結果

- (1) 一般住民受診者の要精検者数(要精検率)は、12人(1.05%)であった。
- (2) 事業所受診者の要精検者数(要精検率)は、1人(2.33%)であった。

3. 発見がんの状況

- (1) がんは1例(膀胱がん1例)発見された。(がん発見率0.08%、陽性反応適中度7.69%)
- (2) 性別・年齢級別では、男性の70～74歳1人であった。

平成28年度 尿細胞診検査結果状況（所属別）

所属名	受診者数	要精検者数		要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見率	陽性反応適中率	精密検査結果の疾患状況										未把握	未受診	
		疑陽性	陽性						がん	がん疑い	膀胱異形成上皮	膀胱炎	前立腺肥大	尿路結石	腎のう胞	腎不全	子宮頸形成	その他の疾患			異常なし
津久見市	97	2		2.06%	2	100.00%	0.00%	0.00%										1	1		
竹田市	234		1	0.43%	1	100.00%	0.43%	100.00%	1												
杵築市	70	1		1.43%	1	100.00%	0.00%	0.00%												1	
豊後大野市	139	3		2.16%	2	66.67%	0.00%	0.00%												2	1
由布市	95			0.00%																	
国東市	224	1		0.45%	1	100.00%	0.00%	0.00%												1	
日出町	85	1		1.18%	1	100.00%	0.00%	0.00%						1							
九重町	108	1		0.93%	1	100.00%	0.00%	0.00%												1	
玖珠町	89	2		2.25%	1	50.00%	0.00%	0.00%		1											1
事業所	43	1		2.33%	0	0.00%	0.00%	0.00%													1
合計	1,184	12	1	1.10%	10	76.92%	0.08%	7.69%	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	6	3	0

平成28年度 尿細胞診検査結果状況（性別・年齢階級別）

一般住民

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数		要精率	精検受診者数	精検受診率	がん発見率	陽性反応適度	精密検査結果の疾患状況										未受診	未受診			
			疑陽性	陽性						がん	がん疑い	膀胱異形成上皮	膀胱炎	前立腺肥大	尿路結石	腎の胞	腎不全	子宮頸形成	その他の疾患			異常なし		
男性	29歳以下																							
	30～34歳	1			0.00%																			
	35～39歳	2			0.00%																			
	40～44歳	6			0.00%																			
	45～49歳	1			0.00%																			
	50～54歳	3			0.00%																			
	55～59歳	11			0.00%																			
	60～64歳	30			0.00%																			
	65～69歳	59	3		5.08%	2	66.67%	0.00%	0.00%												2	1		
	70～74歳	36	3	1	11.11%	4	100.00%	2.78%	25.00%	1											3			
	75～79歳	32	1		3.13%	1	100.00%	0.00%	0.00%		1													
80歳以上	45			0.00%																				
計	226	7	1	3.54%	7	87.50%	0.44%	12.50%	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0			
女性	29歳以下	1			0.00%																			
	30～34歳	8			0.00%																			
	35～39歳	11			0.00%																			
	40～44歳	15			0.00%																			
	45～49歳	18			0.00%																			
	50～54歳	24			0.00%																			
	55～59歳	60			0.00%																			
	60～64歳	131	2		1.53%	2	100.00%	0.00%	0.00%					1						1				
	65～69歳	229	1		0.44%		0.00%	0.00%	0.00%															3
	70～74歳	142	1		0.70%	1	100.00%	0.00%	0.00%												1			
	75～79歳	173			0.00%																			
80歳以上	103			0.00%																				
計	915	4	0	0.44%	3	75.00%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3		
合計	1,141	11	1	1.05%	10	83.33%	0.09%	8.33%	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	6	1	3		

事業所

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数		要精率	精検受診者数	精検受診率	がん発見率	陽性反応適度	精密検査結果の疾患状況										未受診	未受診			
			疑陽性	陽性						がん	がん疑い	膀胱異形成上皮	膀胱炎	前立腺肥大	尿路結石	腎の胞	腎不全	子宮頸形成	その他の疾患			異常なし		
男性	29歳以下																							
	30～34歳	1			0.00%																			
	35～39歳	4			0.00%																			
	40～44歳																							
	45～49歳	1			0.00%																			
	50～54歳	3			0.00%																			
	55～59歳	3			0.00%																			
	60～64歳	2			0.00%																			
	65～69歳	3			0.00%																			
	70～74歳																							
	75～79歳	1			0.00%																			
80歳以上																								
計	18	0	0	0.00%	0	0.00%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女性	29歳以下																							
	30～34歳	2			0.00%																			
	35～39歳	7			0.00%																			
	40～44歳	2			0.00%																			
	45～49歳	4	1		25.00%		0.00%	0.00	0.00													1		
	50～54歳	2			0.00%																			
	55～59歳	4			0.00%																			
	60～64歳	2			0.00%																			
	65～69歳	1			0.00%																			
	70～74歳	1			0.00%																			
	75～79歳																							
80歳以上			0																					
計	25	1	0	4.00%	0	0.00%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
合計	43	1	0	2.33%	0	0.00%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		

骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診の概要

骨粗鬆症検診は 6 市 3 町及び事業所から受託し、超音波骨密度測定装置(Achilles)で踵骨を測定して、Stiffness 値と性別・年齢により判定を行った。

1. 受診者数

- (1) 全体の受診者数は 4,629 人であった。
- (2) 一般住民受診者数は 4,173 人であった。
- (3) 事業所受診者数は 456 人であった。

2. 判定結果

- (1) 一般住民の要精検は 448 人(要精検率 10.74%)であった。
- (2) 事業所受診者の要精検は 43 人(要精検率 14.14%)であった

4. 精密検査結果の状況

精検受診者 295 人のうち、原発性骨粗鬆症 110 人、その他骨粗鬆症 20 人、骨量減少 73 人、正常 58 人、結果不明 34 人であった。

平成28年度 骨粗鬆症検診実施状況 (所属別)

所属名	受診者数 (A)	異常なし	要経過観察	治療継続	要精検者 数 (B)	要精検率 (%) (B/A)	精検受診 者数 (C)	精検受診 率(%) (C/B)
大分市	699	517	121	17	44	6.29	27	61.36
別府市	870	481	221	89	79	9.08	42	53.16
津久見市	84	45	19	6	14	16.67	6	42.86
竹田市	280	164	66	19	31	11.07	19	61.29
豊後大野市	849	441	238	57	113	13.31	70	61.95
由布市	98	59	27	5	7	7.14	6	85.71
日出町	105	61	29	2	13	12.38	3	23.08
九重町	495	274	118	40	63	12.73	29	46.03
玖珠町	693	324	174	111	84	12.12	59	70.24
小 計	4,173	2,366	1,013	346	448	10.74	261	58.26

所属名	受診者数 (A)	異常なし	要経過観察	治療継続	要精検者 数 (B)	要精検率 (%) (B/A)	精検受診 者数 (C)	精検受診 率(%) (C/B)
事業所	304	185	63	13	43	14.14	34	79.07
(測定のみ)	152	—	—	—	—	—	—	—
小 計	456	185	63	13	43	9.43	34	79.07

合 計	4,629	2,551	1,076	359	491	10.61	295	60.08
-----	-------	-------	-------	-----	-----	-------	-----	-------

精密検査結果の疾患別状況

所属名	原発性 骨粗鬆症	その他 骨粗鬆症	骨量減少	正常	結果不明	未受診
大分市	11	4	7	2	3	17
別府市	22	3	7	5	5	37
津久見市	3		2	1		8
竹田市	6		6	4	3	12
豊後大野市	21	2	18	19	10	43
由布市	3		1	2		1
日出町		1	1		1	10
九重町	12	1	7	5	4	34
玖珠町	26	7	12	9	5	25
小 計	104	18	61	47	31	187

所属名	原発性 骨粗鬆症	その他 骨粗鬆症	骨量減少	正常	結果不明	未受診
事業所	6	2	12	11	3	9
小 計	6	2	12	11	3	9

合 計	110	20	73	58	34	196
-----	-----	----	----	----	----	-----

平成28年度 骨粗鬆症検診実施状況（年齢階級別）

地域

区分	受診者数 (A)	異常なし	要経過観察	治療継続	要精検者 数 (B)	要精検率 (%) (B/A)	精検受診 者数 (C)	精検受診 率(%) (C/B)	
男性	19歳以下								
	20～24歳	1		1		0.00			
	25～29歳								
	30～34歳	1	1			0.00			
	35～39歳	3	1	2		0.00			
	40～44歳	4	4			0.00			
	45～49歳	6	3	3		0.00			
	50～54歳	4	4			0.00			
	55～59歳	12	7	3	1	1	8.33	0.00	
	60～64歳	31	20	9		2	6.45	0.00	
	65～69歳	79	46	23	2	8	10.13	5	62.50
	70～74歳	64	37	18		9	14.06	4	44.44
	75～79歳	61	31	13	3	14	22.95	8	57.14
80歳以上	55	20	12	3	20	36.36	11	55.00	
男計	321	174	84	9	54	16.82	28	51.85	
女性	19歳以下								
	20～24歳	0							
	25～29歳	11	10	1		0.00			
	30～34歳	23	20	3		0.00			
	35～39歳	55	48	6		1	1.82	0.00	
	40～44歳	162	142	14	1	5	3.09	2	40.00
	45～49歳	140	128	11	1		0.00		
	50～54歳	196	180	12	2	2	1.02	0.00	
	55～59歳	322	256	56	4	6	1.86	6	100.00
	60～64歳	557	374	131	19	33	5.92	15	45.45
	65～69歳	863	485	237	47	94	10.89	63	67.02
	70～74歳	764	353	236	80	95	12.43	57	60.00
	75～79歳	473	139	153	101	80	16.91	43	53.75
80歳以上	286	57	69	82	78	27.27	47	60.26	
女計	3,852	2,192	929	337	394	10.23	233	59.14	
合計	4,173	2,366	1,013	346	448	10.74	261	58.26	

精密検査結果の疾患別状況

所属名	原発性 骨粗鬆症	その他 骨粗鬆症	骨量減少	正常	結果不明	未受診	
男性	19歳以下						
	20～24歳						
	25～29歳						
	30～34歳						
	35～39歳						
	40～44歳						
	45～49歳						
	50～54歳						
	55～59歳					1	
	60～64歳					2	
	65～69歳	1	2		2	3	
	70～74歳			2	2	5	
	75～79歳			2	4	2	6
80歳以上	4		1	4	2	9	
男計	5	2	5	12	4	26	
女性	19歳以下						
	20～24歳						
	25～29歳						
	30～34歳						
	35～39歳					1	
	40～44歳			1		3	
	45～49歳						
	50～54歳					2	
	55～59歳	1		1	4		
	60～64歳	6		6	1	2	18
	65～69歳	20	5	18	12	8	31
	70～74歳	24	4	13	14	2	38
	75～79歳	22	3	11	1	6	37
80歳以上	26	4	6	3	8	31	
女計	99	16	56	35	27	161	
合計	104	18	61	47	31	187	

平成28年度 骨粗鬆症検診実施状況（年齢階級別）

職域

区分	受診者数 (A)	異常なし	要経過観察	治療継続	要精検者 数 (B)	要精検率 (%) (B/A)	精検受診 者数 (C)	精検受診 率(%) (C/B)	
男性	19歳以下								
	20～24歳								
	25～29歳								
	30～34歳								
	35～39歳	5	3			2	40.00	2	100.00
	40～44歳	2		1		1	50.00	1	100.00
	45～49歳	1	1				0.00		
	50～54歳	4	3			1	25.00	1	100.00
	55～59歳	5	1	2		2	40.00	2	100.00
	60～64歳	6	2			4	66.67	3	75.00
	65～69歳	7	1	2		4	57.14	4	100.00
	70～74歳								
	75～79歳	1	1				0.00		
	80歳以上								
男計	31	12	5	0	14	45.16	13	92.86	
女性	19歳以下								
	20～24歳								
	25～29歳	2	2				0.00		
	30～34歳	3	2	1			0.00		
	35～39歳	15	13	1		1	6.67		0.00
	40～44歳	25	20	2		3	12.00	1	33.33
	45～49歳	18	16			2	11.11	2	100.00
	50～54歳	20	16	3	1		0.00		
	55～59歳	24	20	3		1	4.17	1	100.00
	60～64歳	23	17	5		1	4.35	1	100.00
	65～69歳	56	34	11	4	7	12.50	5	71.43
	70～74歳	42	16	17	5	4	9.52	3	75.00
	75～79歳	37	16	12	2	7	18.92	7	100.00
	80歳以上	8	1	3	1	3	37.50	1	33.33
女計	273	173	58	13	29	10.62	21	72.41	
合計	304	185	63	13	43	14.14	34	79.07	

精密検査結果の疾患別状況

所属名	原発性 骨粗鬆症	その他 骨粗鬆症	骨量減少	正常	結果不明	未受診	
男性	19歳以下						
	20～24歳						
	25～29歳						
	30～34歳						
	35～39歳			1	1		
	40～44歳			1			
	45～49歳						
	50～54歳				1		
	55～59歳			2			
	60～64歳			2		1	1
	65～69歳	1		1	2		
	70～74歳						
	75～79歳						
	80歳以上						
男計	1	0	7	4	1	1	
女性	19歳以下						
	20～24歳						
	25～29歳						
	30～34歳						
	35～39歳						1
	40～44歳				1		2
	45～49歳			1	1		
	50～54歳						
	55～59歳		1		0		
	60～64歳						
	65～69歳	2			1	2	2
	70～74歳	1	1		1		1
	75～79歳	1		4	2		
	80歳以上	1					2
女計	5	2	5	6	2	8	
合計	6	2	12	10	3	9	

検診におけるがん発見状況

平成28年度 検診におけるがん発見状況

平成30年5月10日現在

検診名	検査方法	受診者 (人)	要精検 数 (人)	要精検 率	発見がん					がん発 見率	早期がん 率
					総数	早期	進行	不明	未把 握		
肺がん検診	胸部X線撮影	27,323	487	1.78%	15	8	4	6		0.05%	53.33%
	喀痰検査	1,178	0	※ ¹ 0.00%	0					—	—
胃がん検診	腹部X線撮影	16,701	1,619	9.69%	16	12	3	1		0.10%	75.00%
	ペプシノーゲン ヘリコバクターピロリ抗体	527	125	23.72%	0	—	—	—	—	—	—
子宮頸がん検診	頸部細胞診 ※ ⁴	20,886	338	1.62%	※ ³ 12	9	3			0.06%	75.00%
乳がん検診	視診・触診 マンモグラフィ エコー	17,147	1,140	6.65%	53	37	10		6	0.31%	69.81%
大腸がん検診	免疫便潜血検査2日法	23,777	1,573	6.62%	52	27	19	2	4	0.22%	51.92%
前立腺特異抗原検査(P S A)		3,627	265	7.31%	16	—	—	—	—	0.44%	—
尿細胞診検査		1,184	13	1.10%	1	—	—	—	—	0.08%	—

※¹ 有効検体数に対する要精検率

※² 有効検体数に対するがん発見率

※³ 子宮頸がんの発見数(上皮内がん、上皮内腺がん以上の病変)

※⁴ 子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)は含まない

平成27年度 検診におけるがん発見状況

平成30年5月10日現在

検診名	検査方法	受診者 (人)	要精検 数 (人)	要精検 率	発見がん					がん発 見率	早期がん 率
					総数	早期	進行	不明	未把 握		
肺がん検診	胸部X線撮影	27,930	429	1.54%	14	6	6	2		0.05%	42.86%
	喀痰検査	1,391	4	※ ¹ 0.31%	3	2	1			※ ² 0.23%	66.67%
胃がん検診	腹部X線撮影	19,366	2,381	12.29%	21	9	2		10	0.11%	42.86%
	ペプシノーゲン	352	48	13.64%	0	—	—	—	—	—	—
子宮頸がん検診	頸部細胞診 ※ ⁴	22,114	319	1.44%	※ ³ 20	17	3			0.09%	85.00%
乳がん検診	視診・触診 マンモグラフィ エコー	16,677	1,357	8.14%	50	33	10	1	6	0.30%	66.00%
大腸がん検診	免疫便潜血検査2日法	24,774	1,611	6.50%	56	30	17	2	7	0.23%	53.57%
前立腺特異抗原検査(P S A)		3,726	253	6.79%	22	—	—	—	—	0.59%	—
尿細胞診検査		1,334	26	1.95%	10	—	—	—	—	0.75%	—

※¹ 有効検体数に対する要精検率

※² 有効検体数に対するがん発見率

※³ 子宮頸がんの発見数(上皮内がん、上皮内腺がん以上の病変)

※⁴ 子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)5人は含まない

2 特定保健指導

特定保健指導の概要

平成28年度は、3市1町の国民健康保険組合と、全国保険協会等の健保組合から受託して、積極的支援、動機付支援の対象に対して、特定保健指導を実施した。

1. 実施者数

- (1) 積極的支援対象者に対しての特定保健指導は48人であった。
- (2) 動機付支援対象者に対しての特定保健指導は76人であった。

平成28年度 特定保健指導の実施状況

実施者数	国東市	竹田市	豊後大野市	玖珠町	他保険者
積極的支援	16	3	14		15
動機付け支援	3	15		47	11

※1名初回面接のみの依頼

※2名途中終了(内、1名資格喪失)

1) 実施者の状況

性別	男	女	合計
積極的支援	35	13	48
動機付け支援	52	24	76
合計	87	37	124

年齢	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	平均年齢
積極的支援	3	12	16	17		53.8
動機付け支援	2	6	7	39	22	63.7
合計	5	18	23	56	22	

自治体・事業所	指導区分	平均年齢	自治体・事業所	指導区分	平均年齢
国東市	積極的支援	58.2	豊後大野市	積極的支援	55.6
	動機付け支援	67.7		動機付け支援	
竹田市	積極的支援	58.0	玖珠町	積極的支援	
	動機付け支援	67.1		動機付け支援	66.1
他保険者	積極的支援	46.4			
	動機付け支援	47.5			

2) 健康上の問題点

積極的支援(48名)

内臓脂肪	肥満	血圧	脂質	血糖	肝機能
100.0%	66.7%	68.8%	93.8%	85.4%	58.3%

一人平均 4.5 項目併せ持っている

動機付け支援(76名)

内臓脂肪	肥満	血圧	脂質	血糖	肝機能
86.8%	56.6%	47.4%	68.4%	76.3%	31.6%

一人平均 3.9 項目併せ持っている

3) 評価

・積極的支援の腹囲では69.6%、体重では63.0%、動機付け支援の腹囲では73.3%、体重では80.0%の人で改善が見られた。

II 普及啓発事業

Ⅱ 普及啓発事業

普及啓発事業については、結核予防会及び日本対がん協会の支部として結核予防週間、がん征圧月間に併せた広報宣伝活動を行うとともに、結核やがんに対する知識の啓発と予防意識の高揚を図り、事業資金を得るための募金活動を併せて実施した。

(1) 結核予防会大分県支部としての活動

① 結核予防週間街頭キャンペーン：結核予防週間 9 / 24 ~ 30

日時：平成28年9月26日(菌)午前11時10分~11時40分

場所：トキハ本店前及び中央商店街

内容：結核予防婦人会、大分県健康対策課及び大分市保健所とともに街頭啓発キャンペーンを行うとともに、複十字シール、リーフレット、ボールペン等を配布して、複十字募金を呼びかけた結果、8,220円の募金が寄せられた。

② 複十字シール募金運動：期間 8 / 1 ~ 12 / 31

8月1日からの複十字シール募金運動の開始にあたって、全国一斉複十字シール運動キャンペーンの一環として、8月2日に大分県知事を結核予防婦人会役員と表敬訪問し、本運動の協力をお願いした。

また、結核予防婦人会員、県等と協力して募金運動に取り組んだ結果、県、市町村、婦人会等から2,415,422円の募金が寄せられた。

(2) 日本対がん協会大分県支部としての活動

① がん征圧月間 9 / 1 ~ 30

がん予防に関するポスター、パンフレット、リーフレットを県、市町村、医療機関等に配布するとともにがん征圧月間に併せて新聞広告を掲載した。

② リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 大分

日時：平成28年10月8日(土)・9日(日)

場所：大分スポーツ公園大芝生広場 参加者：約5,800人

内容：第9回目の開催となるがん患者支援イベント「リレー・フォー・ライフジャパン2016大分」の事務局として、主催者である日本対がん協会、大会実行委員会を支援するとともに、会場において乳がん検診(無料クーポン受診券)を実施し、57名が受診した。

③ がん征圧運動

がん征圧運動事業推進のため、県、医師会、事業所等へ会員募集の協力を求めた結果、1,231,000円の募金が寄せられた。

(3) 平成27年度事業年報の取りまとめ

平成27年度の各種検診・検査事業実績等を後述の各種委員会において報告し、「事業年報」の取りまとめを行った。

(注)平成29年度6月中に印刷し、関係機関に配布した。

Ⅲ 研究・研修事業

Ⅲ 研究・研修事業

各種がん検診の円滑な推進やがん患者の早期発見、精度管理の充実、向上を図るため、各種委員会を開催するとともに、検診に従事する職員の専門知識の修得及び人権意識の醸成のためセンター内外での研修等に努めた。

(1) 各種委員会の開催

① 乳がん集団検診読影委員会

日 時 平成29年2月1日(水) 19時
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員11名のうち9名
議 題 ・乳がん検診事業の事業報告
・検診票の変更

② 消化器がん集団検診委員会

日 時 平成29年2月17日(金) 18時30分
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員14名のうち10名
議 題 ・消化器がん集団検診委員会規約の一部改正
・胃・大腸がん集団検診事業報告

③ がん集団検診細胞診判定委員会

日 時 平成29年2月24日(金) 18時
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員8名のうち5名
議 題 ・子宮頸がん検診の状況
・肺がん検診(喀痰細胞診)の事業報告
・委員会規約の改正

④ 結核・肺がん集団検診委員会

日 時 平成29年3月2日(木) 18時30分
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員9名のうち7名
議 題 ・委員会規約の及び実施要領等の改正・整備
・肺がんX線・喀痰細胞診の事業報告

(2) 「平成27年度事業年報」

前述の「Ⅱ 普及啓発事業」の(3)で掲載

(3) 講習会・研修会等の開催事業

① 検診スタッフ研修会

日 時 平成28年4月4日(火) 10時30分

場 所 大分県医師会館

参加者 常勤職員、パート職員132名

② がん精密検診協力医療機関研修会(大分県医師会と共催)

日 時 平成29年1月15日(日) 8時

場 所 大分県医師会館

参加者 医師等191名

③ 人権啓発等研修会(大分県医師会と共催)

日 時 平成29年3月3日(金) 16時

場 所 大分県医師会館

参加者 職員49名

④ 検診従事者連絡協議会

日 時 平成29年3月9日(木) 10時

場 所 大分県医師会館

参加者 15市町村、3事業所の保健師、事務担当者27名

(4) 学会及び研修会等の参加

・結核予防会・日本対がん協会関係

月	日	名 称	場所
4	27	結核予防会大規模災害対策委員会拡大事務局長会議	福岡市
7	29・30	結核予防会ネットワーク会議	東京都
9	8.9	がん征圧全国大会	京都市
9	8.9	結核予防会ネットワークブロック会議	鹿児島市
10	21・22	結核予防会九州地区会議	佐賀市
11	15・16	九州地区結核予防婦人団体幹部講習会	那覇市
2	13・14	結核予防関係婦人団体中央研修会	東京都
2	10・11	鹿児島県民総合保健センター開設30周年記念式典	鹿児島市
2	17・18	結核予防会健康支援セミナー	東京都
2	23・24	日本対がん協会保健師・看護師研修会	東京都
2	23・24	結核予防会事業協議会研修会	東京都
3	11～13	診療放射線技師研修会（結核予防会・日本対がん協会共催）	仙台市
3	23・24	全国結核予防婦人団体連絡協議会理事会・総会	東京都

・学会関係

月	日	名 称	場所
5	20・21	九州連合産科婦人科学会・九州ブロック産婦人科医会	長崎市
9	3	胃がんX線検診技術部門B資格検定試験	福岡市
9・10	30・1	日本消化器検診学会九州地方会	長崎市
10	7・8	日本超音波医学会四国地方会学術集会	東温市
11	18・19	日本臨床細胞学会秋季大会	別府市
2	10・11	日本超音波検査学会JSS関西 地方会研修会	京都市

・その他

月	日	名 称	場所
1	19・20	相互連携型システム見学・セミナー（愛媛県支部）	松山市

・外部精度管理事業

月	日	名 称
6	1	日本臨床検査技師会臨床検査精度管理
6・7	29～1	大分県医師会臨床検査精度管理調査

IV 業務運営

IV 業務運営

(1) 理事会・評議員会の開催

①平成28年度第1回理事会

日時：平成28年6月8日(水) 14時30分

場所：大分県医師会6階研修室I

出席者：理事13名のうち7名、監事2名

議事

(審議事項)

第1号議案 平成27年度事業報告及び決算について

第2号議案 平成28年度定時評議員会の日時、場所及び目的である事項について

第3号議案 理事の辞任に伴う補欠理事候補者の推薦について

選出区分	理事候補者	辞任者
九大病院別府病院長	堀内 孝彦	三森 功士
大分赤十字病院長	本廣 昭	若杉 健三
当センター事務局長	小嶋 浩久	光永 尚

第4号議案 JKAによる検診車の整備補助事業について

(報告事項)

第1号報告 監査報告について

第2号報告 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について

②平成28年度第2回理事会

定款第37条「決議の省略」に基づく書面による同意

(審議事項)

評議員の辞任に伴う後任評議員候補者について

選出区分	評議員候補者	辞任者
大分県医師会副会長	河野 幸治	新森 義信
大分県看護協会	竹中 愛子	松原 啓子

③平成28年度定時評議員会

日 時：平成28年6月29日(水)15時

場 所：大分県医師会6階研修室I

出席者：評議員7名のうち6名、理事2名、監事2名

議 事

(審議事項)

第1号議案 平成27年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事の辞任に伴う後任理事の選任について

選出区分	理事候補	辞任者
九大病院別府病院長	堀内 孝彦	三森 功士
大分赤十字病院長	本廣 昭	若杉 健三
当センター事務局長	小嶋 浩久	光永 尚

第3号議案 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について

選出区分	評議員候補者	辞任者
大分県医師会副会長	河野 幸治	新森 義信
大分県看護協会	竹中 愛子	松原 啓子

(報告事項)

第1号報告 監査報告について

第2号報告 平成27年度第3回理事会(3月16日)の決議内容について

第3号報告 公益財団法人JKAによる検診車の整備補助事業について

④平成28年度第3回理事会

定款第37条「決議の省略」に基づく書面による同意

(審議事項)

業務執行理事たる専務理事の選定について

選出区分	氏名
当センター事務局長	小嶋 浩久

⑤平成28年度第4回理事会

日 時：平成29年3月22日(水)14時30分

場 所：大分県医師会6階研修室I

出席者：理事13名のうち9名、監事2名

議 事

(審議事項)

第1号議案 平成28年度収支補正予算案について

第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算案について
(報告事項)

第1号報告 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について

(2) 福利厚生

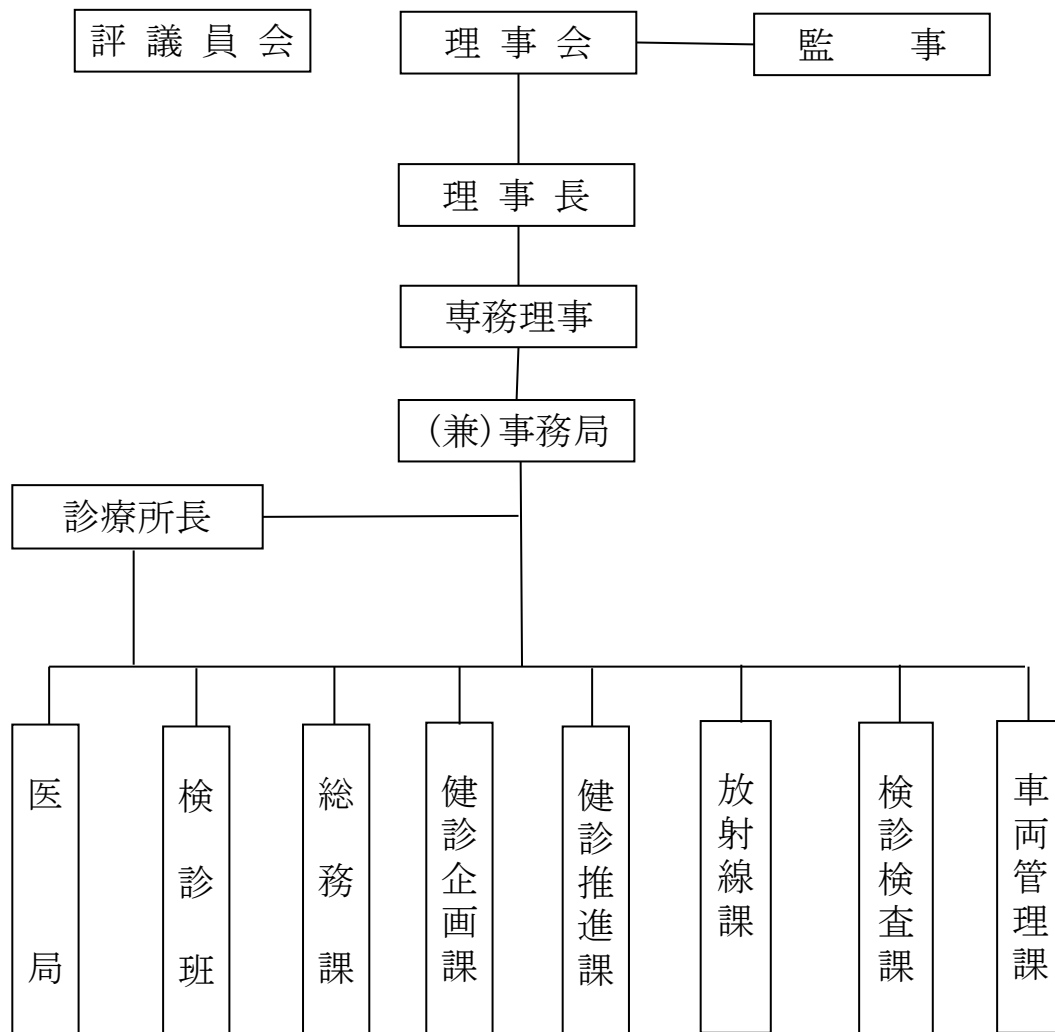
当センターは経営の許容する範囲内において、職員に対して次の福利厚生を行った。

- ①当センターで行う定期健康診断の助成
- ②職員駐車場の使用料助成
- ③慶弔見舞
- ④被服貸与

V センター組織概要

公益財団法人大分県地域保健支援センター組織機構図

平成30年4月1日現在



【職員数】

区分	事務	医師	放射線技師	保健師	看護師	臨床検査技師	運転士	合計
常勤役員	1							1
職員	11	1	9	2	4	7	2	36
嘱託	1	3	1	2	3		7	17
臨時	6							6
合計	19	4	10	4	7	7	9	60

参 考 资 料

役員・評議員

公益財団法人大分県地域保健支援センター役員名簿

平成 30 年 4 月 1 日現在

役職名	氏 名	選 出 区 分
理 事 長	近藤 稔	大分県医師会長
専務理事	小嶋 浩久	大分県地域保健支援センター
理 事	永松 悟	大分県市長会代表
理 事	藤本 昭夫	大分県町村会長
理 事	堀永 孚郎	(大分県産婦人科医会副会長)
理 事	酒井 浩徳	国立病院機構別府医療センター院長
理 事	堀内 孝彦	九州大学病院別府病院長
理 事	津村 弘	(大分大学医学部附属病院長)
理 事	本廣 昭	大分赤十字病院長
理 事	後藤 ミツノ	大分県結核予防婦人会長
理 事	嶋津 宗典	大分市保健所長
理 事	藤内 修二	大分県福祉保健部参事監兼健康づくり支援課長
理 事	後藤 朗	大分県地域保健支援センター診療所長
監 事	此本 卓彌	公認会計士此本会計事務所長
監 事	平原 健史	日本赤十字社大分県支部事務局長

※ 選出区分欄の所属・職名を（ ）で記している理事は、4月1日現在、その職を退任されています。

平成 30 年度公益財団法人大分県地域保健支援センター評議員名簿

平成 30 年 4 月 1 日現在

役職名	氏 名	選 出 区 分
評議員	河野 幸治	大分県医師会副会長
評議員	柴崎 明彦	大分県歯科医師会副会長
評議員	後藤 一也	国立病院機構西別府病院長
評議員	井上 敏郎	自治体病院協議会大分県支部長
評議員	竹中 愛子	大分県看護協会長
評議員	河野 礼治	大分県理学療法士協会長
評議員	安部 澄子	大分県栄養士会長

各種委員會委員

結核予防会大分県支部 日本対がん協会大分県支部
結核・肺がん検診委員会

平成30年4月1日現在

役職名	氏名	所属
委員長	赤嶺 晋治	厚生連鶴見病院
副委員長	三浦 隆	新別府病院
委員	卜部 省悟	大分県立病院
	伊藤 和信	新別府病院
	大津 達也	国立病院機構 西別府病院
	日隈 慎一	大分総合健診センター
	後藤 朗	大分県地域保健支援センター
	嶋津 義久	大分県地域保健支援センター
	高橋 敏人	大分県地域保健支援センター

日本対がん協会大分県支部 消化器がん検診委員会

平成30年4月1日現在

役職名	氏名	所属
委員長	前田 徹	大分県立病院
副委員長	松本 俊郎	大分大学医学部
	三角 順一	大分キャノン
	岡本 龍治	すずかけ岡本クリニック
	有田 毅	有田胃腸病院
	松尾 俊和	まつお内科クリニック
	木場 文男	こば健康クリニック
	大塚 誠	国立病院機構別府医療センター
	相川 久幸	宇佐高田医師会病院
	脇坂 昌紀	有田胃腸病院
	井野 彰浩	西田病院
	高司 亮	大分大学医学部
	日隈 慎一	大分総合健診センター
	藤内 修二	大分県福祉保健部健康対策課
	後藤 朗	大分県地域保健支援センター

日本対がん協会大分県支部 乳がん検診読影委員会

平成30年4月1日現在

役職名	氏名	所属
委員長	藤吉 健児	藤吉乳腺クリニック
副委員長	甲斐 裕一郎	うえお乳腺外科
委員	安藤 ゆみ子	国立病院機構西別府病院 放射線科
	岡田 文人	大分大学医学部 放射線科
	小野 麻美	大分大学医学部 放射線科
	田中 文明	たなか乳腺外科内科クリニック
	田上 秀一	大分大学医学部 放射線科
	中村 恭世	中村たかクリニック
	福永 真理	うえお乳腺外科
	田北 薫子	大分県地域保健支援センター
	後藤 朗	大分県地域保健支援センター

日本対がん協会大分県支部 細胞診判定委員会

平成30年4月1日現在

役職名	氏名	所属
委員長	卜部 省悟	大分県立病院
委員	辻 浩一	大分岡病院
	石井 博基	石井産婦人科医院
	松本 英雄	レディースクリニック松本醫院
	駄阿 勉	大分大学医学部
	米増 博俊	大分赤十字病院
	高井 教行	大分労働衛生管理センター
	谷口 一郎	大分県地域保健支援センター

個人情報保護

個人情報保護について

平成17年4月1日から個人情報保護法が全面施行され、当センターが取り扱う検診データ等の情報に関しても、従来に増して個人情報保護に配慮した取り扱いが求められることとなり、新たな対応が必要となった。

平成27年度から番号法(マイナンバー法)の施行に伴い、当センターでは、個人情報推進委員会を役職員で組織して、「特定個人情報取扱い規程」を新たに規定するとともに、従来の個人情報保護規程を全面的に改正し、「個人情報保護管理規程」を規定した。

平成28年度から「個人情報保護方針」「個人情報の使われ方」を改正して、ホームページ等に公表するとともに、検診現場においてはチラシやパネルにより受診者に周知を行い、黙示の同意を得ることとした。

また、センター建物内においても、立入り禁止区域を設けることや、施錠管理を行うこととし、外部業者等の立ち入りについては自己申請による許可制にする等、セキュリティ管理を強化した。

なお、問診票等個人情報を含む文書の保存期間を文書毎に明確に定めて、期間を過ぎたものについては廃棄処分を行った。

公益財団法人分県地域保健支援センター『個人情報保護方針』

公益財団法人分県地域保健支援センター（以下「当センター」という。）は、個人情報の厳格な保護を重大な社会的責任と捉え、受診者の皆様の健康診断及び検診・検査（以下「検(健)診」という。）に関する情報を取り扱う重要性を認識し、個人情報の保護・管理を適切に実施してまいります。

1 個人情報に関する法令等の遵守

当センターは、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守し、適正に個人情報の保護に努めてまいります。

2 個人情報の取得・利用・提供

当センターは、個人情報の取得、利用及び提供については、予め利用目的を特定したうえで、検(健)診及び当センターの運営管理に必要な範囲内において個人情報の取得・利用・提供を適正に行い、法令に基づく場合などの正当な理由がある場合を除き、ご本人の同意なく、目的外の利用はいたしません。

3 個人情報の安全管理措置

当センターは、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止等、個人情報の保護・管理のために個人情報保護管理規程を定め、必要かつ適切な安全管理措置を定期的に見直し、継続的な改善及び是正対策を講じます。また、個人情報の廃棄に関しては万全を期します。

4 個人情報に関する開示・訂正等

当センターは、受診者の個人情報についてご本人から情報の開示・訂正・削除等の要請があった際には関係法令に則り遅滞なく対応いたします。

5 職員教育及び管理体制の改善

当センターは、個人情報の適切な取扱いに関して、職員への教育・研修を行うとともに、委託先に対する監督を行い、適正な管理をいたします。

6 お問合せ

当センターは、個人情報の取扱いに関するお問合せに対し、適切に対応いたします。

平成17年4月1日制定 平成28年4月1日改定
公益財団法人分県地域保健支援センター 理事長 近藤 稔

個人情報の取扱いについて

公益財団法人分県地域保健支援センター
個人情報管理責任者 事務局長 小嶋 浩久

公益財団法人分県地域保健支援センター（以下「当センター」という。）は、受診者の皆様の個人情報を『個人情報保護方針』に基づき、関係法令・ガイドライン等を遵守し、適正に取扱いをいたします。

※ 下記の個人情報の利用目的・提供をご確認いただき、ご同意の上、検(健)診を受診いただきますようお願いいたします。

（「個人情報」とは、お名前、ご住所、生年月日、性別など受診者の皆様ご自身に関する情報、並びに健康診断及び検診・検査（以下「検(健)診」という。）により得られる問診、検査データ、フィルム等の検査情報、保健指導や精密検査などにより得られる情報です。）

1 個人情報の利用目的

検(健)診を通じ、疾病の早期発見・早期治療、健康度の確認、保健指導等による健康状態・生活習慣の改善及び検査精度の管理等を適切に行うため、次の場合、個人情報を利用します。

- ① 検(健)診の受診勧奨、受診の確認などの一連の業務処理及び会計・経理事務の処理の場合
- ② 検(健)診の結果判定などで外部の専門医に委託する場合
- ③ 血液検査で外部の検査機関に委託する場合 ※委託先とは、個人情報保護規定を含む契約により、適正に管理しています。
- ④ 検(健)診の結果を受診者ご本人と検(健)診の委託元の市町村や事業所等（以下「市町村等」という。）に報告する場合
※受診者ご本人との同意が得られている範囲内において利用します。
- ⑤ 検(健)診結果は当センターと市町村等に保管され、検(健)診の精度管理のために登録・記録をする場合
- ⑥ 精密検査を他の医療機関で受けられた時は、精度管理の必要上、その結果は当センターに連絡されますが、医療機関から連絡のない時に受診者ご本人へ精密検査の受診状況を市町村等又は当センターから照会する場合。また、委託元が市町村の場合は、当センターが把握した精密検査の受診状況を市町村へ報告する場合
- ⑦ 医師賠償責任保険等に係る医療に関する専門の団体、保険会社等への相談・届出に使用する場合
- ⑧ 検(健)診サービスや業務の維持・改善のための基礎資料や精度管理、精度向上のための集計や分析を匿名化した形で学会・研究会で利用する場合

2 個人情報の提供

個人情報は、受診者の皆様のご了承なく、利用目的以外に使用したり、第三者に対し個人情報の提供はいたしません。ただし、市町村等への結果報告及び他の医療機関等から精密検査や治療のための照会や関係法令・ガイドライン等の定めに基づき提供を求められた場合は、受診者の皆様の個人情報を提供する場合があります。

3 個人情報に関するお問合せ

ご自身の個人情報の開示、訂正、削除、利用・提供の停止のご希望やその他の苦情・ご相談については、ご本人であることを確認の上、速やかに対応いたします。

○ お問合せ窓口 担当窓口 健診企画課 健診管理係
所在地 大分市大字駄原2892番地の1
電話番号 097-532-2167 FAX 097-533-6821

検診車・機器整備状況

検診車保有状況

平成30年4月1日現在

区分	検診車名	登録年月日	機 器 等	シャーシー型式
胃	あけぼの1号	H09/03/21	日立TU-MA5plus	日野KC-FH2KLCA
	あけぼの3号	H15/12/08	日立TU-MA600	三菱KL-FP50KLX
	あけぼの7号	H21/02/04	日立TU-MA5plus	日野PKL-FH2PLJA
	あけぼの8号	H22/12/17	日立TU-MA5plus	日野LKG-FHIALAG
子宮	あかつき2号	H18/06/09		いすゞPA-FRO34H4
	あかつき3号	H07/10/30		日野KC-FH2KHCA
	あかつき1号	H07/09/29		日野KC-FH2KCA
乳	あすか2号	H16/04/21	島津SepioPrime 2台	日野KL-FE1JLEG
	あすか3号	H18/08/25	島津SepioPrime 2台	いすゞPJ-FSO34L4
胸	けいりん684号	H07/10/12	日立RADNEXTEXEX	日野KC-FD2JGBA
	けいりん759号	H13/10/17	日立DHM-1530SX	日野KK-FD1JGDA
	複十字号	H25/12/25	日立RADNEXT CS	三菱SKG-FK65FKY2E
	801号	H28/03/28	日立RADNEXT CS	日野SKG-XZB56YZRTNY
	802号	H29/03/01	日立RADNEXT CS	三菱TKG-FK65FY
循環器	C-101号	H04/12/11		日野UD-FD3HGAA
	C-202号	H05/12/06		日野UD-FD3HGAA
	C-303号	H24/05/08		トヨタCBF-TRH223B
	C-505号	H14/05/30		日野KK-HDB50M

機器設備状況

平成30年4月1日現在

品名	数量	品名	数量
オリンパス顕微鏡	4	体重計	4
ニコン顕微鏡	4	体脂肪計測付体重計	1
滅菌オートクレーブ	4	呼吸機能測定装置	1
分離装置遠心機	2	自動血圧計	20
テーブルトップ遠心機	1	胃部X線デジタル撮影装置	1
顕微鏡写真用カメラ	2	胸部X線デジタル撮影装置	1
BDプレップメイト	2	乳房X線デジタル撮影装置	1
BDプレップステインシステム	1	フォームバスター	1
BDマルチバイアルボルテックスミキサー	1	メールシーラー	1
OCセンサー-DIANA	1	高速宛名プリンター	1
自動染色装置	1	モノクロレーザープリンター	8
プレパラート封入機	1	カラーレーザープリンター	1
心電図自動解析装置	5	間接フィルム用シャーカステン	15
眼底カメラ	4	直接フィルム用シャーカステン	26
聴力検査ボックス	1	マンモグラフィ用シャーカステン	2
超音波骨密度測定機	5	検診用・企画用システムハード一式	43
超音波診断装置	2	検診受付用システムハード一式	14
眼圧測定装置	1	ポータブル胸部X線装置	1
視力計	4		
聴力計	3		
VDT検査機器	1		
自動尿検査機	5		
身長計	5		

全国組織の支部及び外部認定機関の認定並びに精度管理

全国組織の支部及び外部機関の認定並びに精度管理

組 織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結核予防会大分県支部 ・ 日本対がん協会大分県支部
施 設	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンモグラフィ検診精度管理中央委員会施設画像認定施設（第330号） ・ 日本臨床細胞学会認定施設（第340号）
医 師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本医師会認定産業医 ・ 日本乳癌検診学会特別会員 ・ 日本乳癌検診学会評議員 ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構読影認定医師 ・ 日本消化器がん検診学会認定医(胃) ・ 日本医師会認定健康スポーツ医 ・ 日本臨床細胞学会専門医 ・ 日本産婦人科学会功労会員 ・ 日本産婦人科学会専門医 ・ 日本産婦人科学会大分地方部副会長 ・ 日本内科学会認定医 ・ 日本内科学会認定内科専門医
保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一種衛生管理者
診療放射線技師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構撮影認定診療放射線技師 ・ 日本消化器がん検診学会胃がん検診専門技師
臨床検査技師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細胞検査士（JSC） ・ 細胞検査士（IAC） ・ 日本超音波医学会認定超音波検査士
各種委員会等の 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん精密検診協力医療機関研修会(県医師会との共催) ・ 細胞診判定委員会 ・ 乳がん検診読影委員会 ・ 消化器がん検診委員会 ・ 結核・肺がん検診委員会 ・ 検診事業従事者連絡協議会
外部精度管理 プログラム参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床衛生検査技師会臨床検査精度管理調査 ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像評価 ・ 大分県医師会臨床検査精度管理調査

検診事業評価のためのチェックリスト

検診事業評価のためのチェックリスト

平成28年度に改正(平成29年3月の一部改正含む)された厚生労働省のがん検診に関する研究班から出された「事業評価のためのチェックリスト」をもとに、当センターがん検診のうち、胃がん検診、子宮頸がん検診、大腸がん検診、及び肺がん検診の事業評価チェックリスト(検診実施機関用)を作成した。

胃がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

解説：

① このチェックリストの対象は、委託元市区町村との契約形態にかかわらず、「実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）」である

② 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること
〔このチェックリストにより調査を行う際の考え方〕

① 基本的には、実際の検診を行う個々の検診機関（医療機関）が回答する

② 自治体※や医師会主導で行っている項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ、自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に回答を通知することが望ましい※※ただし医師会等が全項目を統一して行っている場合は、医師会等が一括して回答しても構わない

※ このチェックリストで「自治体」と表記した箇所は、「都道府県もしくは市区町村」と解釈すること（どちらかが実施していればよい）

※※ 特に個別検診の場合

		チェック欄
1. 受診者への説明		
解説	<p>① 下記の6項目を記載した資料を、受診者全員に個別に配布すること（ポスターや問診票など持ち帰れない資料や、口頭説明のみは不可とする）</p> <p>② 資料は基本的に受診時に配布する※※ 市区町村等が受診勧奨時に資料を配布する場合もある。その場合は資料内容をあらかじめ確認し、下記の6項目が含まれている場合は、検診機関からの配布を省いてもよい。またチェックリストによる調査の際は、「実施している」と回答してよい</p>	
(1)	要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせているか	○
(2)	精密検査の方法について説明しているか（胃部エックス線検査の精密検査としては胃内視鏡検査を行うこと、及び胃内視鏡検査の概要など。胃内視鏡検査の精密検査としては生検または胃内視鏡検査の再検査を行うこと、及び生検の概要など）	○
(3)	精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しているか※※ 精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供できる（個人情報保護法の例外事項として認められている）	○
(4)	検診の有効性（胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査による胃がん検診は、死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の欠点について説明しているか	○
(5)	検診受診の継続（隔年※）が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しているか※ ただし当分の間、胃部エックス線検査については、年1回受診しても差し支えない	○
(6)	胃がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しているか	○

胃がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

2. 問診、胃部エックス線撮影、胃内視鏡検査の精度管理		
(1)	検診項目は、問診に加え、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のいずれか※とし、受診者に、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のいずれかを選択させること	○
(2)	問診は現在の症状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取しているか	○
(3)	問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○
(4)	胃部エックス線撮影の機器の種類を仕様書※で明らかにし、日本消化器がん検診学会の定める仕様基準注1を満たしているか※ 仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のこと（仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい）	○
(5)	胃部エックス線撮影の枚数は最低8枚とし、仕様書にも撮影枚数を明記しているか	○
(6)	胃部エックス線撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式注1によるものとし、仕様書に体位及び方法を明記しているか	○
(7)	胃部エックス線撮影において、造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に（180～220W/V%の高濃度バリウム、120～150mlとする）保つとともに、副作用等の事故に注意しているか	○
(8)	胃部エックス線撮影に携わる技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得しているか※※ 撮影技師が不在で医師が撮影している場合は除く	○
(9)	自治体や医師会等から求められた場合、胃部エックス線撮影に携わる技師の全数と日本消化器がん検診学会認定技師数を報告しているか※※ 撮影技師が不在で、医師が撮影している場合は報告不要である	○
(10)	胃内視鏡検査の機器や医師・技師の条件は、日本消化器がん検診学会による胃内視鏡検診マニュアル注2を参考にし、仕様書に明記しているか	○
3. 問診、胃部エックス線撮影、胃内視鏡検査の精度管理		
解説 二重読影と比較読影(1)～(3)について		
① 外部（地域の読影委員会等）に読影を委託している場合は、委託先の状況を確認すること		
② 自治体や医師会等が委託先を指定している場合は、自治体や医師会等が代表して委託先の状況を確認し、各検診機関に通知する形が望ましい		
③ 自治体や医師会等が把握していない場合は、検診機関が直接委託先に確認すること		
(1)	自治体や医師会等から求められた場合、読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数を報告しているか	○
(2)	読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医であるか	○
(3)	必要に応じて過去に撮影したエックス線写真と比較読影しているか	○
(4)	胃部エックス線画像は少なくとも5年間は保存しているか	○
(5)	胃部エックス線による検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	○

胃がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

4. 胃内視鏡画像の読影の精度管理		—
(1)	胃内視鏡画像の読影に当たっては、日本消化器がん検診学会による胃内視鏡検診マニュアル注2を参考に行っているか	—
(2)	胃内視鏡検診運営委員会（仮称）、もしくはそれに相当する組織が設置する読影委員会により、ダブルチェック※を行っているか※ ダブルチェックとは、内視鏡検査医以外の読影委員会のメンバーが内視鏡画像のチェックを行うことである。ただし、専門医※※が複数勤務する医療機関で検診を行う場合には、施設内での相互チェックをダブルチェックの代替方法とすることができる注2※※ 専門医の条件（資格）は下記(3)参照	—
(3)	読影委員会のメンバーは、日本消化器がん検診学会認定医、あるいは日本消化器内視鏡学会専門医の資格を取得しているか	—
(4)	胃内視鏡画像は少なくとも5年間は保存しているか	—
(5)	内視鏡検査による検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	—
5. システムとしての精度管理		—
解説 ① 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること ② 自治体や医師会主導で実施している項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に実施状況を通知することが望ましい※※ 特に個別検診の場合		
(1)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされているか	○
(2)	がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しているか※ 「がん検診の結果及びそれに関わる情報」とは、地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(3)	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果※（内視鏡診断や生検結果、内視鏡の治療または外科手術所見と病理組織検査結果など）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めているか※ 精密検査（治療）結果は地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(4)	撮影や読影向上のための検討会や委員会※（自施設以外の胃がん専門家※※を交えた会）を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しているか※ 胃内視鏡では、胃内視鏡検診運営委員会（仮称）、もしくはそれに相当する組織を指す。※※ 当該検診機関に雇用されていない胃がん検診専門家	○
(5)	自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握※しているか※ 冒頭の解説のとおり、検診機関が単独で算出できない指標値については、自治体等と連携して把握すること。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可である	○
(6)	プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にしながら改善に努めているか注1 胃部エックス線撮影法及び撮影機器の基準は、日本消化器がん検診学会発行「新・胃X線撮影法ガイドライン改訂版（2011）」を参照注2 日本消化器がん検診学会発行「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2015年度版」を参照	○

注1) 胃部エックス線撮影法及び撮影機器の基準は、日本消化器がん検診学会発行「新・胃X線撮影法ガイドライン改訂版（2011）」を参照

注2) 日本消化器がん検診学会発行「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2015年度版」を参照

乳がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

解説：

① このチェックリストの対象は、委託元市区町村との契約形態にかかわらず、「実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）」である

② 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること

〔このチェックリストにより調査を行う際の考え方〕

① 基本的には、実際の検診を行う個々の検診機関（医療機関）が回答する

② 自治体※や医師会主導で行っている項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ、自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に回答を通知することが望ましい※※ただし医師会等が全項目を統一して行っている場合は、医師会等が一括して回答しても構わない

※ このチェックリストで「自治体」と表記した箇所は、「都道府県もしくは市区町村」と解釈すること（どちらかが実施していればよい）

※※ 特に個別検診の場合

チェック欄

1. 受診者への説明	
<p>解説 ① 下記の6項目を記載した資料を、受診者全員に個別に配布すること（ポスターや問診票など持ち帰れない資料や、口頭説明のみは不可とする）</p> <p>② 資料は基本的に受診時に配布する※※ 市区町村等が受診勧奨時に資料を配布する場合もある その場合は資料内容をあらかじめ確認し、下記の6項目が含まれている場合は、検診機関からの配布を省いてもよい またチェックリストによる調査の際は、「実施している」と回答してよい</p>	
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを明確に説明しているか	○
(2) 精密検査の方法について説明しているか（精密検査はマンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検等により行うこと、及びこれらの検査の概要など）	○
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しているか※※ 精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供できる（個人情報保護法の例外事項として認められている）	○
(4) 検診の有効性（マンモグラフィ検診には死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の欠点について説明しているか	○
(5) 検診受診の継続（隔年）が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しているか	○
(6) 乳がんがわが国の女性におけるがん死亡の上位に位置することを説明しているか	○

乳がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

2. 問診および撮影の精度管理		
(1)	検診項目は、問診及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ）としているか※ ※ 視触診は推奨しないが、仮に実施する場合は、マンモグラフィと併せて実施すること	○
(2)	問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○
(3)	問診では現在の症状、月経及び妊娠等に関する事項、既往歴、家族歴、過去の受診状況等を聴取しているか	○
(4)	乳房エックス線装置の種類を仕様書※に明記し、日本医学放射線学会の定める仕様基準注1を満たしているか ※ 仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のこと（仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい）	○
(5)	両側乳房について内外斜位方向撮影を行っているか。また40歳以上50歳未満の受診者に対しては、内外斜位方向・頭尾方向の2方向を撮影しているか	○
(6)	乳房エックス線撮影における線量及び写真の画質について、日本乳がん検診精度管理中央機構（旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会）の行う施設画像評価を受け、AまたはBの評価を受けているか※ ※ 評価CまたはD、施設画像評価を受けていない場合は至急改善すること	○
(7)	撮影を行う撮影技師、医師は、乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会注2を修了し、その評価試験でAまたはBの評価を受けているか※ ※ 上記の評価試験で、CまたはD評価、講習会未受講の場合は至急改善すること	○
3. 読影の精度管理		
解説 二重読影と比較読影（1）～（2）について		
① 外部（地域の読影委員会等）に読影を委託している場合は、委託先の状況を確認すること		
② 自治体や医師会等が委託先を指定している場合は、自治体や医師会等が代表して委託先の状況を確認し、各検診機関に通知する形が望ましい		
③ 自治体や医師会等が把握していない場合は、検診機関が直接委託先に確認すること		
(1)	読影は二重読影を行い、読影に従事する医師のうち少なくとも一人は乳房エックス線写真読影に関する適切な講習会注2を修了し、その評価試験でAまたはBの評価を受けているか※ ※ 上記の評価試験でCまたはD評価、講習会未受講の場合は至急改善すること	○
(2)	(2) 二重読影の所見に応じて、過去に撮影した乳房エックス線写真と比較読影しているか	○
(3)	(3) 乳房エックス線画像は少なくとも5年間は保存しているか	○
(4)	(4) 検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	○

乳がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

4. システムとしての精度管理		
<p>解説 ① 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること</p> <p>② 自治体や医師会主導で実施している項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に実施状況を通知することが望ましい※ ※ 特に個別検診の場合</p>		
(1)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされているか	○
(2)	がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しているか ※ 「がん検診の結果及びそれに関わる情報」とは、地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(3)	精密検査方法、精密検査結果及び最終病理結果・病期※について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めているか ※ 「精密検査結果及び最終病理結果・病期」は地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(4)	撮影や読影向上のための検討会や委員会（自施設以外の乳がん専門家※を交えた会）を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しているか ※ 当該検診機関に雇用されていない乳がん検診専門家	○
(5)	自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握※しているか ※ 冒頭の解説のとおり、検診機関が単独で算出できない指標値については、自治体等と連携して把握すること。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可である	○
(6)	プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めているか	○

注1) 注1 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準：マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第6版、マンモグラフィガイドライン第3版増補版参照

注2) 乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会 基本講習プログラムに準じた講習会とは、日本乳がん検診精度管理中央機構（旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会）の教育・研修委員会の行う講習会等を指す。なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班、及び日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む。

子宮頸がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

解説：

① このチェックリストの対象は、委託元市区町村との契約形態にかかわらず、「実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）」である

② 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること

〔このチェックリストにより調査を行う際の考え方〕

① 基本的には、実際の検診を行う個々の検診機関（医療機関）が回答する

② 自治体※や医師会主導で行っている項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ、自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に回答を通知することが望ましい※※ただし医師会等が全項目を統一して行っている場合は、医師会等が一括して回答しても構わない

※ このチェックリストで「自治体」と表記した箇所は、「都道府県もしくは市区町村」と解釈すること（どちらかが実施していればよい）

※※ 特に個別検診の場合

		チェック欄
1. 受診者への説明		
解説	<p>① 下記の6項目を記載した資料を、受診者全員に個別に配布すること（ポスターや問診票など持ち帰れない資料や、口頭説明のみは不可とする）</p> <p>② 資料は基本的に受診時に配布する※ ※ 市区町村等が受診勧奨時に資料を配布する場合もある その場合は資料内容をあらかじめ確認し、下記の6項目が含まれている場合は、検診機関からの配布を省いてもよい。また、チェックリストによる調査の際は、「実施している」と回答してよい</p>	
(1)	検査結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されることを説明しているか 明し、要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを明確に説明しているか	○
(2)	精密検査の方法について説明しているか（精密検査としては、検診結果に基づいてコルポスコプ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要など）	○
(3)	精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しているか※ ※ 精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供できる（個人情報保護法の例外事項として認められている）	○
(4)	検診の有効性（細胞診による子宮頸がん検診は、子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の欠点について説明しているか	○
(5)	検診受診の継続（隔年）が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しているか	○
(6)	子宮頸がんの罹患は、わが国の女性のがんの中で比較的多く（2011年、5位）、また近年増加傾向にあることなどを説明しているか	○

2. 検診機関での精度管理		
(1)	検診項目は、医師による子宮頸部の検体採取による細胞診のほか、問診、視診を行っているか	○
(2)	細胞診の方法（従来法/液状検体法、採取器具）を仕様書※に明記しているか ※ 仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のこと（仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい）	○
(3)	細胞診は、直視下に子宮頸部及び腔部表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理※しているか※採取した細胞は直ちにスライドグラスに塗抹して速やかに固定すること。または、直ちに液状検体細胞診用の保存液ボトル内に攪拌懸濁し固定すること。	○
(4)	細胞診の業務（細胞診の判定も含む）を外部に委託する場合は、その委託機関（施設名）を仕様書に明記しているか	○
(5)	検体が不適正との判定を受けた場合は、当該検診機関で再度検体採取を行っているか ※ ※ 不適正例があった場合は必ず再度検体採取を行うこと。また不適正例が無い場合でも、再度検体採取を行う体制を有すること	○
(6)	検体が不適正との判定を受けた場合は、当該検診機関でその原因等を検討し、対策を講じているか ※ ※ 不適正例があった場合は必ず原因を検討し対策を講じること。また不適正例が無い場合でも、対策を講じる体制を有すること	○
(7)	検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	○
(8)	問診は、妊娠及び分娩歴、月経の状況、不正性器出血等の症状の有無、過去の検診受診状況等を聴取しているか	○
(9)	問診の上、症状（体がんの症状を含む）のある者には、適切な医療機関への受診勧奨を行っているか	○
(10)	問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○
(11)	視診は腔鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しているか	○
3. 細胞診の精度管理		
解説	① 細胞診判定を外注している場合は、外注先施設の状況を確認すること ② 自治体や医師会が外注先施設を指定している場合は、自治体や医師会が代表して外注先施設の状況を確認し、各検診機関に通知する形が望ましい ③ 自治体や医師会が把握していない場合は、検診機関が直接外注先施設に確認すること	
(1)	細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けているか。もしくは、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っているか注1	○
(2)	細胞診陰性と判断された検体は、その10%以上について、再スクリーニングを行っているか注1。または再スクリーニング施行率を報告しているか ※ ※ 自治体、医師会等から再スクリーニング施行率の報告を求められた場合に報告できればよい。また公益社団法人日本臨床細胞診学会の認定施設においては、再スクリーニング施行率を学会に報告すること	○
(3)	細胞診結果の報告には、ベセスダシステム注2を用いているか	○
(4)	全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しているか ※ ※ 必ず全ての標本について実施すること。一部でも実施しない場合は不適切である	○
(5)	がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行っているか ※ ※ がん発見例については必ず見直すこと。また、がん発見例が無い場合でも、少なくとも見直す体制を有すること	○
(6)	標本は少なくとも5年間は保存しているか	○

4. システムとしての精度管理		
解説 ① 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること ② 自治体や医師会主導で実施している項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に実施状況を通知することが望ましい※ ※ 特に個別検診の場合		
(1)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされているか	○
(2)	がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しているか。もしくは全て報告されていることを確認しているか ※ がん検診の結果及びそれに関わる情報とは、地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(3)	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果※（精密検査の際に行った組織診やコルポ診、細胞診、HPV検査の結果などや、手術によって判明した組織診断や臨床進行期のこと）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めているか ※ 精密検査（治療）結果は地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(4)	診断・判定の精度向上のための症例検討会や委員会（自施設以外の子宮頸がん専門家あるいは細胞診専門医※を交えた会）等を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した症例検討会や委員会等に参加しているか ※ 当該検診機関に雇用されていない子宮頸がん検診専門家あるいは細胞診専門医	○
(5)	自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握※しているか ※ 冒頭の解説のとおり、検診機関が単独で算出できない指標値については、自治体等と連携して把握すること。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可である	○
(6)	プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めているか	○

注1) 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞診精度管理ガイドライン参照

注2) ベセスダシステムによる分類：The Bethesda System for Reporting Cervical Cytology second edition及びベセスダシステム2001アトラス 参照

大腸がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

解説：

① このチェックリストの対象は、委託元市区町村との契約形態にかかわらず、「実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）」である

② 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること

〔このチェックリストにより調査を行う際の考え方〕

① 基本的には、実際の検診を行う個々の検診機関（医療機関）が回答する

② 自治体※や医師会主導で行っている項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ、自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に回答を通知することが望ましい※ただし医師会等が全項目を統一して行っている場合は、医師会等が一括して回答しても構わない

※ このチェックリストで「自治体」と表記した箇所は、「都道府県もしくは市区町村」と解釈すること（どちらかが実施していればよい）

※※ 特に個別検診の場合

		チェック欄
1. 受診者への説明		
解説	<p>① 下記の6項目を記載した資料を、受診者全員（大腸がんでは申込者全員）に個別に配布すること（ポスターや問診票など持ち帰れない資料や、口頭説明のみは不可とする）</p> <p>② 資料は基本的に受診時（大腸がん検診では検査キットの配布時）に配布する※ ※市区町村等が受診勧奨時に資料を配布する場合もある その場合は資料内容をあらかじめ確認し、下記の6項目が含まれている場合は、検診機関からの配布を省いてもよい。また、チェックリストによる調査の際は、「実施している」と回答してよいなお、市区町村が検査キットと資料を同時に配布している場合も同様である</p>	
(1)	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があること（便潜血検査の再検は不適切であること）を説明しているか	○
(2)	精密検査の方法について説明しているか（検査の概要や、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、また全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用となること）	○
(3)	精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しているか※ ※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供できる（個人情報保護法の例外事項として認められている）	○
(4)	検診の有効性（便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の欠点について説明しているか	○
(5)	検診受診の継続（毎年）が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しているか	○
(6)	大腸がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しているか	○

大腸がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

2. 検査の精度管理		
解説 ① 検査を外注している場合は、外注先施設の状況を確認すること ② 自治体や医師会が外注先施設を指定している場合は、自治体や医師会が代表して外注先施設の状況を確認し、各検診機関に通知する形が望ましい ③ 自治体や医師会が把握していない場合は、検診機関が直接外注先施設に確認すること		
(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行っているか	○
(2)	便潜血検査キットのキット名、測定方法（用手法もしくは自動分析装置法）、カットオフ値（定性法の場合は検出感度）を仕様書※にすべて明記しているか ※ 仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のこと（仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい）	○
(3)	大腸がん検診マニュアル（2013年日本消化器がん検診学会刊行）に記載された方法に準拠して行っているか※ ※ 測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある 検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に務めなければならない	○
3. 検体の取り扱い		
① 検査を外注している場合は、外注先施設の状況を確認すること ② 自治体や医師会が外注先施設を指定している場合は、自治体や医師会が代表して外注先施設の状況を確認し、各検診機関に通知する形が望ましい ③ 自治体や医師会が把握していない場合は、検診機関が直接外注先施設に確認すること		
(1)	採便方法についてチラシやリーフレット（採便キットの説明書など）を用いて受診者に説明しているか	○
(2)	採便後即日(2日目)回収を原則としているか（離島や遠隔地は例外とする）	○
(3)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導しているか	○
(4)	受診者から検体を回収してから自施設で検査を行うまでの間あるいは検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存しているか	○
(5)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存しているか	○
(6)	検体回収後原則として24時間以内に測定しているか（検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除く）	○
(7)	検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	○

大腸がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

4. システムとしての精度管理		
<p>解説 ① 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること</p> <p>② 自治体や医師会主導で実施している項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に実施状況を通知することが望ましい※ ※ 特に個別検診の場合</p>		
(1)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、検体回収後2週間以内になされているか	○
(2)	がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しているか。もしくは全て報告されていることを確認しているか ※ 「がん検診の結果及びそれに関わる情報」とは、地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(3)	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果※（内視鏡診断や生検結果、内視鏡治療または外科手術所見と病理組織検査結果など）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めているか ※ 精密検査（治療）結果は地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(4)	自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握※しているか ※ 冒頭の解説のとおり、検診機関が単独で算出できない指標値については、自治体等と連携して把握すること。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可である	○
(5)	プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めているか	○

肺がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

解説：

① このチェックリストの対象は、委託元市区町村との契約形態にかかわらず、「実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）」である

② 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること

〔このチェックリストにより調査を行う際の考え方〕

① 基本的には、実際の検診を行う個々の検診機関（医療機関）が回答する

② 自治体※や医師会主導で行っている項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ、自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に回答を通知することが望ましい※※ただし医師会等が全項目を統一して行っている場合は、医師会等が一括して回答しても構わない

※ このチェックリストで「自治体」と表記した箇所は、「都道府県もしくは市区町村」と解釈すること（どちらかが実施していればよい）

※※ 特に個別検診の場合

		チェック欄
1. 受診者への説明		
解説	<p>① 下記の7項目を記載した資料を、受診者全員に個別に配布すること（ポスターや問診票など持ち帰れない資料や、口頭説明のみは不可とする）</p> <p>② 資料は基本的に受診時に配布する※ ※ 市区町村等が受診勧奨時に資料を配布する場合もある その場合は資料内容をあらかじめ確認し、下記の7項目が含まれている場合は、検診機関からの配布を省いてもよい。またチェックリストによる調査の際は、「実施している」と回答してよい</p>	
(1)	要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があること（喀痰細胞診で要精密検査となった場合は、喀痰細胞診の再検は不適切であることなど）を明確に説明しているか	○
(2)	精密検査の方法について説明しているか（精密検査はCT検査や気管支鏡検査により行うこと、及びこれらの検査の概要など）	○
(3)	精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しているか※ ※ 精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供できる（個人情報保護法の例外事項として認められている）	○
(4)	検診の有効性（胸部エックス線検査及び喫煙者への喀痰細胞診による肺がん検診は、死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の欠点について説明しているか	○
(5)	検診受診の継続（毎年）が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しているか	○
(6)	肺がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しているか	○
(7)	禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発普及を行っているか	○

肺がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

2. 質問（問診）、及び撮影の精度管理		
(1)	検診項目は、質問（医師が自ら対面で行う場合は問診）、胸部エックス線検査、及び質問の結果、50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）が600以上だった者（過去における喫煙者を含む）への喀痰細胞診としているか※ ※ 質問は必ずしも対面による聴取で実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載させることをもって代えることができる	○
(2)	質問（問診）では喫煙歴、妊娠の可能性の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等を聴取しているか。また最近6か月以内の血痰など自覚症状のある場合には、検診ではなくすみやかに専門機関を受診し、精査を行うように勧めているか	○
(3)	質問（問診）記録は少なくとも5年間は保存しているか	○
(4)	肺がん診断に適格な胸部エックス線撮影、すなわち、放射線科医または肺癌診療に携わる医師による胸部エックス線の画質の評価と、それに基づく指導を行っているか注1	○
(5)	撮影機器の種類（直接・間接撮影、デジタル方式※、フィルムサイズ、モニタ読影の有無を仕様書※※に明記し、日本肺癌学会が定める、肺がん検診として適切な撮影機器・撮影方法で撮影しているか注2 ※ デジタル撮影の場合、日本肺癌学会が定める画像処理法を用いること ※※ 仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のこと（仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい）	○
(6)	胸部エックス線検査に係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しているか	○
(7)	集団検診を実施する検診機関は、1日あたりの実施可能人数を仕様書等に明記しているか※ ※ 個別検診では不要	○
(8)	事前に胸部エックス線写真撮影を行う診療放射線技師に対して指示をする責任医師、及び緊急時や必要時に対応する医師などを明示した計画書を作成し、市区町村に提出しているか※ ※ 個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は不要	○
(9)	緊急時や必要時に医師に連絡できる体制を整備しているか※ ※ 個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は不要	○
(10)	胸部エックス線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備しているか※ ※ 個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は不要	○
(11)	検診に従事する診療放射線技師が必要な教育・研修を受ける機会を確保しているか※ ※ 個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は不要	○

肺がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

3. 胸部エックス線読影の精度管理		
解説	<p>二重読影と比較読影（１）～（４）について</p> <p>①外部（地域の読影委員会等）に読影を委託している場合は、委託先の状況を確認すること</p> <p>②自治体や医師会等が委託先を指定している場合は、自治体や医師会等が代表して委託先の状況を確認し、各検診機関に通知する形が望ましい</p> <p>③自治体や医師会等が把握していない場合は、検診機関が直接委託先に確認すること</p>	
(1)	(1) 読影の際は、2名以上の医師によって読影し、うち一人は肺癌診療に携わる医師もしくは放射線科の医師を含めているか	○
(2)	2名のうちどちらかが「要比較読影」としたもの※は、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較読影しているか※二重読影の結果、「肺がん検診の手引き」（日本肺癌学会肺がん検診委員会編）の「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」の「d」「e」に該当するもの	○
(3)	比較読影の方法は、「読影委員会等を設置して読影する（あるいは読影委員会等に委託する）」、「二重読影を行った医師がそれぞれ読影する」、「二重読影を行った医師のうち指導的立場の医師が読影する」のいずれかにより行っているか	○
(4)	4)（モニタ読影を行っている場合）読影用モニタなどの機器に関しては、日本肺癌学会が定めた基準等に従っているか(注2)	○
(5)	(5) 読影結果の判定は「肺がん検診の手引き」（日本肺癌学会肺がん検診委員会編）の「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」によって行っているか※地域保健・健康増進事業報告の要精検者はE判定のみである。	○
(6)	(6) 胸部エックス線画像は少なくとも5年間は保存しているか	○
(7)	(7) 胸部エックス線検査による検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	○
4. 喀痰細胞診の精度管理		
解説	<p>① 検査を外注している場合は、外注先施設の状況を確認すること</p> <p>② 自治体や医師会が外注先施設を指定している場合は、自治体や医師会が代表して外注先施設の状況を確認し、各検診機関に通知する形が望ましい</p> <p>③ 自治体や医師会が把握していない場合は、検診機関が直接外注先施設に確認すること</p>	
(1)	細胞診の業務を委託する場合は、その委託機関（施設名）を仕様書等※に明記しているか ※ 仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい	○
(2)	採取した喀痰は、2枚以上のスライドに塗抹し、湿固定の上、パパニコロウ染色を行っているか（保存痰のため、塗抹後乾燥し、染色前に10分以上湿固定）	○
(3)	固定標本の顕微鏡検査は、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行っているか注3	○
(4)	同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングしているか	○
(5)	がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行っているか※ ※ がん発見例については必ず見直すこと。また、がん発見例が無い場合でも、少なくとも見直す体制を有すること	○
(6)	(6) 標本は少なくとも5年間は保存しているか	○
(7)	(7) 喀痰細胞診検査結果は少なくとも5年間は保存しているか	○

肺がん検診のためのチェックリスト【検診実施機関用】

5. システムとしての精度管理		
解説	<p>① 検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること</p> <p>② 自治体や医師会主導で実施している項目（自治体や医師会しか状況を把握できない項目）については、あらかじめ自治体や医師会が全検診機関（医療機関）に実施状況を通知することが望ましい※ ※ 特に個別検診の場合</p>	
(1)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされているか	○
(2)	がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しているか ※ 「がん検診の結果及びそれに関わる情報」とは、地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す	○
(3)	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果※内視鏡診断や生検結果、内視鏡治療または外科手術所見と病理組織検査結果などについて、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めているか（※ 精密検査（治療）結果は地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す）	○
(4)	撮影や読影向上のための検討会や委員会（自施設以外の肺がん専門家※を交えた会）を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しているか ※ 当該検診機関に雇用されていない肺がん検診専門家	○
(5)	自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握※しているか ※ 冒頭の解説のとおり、検診機関が単独で算出できない指標値については、自治体等と連携して把握すること。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可である	○
(6)	プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めているか	○

注1) 注1 肺がん診断に適切な胸部エックス線撮影：日本肺癌学会編集、肺癌取扱い規約 改訂第8版より 背腹一方向撮影を原則とする。適切な胸部エックス線写真とは、肺尖、肺野外側縁、横隔膜、肋骨横隔膜角などを含むように正しく位置づけられ、適度な濃度とコントラストおよび良好な鮮鋭度をもち、中心陰影に重なった気管、主気管支の透亮像ならびに心陰影及び横隔膜に重なった肺血管が観察できるもの

注2) 注2 日本肺癌学会編集、肺癌取扱い規約 改訂第8版より
 1： 間接撮影の場合は、100mmミラーカメラと、定格出力150kV以上の撮影装置を用いて120kV以上の管電圧により撮影する。やむを得ず定格出力125kVの撮影装置を用いる場合は、110kV以上の管電圧による撮影を行い縦隔部の感度を肺野部に対して高めるため、希土類（グラデーション型）蛍光板を用いる。定格出力125kV未満の撮影装置は用いない
 2： 直接撮影（スクリーン・フィルム系）の場合は、被検者—管球間距離を150cm以上とし、定格出力150kV以上の撮影装置を用い、120kV以上の管電圧及び希土類システム（希土類増感紙＋オルソタイプフィルム）による撮影がよい。やむを得ず100～120kVの管電圧で撮影する場合も、被曝軽減のために希土類システム（希土類増感紙＋オルソタイプフィルム）を用いる
 3： 直接撮影（デジタル画像）の場合は、X線検出器として、輝尽性蛍光体を塗布したイメージングプレート(IP)を用いたCRシステム、平面検出器(FPD) もしくは固体半導体(CCD、CMOSなど)を用いたDRシステムのいずれかを使用する。管球検出器間距離（撮影距離）150cm以上、X線管電圧120～140kV、撮影mAs値4mAs程度以下、入射表面線量0.3mGy以下、グリッド比8：1以上、の条件下で撮影されることが望ましい
 4： 撮影機器、画像処理、読影用モニタの条件については、下記のサイト（日本肺癌学会ホームページ、肺がん検診委員会からのお知らせ）に掲載された最新情報を参照すること
https://www.haigan.gr.jp/modules/kaiin/index.php?content_id=47

注3) 喀痰の処理法・染色法：
 公益社団法人 日本臨床細胞学会、細胞検査士会編集「細胞診標本作製マニュアル」参照
http://www.intercyto.com/lecture/manual/resp_manual.pdf
 細胞診判定：
 肺癌取扱い規約、日本肺癌学会ホームページ「肺癌検診における喀痰細胞診の判定区分別標準的細胞」参照
http://www.haigan.gr.jp/modules/kaiin/index.php?content_id=47

学 会 発 表 ・ 講 演

第 32 回 大分県臨床細胞学会

日時 平成 29 年 2 月 19 日

場所 大分市

演題 「ベセスダシステム 2001 導入後の当センターにおける子宮頸がん検診の状況」

公益財団法人 大分県地域保健支援センター

○高橋 由紀, 平丸 正宣, 原 美喜, 田嶋 伸之, 杉田 真一, 長濱 ゆかり,
谷口 一郎

大分岡病院 辻 浩一

大分赤十字病院 米増 博俊

大分県立病院 ト部 省悟

【要旨】

2013 年度より当センターの子宮頸がん検診における細胞診判定報告様式を, 日母分類からベセスダシステム 2001 に準拠した報告様式に変更した。導入にあたり新しく標本の適正評価が加わり, 細胞診判定の分類や取り扱いも一変した。ベセスダシステム導入後の細胞診判定の現状把握に努めるべく, 子宮頸がん検診成績の検証を行った。検証内容は標本不適正の状況, atypical squamous cells (ASC) 判定者の状況, 検診受診者の年齢分布及び検診歴別にみた CIN3, AIS 以上の病変の発見状況を示し報告した。対象は 2013 年度から 2015 年度の 3 年間の当センター子宮頸がん検診受診者 66,522 名 (対策型検診 62,963 名, 任意型検診 3,559 名)。標本はすべて Sure Path 法による液状化細胞診 (Liquid-based cytology: LBC) にて作製が行われた。要精検率は 1.48% (対策型 1.40%, 任意型 2.95%), 頸がん発見率は 0.02%, 標本不適正率 0.08%, ASC 判定率 0.68%, ASC-H/ASC は 24.8% とやや高率であった。要精検率や CIN3, AIS 以上の発見率は若年層, 検診歴初回群で高率であった。

【考察】

当施設が子宮頸がん検診の細胞診判定報告様式にベセスダシステム 2001 準拠方式¹⁾を導入して 4 年が経過した。標本鏡検時の効率化を図るため, すでに LBC を導入しさらに不適正標本を減らすための努力としてスメア採取器具を綿棒からブラシへと変更を行い適正率の向上に努めてきた。今回の当施設の検討結果からも不適正となった標本は採取器具が綿棒使用によるものだった割合が高く, ブラシ採取による LBC での標本作製において標本適正率は 99.2% と良好な成績であり, ブラシ採取による適切な採取器具の使用と LBC の有効性が示唆された。今後も標本の再検討を行うことにより各カテゴリーの細胞像を細かく確立していくことで ASC-H としていたものを ASC-US, HSIL 等に振り分けができ ASC-

H の比率の減少に繋がる。また更なる症例の蓄積を行うことで細胞像の特徴を把握し、念頭に置きながら細胞診判定へフィードバックしていくことが肝要である。子宮頸がん検診の目的は子宮頸がん死亡率を減少させることであり、前癌病変（CIN1～3, AIS）を多く見つけることがより効果的であると考ええる。今回データで示したとおり若年者（20 歳代～40 歳代）、初回検診者は前癌病変の発見率が高い傾向にあった。逐年、非逐年検診者は頻回に検診を受診することにより前癌病変での発見が多く、浸潤癌で発見される割合が初回検診者より低かった。検診間隔が空くことで浸潤癌での発見率が高率であることより、今後これら初回検診者や若年者の検診受診勧奨の強化が検診の目的達成に繋がると考えられる。

第 47 回 日本消化器がん検診学会 九州地方会

日時 平成 29 年 9 月 30 日

場所 熊本市

演題 「当センターにおける大腸がん検診成績について」

公益財団法人 大分県地域保健支援センター¹⁾ 大分県立病院放射線科²⁾

○高橋 由紀¹⁾、長濱 ゆかり¹⁾、杉田 真一¹⁾、田嶋 伸之¹⁾、原 美喜¹⁾、
平丸 正宣¹⁾、後藤 朗¹⁾、前田 徹²⁾

2012 年度から 2016 年度までの直近 5 年間の大分県地域保健支援センターの大腸がん検診の検診結果について発見大腸がん例を中心に検証し報告する。

過去 5 年間の大腸がん検診総受診者数は 118,908 名（対策型 111,016 名、任意型 7,892 名）。要精検者は 7,877 名、要精検率 6.6%、精検受診者は 6,551 名、精検受診率 83.2%、がん発見数は 270 名、がん発見率は 0.23%、陽性反応適中度は 3.43%であった。5 年間の変動をみると要精検率は 6.5%前後、精検受診率は 80%代前半、がん発見率は 0.25%前後で推移していた。

発見がん 270 例中、早期がんは 164 例で早期がん率は 60.7%であった。検診受診歴別でみると検診間隔の空く 3 年前検診群、初回検診群でがん発見率は高くなっていた。また早期がん率は検診間隔の短い逐年検診群、隔年検診群で高くなっていた。年齢階級別でみると高齢者のがん発見率は高いが、任意型検診においては比較的若い年代（30～40 歳代）でもがん発見率は高くなっていた。若い世代や任意型検診の精検受診状況は低い傾向にあり、これらの世代の精検受診勧奨や、またがん検診ガイドラインに沿った追跡調査の徹底を図ることが今後の課題でもある。

2017年9月30日 日本消化器がん検診学会 九州地方会

「胃X線検診のための読影判定区分（カテゴリー分類）」の導入後の現状（続報）

公益財団法人 大分県地域保健支援センター

後藤 朗

大分県立病院放射線科

前田 徹

一般財団法人 大分健康管理協会 大分総合健診センター

日隈 慎一

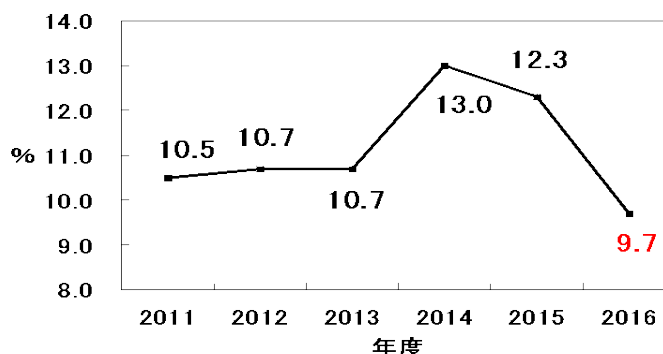
当センターでは、2016年度より委員会報告「胃X線検診のための読影判定区分（カテゴリー分類）」に基づき一部変更を行ったうえで導入した。変更点は、委員会報告のカテゴリー3 aと3 bを統合し、3としたことである。カテゴリー3の説明は「ほぼ良性だが、悪性を否定しきれない所見」とした。

2016年度の胃X線検診受診者数は16,734、カテゴリー3以上の要精検者数は1,619（要精検率9.7%）、精検受診者数は1,462（精検受診率90.3%）、発見胃がん者数は18（がん発見率0.11%、2017年9月現在）であった。要精検率は過去5年間10~13%で推移していたが、カテゴリー分類導入後、やや減少した。これは、カテゴリーごとの所見を例示したことも関係していると思われる（特にポリープの取り扱い等）。

第1読影と第2読影で最高カテゴリー3と判定した数は、1,408、発見がん12、発見率0.9%、同カテゴリー4では、45、2、4.4%、同カテゴリー5では、9、4、44.4%であった。

発見がんのうち、一方の読影医のみ要精検該当は、12例（カテゴリー3 10例、同4 0例、同5 2例）、第1、第2読影ともに要精検該当は6例で（カテゴリー3-3 2例、同3-4 1例、同4-4 1例、同4-5 2例）、カテゴリー4以上の4例では、所見、部位がほぼ一致していた。詳細が判明している例について、所見、部位が一致していたのは、集中1例（2型）、腫瘍2例（II a+II c、1型）であった。

今回、導入初年度の結果を報告した。読影医によって、所見のとり方かなりの差があることがわかった。所見とカテゴリー区分については、新しく刊行されたアトラスを元に、さらに判定しやすく改良を重ねたい。



カテゴリー	判定数	発見がん
3	1,408	12 (0.9%)
4	45	2 (4.4%)
5	9	4 (44.4%)

第 33 回 大分県臨床細胞学会学術集会

日時 平成 30 年 2 月 18 日

場所 大分市 (大分県立病院)

演題 子宮頸がん検診で発見された子宮頸部胃型粘液性癌の 1 例

公益財団法人 大分県地域保健支援センター

○田嶋 伸之, 平丸 正宣, 原 美喜, 高橋 由紀, 杉田 真一, 長浜 ゆかり,
谷口 一郎

大分岡病院 検査科

辻 浩一

大分県立病院 臨床検査科部

ト部 省悟

大分赤十字病院 病理診断科

米増 博俊

【症例】

50 歳代の女性で、2 妊 2 産、閉経は 48 歳。8 年前に乳腺線維腺腫の手術歴あり。検診時の内診でナボット卵を指摘された。過去 5 年間に当センターの検診受診歴はなかった。

【検診時の細胞所見】

細胞採取はサーベックスブラシコンビを用いて行い、LBC 法により標本作製した。

きれいな背景に多数の腺系異型細胞が孤立散在性から集塊で出現。集塊に重積性はほとんどみられず、honeycomb 状のものが多くみられた。胞体は淡明で細胞境界は明瞭。広い胞体をもつものもみられた。核はオイクロマチン増量のため濃染傾向に乏しく、腫大した明瞭な核小体を認めた。好中球の侵入像を伴う集塊もみられた。以上の細胞像から「AIS・浸潤癌の可能性も否定できない」と判定した。

【精密検査結果】

精検医療機関では、コルポ診：NCF、造影 MRI：子宮体癌疑い、頸部細胞診：adenocarcinoma、内膜細胞診：inadequate、子宮内容物細胞診：inadequate、頸部生検組織診：adenocarcinoma、内膜生検組織診：adenocarcinoma で、以上の検査結果より頸部腺癌と診断され、治療のため専門医療機関へ紹介となった。

専門医療機関での術前 CT 検査では、内子宮口を主座とした 4.0×2.4cm 大の腫瘍性病変が認められた。CT 上でリンパ節転移は認められなかった。

【組織学的所見】

専門医療機関で広汎子宮全摘出術が施行され、摘出子宮には、軽い異型を有する細胞が腺管を形成し、浸潤増殖する腺癌の組織像がみられた。腫瘍細胞は境界明瞭な clear な胞体を有し、腫大した明瞭な核小体を認めた。腺癌の組織に隣接して、拡張した中心導管と、周囲に放射状に広がる頸腺組織からなる分葉状頸管腺過形成（以下、LEGH とする）がみられた。また、LEGH の一部には核異型を伴う部分がみられた。

免疫組織学的には、HIK1083 部分的陽性、MUC6 と MUC5AC 陽性、MUC2 陰性、p53 陰性、p16 陰性であった。

病理組織診断は形態学的、免疫組織学的に LEGH を合併した子宮頸部胃型粘液性癌であった。リンパ節転移はなく、腫瘍径が 38mm に及ぶため stage は I B1 期であった。

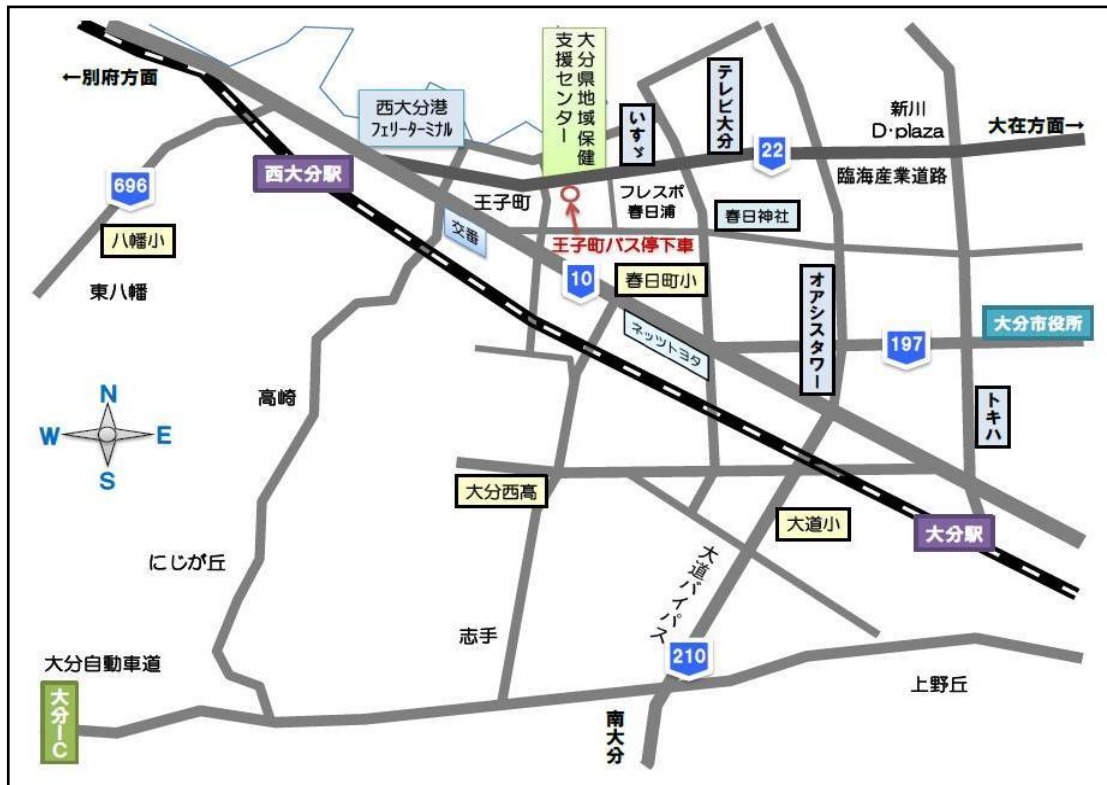
【胃型粘液性癌の特徴】

- ・胃型分化を示す腺癌。
- ・最小偏倚腺癌は極めて分化度の高い胃型粘液性癌。
- ・LEGH が発生母地と考えられている。
- ・内子宮口付近に多くみられる。
- ・免疫組織化学的には HIK1083、MUC6、MUC5AC などが陽性で、HPV 非依存性のため p16 は陰性。
- ・治療抵抗性で通常型内頸部腺癌よりも予後不良。
- ・本邦では全子宮頸部腺癌の 25% を占めると考えられる。

【まとめ】

胃型粘液性癌は内子宮口付近に好発することから、適切な採取器具の使用が必要であることに加えて、LEGH との関連性を考慮すると、胃型分化を示す病変が疑われる場合は慎重な follow up が望まれる。また、HPV 非依存性のため、HPV-DNA 検査や HPV ワクチンのピットフォールとなることと、予後不良な組織型であることから細胞診でその組織型を推定することは重要と思われる。

《センター案内図》



〈交通手段〉

- 車 … 大分ICより約10分
JR大分駅より約10分
- バス … 大分駅より
大分交通バス〔新川経由別府方面行き〕
大分駅前バス停 → 王子町バス停 (乗車時間約15分)

平成28年度 事業年報

平成30年 6 月発行

発行所 公益財団法人 大分県地域保健支援センター

〒870-0011

大分市大字駄原2892番地の1

TEL 097(532)2167

FAX 097(533)6821

<http://www.oita-sienc.jp/>

E-mail somu-a2cq@oita-sienc.jp